

# 令和7年度事業報告

小櫃公民館



令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館									
事業名称	子ども会等関係者会議	作成日	令和7年2月19日									
		担当者	藤平裕子									
	(予算分類名) 青少年教育事業	全回数	1回	総時間数	1時間20分							
実施背景 目的 特記事項等	<p>小櫃地区の青少年教育活動に携わる関係機関や、子ども会等の団体代表者が一堂に会し、相互に連携を深める機会を設ける。                  それぞれの活動の情報を交換・共有することで、行事の日程調整や青少年健全育成の効果的な運営手法について学ぶ機会とする。                  また、事前にアンケート調査を行い、各団体が抱えている課題や運営上の疑問点等を公民館側が集約し、子どもを取り巻く地域の状況について共有する時間を設ける。</p>											
対象・定員等	小・中学校、青少年相談員、子ども会、スポーツ団体等		支出概要	青少年教育事業（報償費30千円、消耗品費16千円）								
周知方法等	会議通知											
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	0				0	0	0	0	0	0	0
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0			
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	8			
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	16			
成果反省 課題等												

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	5	30	金	18:30 ~ 19:50	<p><b>子ども会等関係者会議 内容</b></p> <p>(1) 各機関、団体の自己紹介                      ※昨年度の活動や今年度の予定なども含めて</p> <p>(2) 令和7年度公民館事業計画                      ・「こどもひろば」の内容について                      ・その他青少年が対象となる主催事業等について</p> <p>(3) アンケートの結果について                      ※ほかの団体に聞いてみたいこと、公民館へのご意見など</p> <p>(4) その他                      ①生涯学習バスの利用について                      ・夏休み期間のバスの抽選について                      ②君津市民活動災害補償制度の案内                      ③熱中症対策・予防について                      ④公民館から貸し出しできる物品や使用できる設備について</p>	小櫃公民館 研修室	16

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	こどもひろば	作成日	令和 8 年 2 月 13 日						
		担当者	島津愛広						
	(予算分類名) 青少年教育事業	全回数	6 回	総時間数	13時間				
実施背景 目的 特記事項 等	<p>本事業では、小学生にとって、公民館が身近な楽しい居場所となるような機会を創出することを目的とした。</p> <p>また、近隣地区にある上総小学校の児童も対象とすることで、参加の選択肢を広げるとともに、小櫃地区と上総地区の子どもたちの交流の場の創出を図った。</p>								
対象・定員等	小櫃小学校・上総小学校の1～6年生		支出概要	青少年教育事業（報償費30千円、消耗品費16千円）					
周知方法等	小学校にチラシ配布 公民館に配架・掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	8	55	1	0	2	0	0	76
	延女	5	58	6	1	0	8	0	96
	計	13	113	7	1	2	8	0	172
成果 反省課題 等	<p><b>【成果】</b> 夏休みゲーム大会では、中高生のボランティアに運営の手伝いをしてもらったことで、多世代が交流する機会を創出することができた。</p> <p><b>【課題】</b> 小学生を対象とし、公民館単独事業として企画した「ゲーム大会」および「たき火でパンを焼いてみよう」は、残念ながら参加者が少ない結果となってしまった。夏休み・冬休みの長期休暇前には上総小学校にも参加募集チラシを配布したが、参加者の増加にはつながらなかった。</p> <p>一方で、あそんべ食堂をきっかけに、公民館が小学生にとって“放課後の居場所”となりつつあることから、今後は日常では体験できない内容の事業や、より多くの子どもたちの興味を引くような企画を検討していきたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	26	土	16:00 ～ 17:00	「地域でこどもひろば」(賀恵渚夕涼み会) 小櫃公民館所有のボードゲームを活用し、 プチゲーム大会を行った。	賀恵渚 自治会館	7
2	7	29	火	9:30 ～ 11:30	公民館でミニシアター! ①	小櫃公民館 講堂	51
3	7	31	木	9:00 ～ 12:00	夏休みゲーム大会! 小櫃公民館および小糸プレイルーム所有の ボードゲームを活用し、ゲーム大会を行った。  運営: 上総小櫃中学校・君津青葉高校へ募集した ボランティアの生徒 7名	小櫃公民館 和室	10

4	8	9	土	10:00 ～ 12:00	<b>みんなおいでよ！おびつ縁日</b> 「おびつな」との合同で、“おびつ縁日”として「おびつな」で毎年実施している「ミニ縁日&水遊び」を拡大開催。 ほかにモルック等のミニゲームも用意し、オリンピックゲーム形式で親子で楽しめる遊び場を創出した。	小櫃公民館 講堂	52
5	8	25	月	9:30 ～ 11:30	<b>公民館でミニシアター！②</b>	小櫃公民館 講堂	36
6					<b>公民館はみんなのひろば（公民館自由開放）</b> 小学生が気軽に立ち寄って宿題やスポーツができるよう、公民館の講堂や会議室を自由開放した。 ・7/29（火）12:00～17:00 講堂・研修室 ・7/31（木）12:00～17:00 講堂・研修室 ・8/19（火）9:00～17:00 講堂・研修室 ・8/25（月）12:00～17:00 和室・第一会議室	小櫃公民館 講堂 研修室 和室 第一会議室	6
7	12	22	月	9:00 ～ 12:00	<b>たき火でパンを焼いてみよう</b> 学校では経験することが少ない自然体験、その中でも子どもたちの関心が高い「火」を使った体験活動を行った。 自然に触れ、パン作りを楽しみながら、火の安全な扱い方や楽しさを学ぶ機会とした。	小櫃公民館 調理室 裏庭	4
8					<b>公民館はみんなのひろば（公民館自由開放）</b> 小学生が気軽に立ち寄って宿題やスポーツができるよう、公民館の講堂や会議室を自由開放した。 ・12/22（月）12:00～17:00 第一会議室 ・12/26（金）9:00～17:00 講堂・研修室	小櫃公民館 第一会議室 講堂 研修室	7

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	青少年相談員連携事業	作成日	令和 8 年 2 月 13 日						
		担当者	島津愛広						
	(予算分類名) 青少年教育事業	全回数	3 回	総時間数	6時間				
実施背景 目的 特記事項等	青少年相談員とともに運営する。子どもと子育て世代がともに交流し、青少年の健全育成を図ることを目的とする。 例年1月に実施している「新春ふれあいフェスタ」として今年度も「小櫃廻戦」(オリンピックゲーム)を実施した。								
対象・定員等	小櫃小学校1～6年生 30名程度・保護者		支出概要	費用は青少年相談員の予算から支出。					
周知方法等	小櫃小学校にチラシ配布 公民館に配架・掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実男	0	0	0	0	0	9	0	9
	実女	0	0	0	0	0	2	0	2
	計	0	0	0	0	0	11	0	11
	延男	0	9	0	0	0	30	0	39
	延女	0	11	0	0	0	6	0	17
	計	0	20	0	0	0	36	0	56
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b>                  多くの小学生の参加があり、イベントを楽しんでいる様子が見え、相談員一人ひとりがそれぞれのゲームの運営を担当し、子どもたちとも交流ができる楽しいイベントとなった。今回のこの交流が、子どもたちにとって次年度の「こどもキャンプ」参加につながる貴重な機会になったと考えられる。</p> <p><b>【課題】</b>                  相談員を招集し幅広い意見を取り込みつつイベント内容を検討する会議を開催することは重要であるが、その会議時間が長くなると相談員の負担にもつながる。相談員の「子どものために」という気持ちは尊重しつつ、負担を軽減できるように、事業の内容や会議の運営方法を見直したい。</p>								

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	12	23	火	19:40 ～ 21:40	<b>第8回青少年相談員会議</b> 毎年1月に実施している青少年相談員事業の内容について協議を行い、「小櫃廻戦2026」(オリンピックゲーム)を開催することに決定した。	小櫃公民館 第一会議室	9
2	1	21	水	19:30 ～ 21:30	<b>第9回青少年相談員会議</b> 1月24日(土)の実施に向けて、ゲーム内容の詳細や配置について協議を行った。	小櫃公民館 研修室	10
3	1	24	土	13:15 ～ 15:30	<b>小櫃廻戦2026</b> 紙飛行機、まと当て、えんぴつ立て、カーレット、クイズなど様々なゲームに挑戦。	小櫃公民館 全館	37

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	子どもキャンプ	作成日	令和 8 年 2 月 13 日						
		担当者	島津愛広						
(予算分類名)		青少年教育事業	全回数	11 回	総時間数	45時間			
実施背景 目的 特記事項等	小櫃地区青少年相談員連絡協議会と共催で実施。 学校では体験できおないことにも挑戦し、仲間と協力しあうことの大切さを知って もらうこと、子どもたちにとってかけがえのない経験をする機会を創出することを目的 として実施した。								
対象・定員等	小櫃小学校4～6年生 30名程度		支出 概要	費用は青少年相談員の予算から 支出。					
周知方法等	小櫃小学校各教室へチラシ配布 公民館に配架								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ	男	0	22	0	0	0	94	0	116
	女	0	29	0	0	0	19	0	48
	計	0	51	0	0	0	113	0	164
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b>                      昨年度まで実施していたテント泊から、昨今の気候変動に鑑み冷房設備のあるログ                      キャビンでの宿泊に変更した。相談員の任期替えにより新体制での実施となったが、                      無事に事業を終了することができた。                      参加した小学生にとっては、友だちと一緒にいる海水浴やキャンプファイヤーなど、                      日常生活では体験することのない貴重な体験の機会となった。</p> <p><b>【課題】</b>                      ログキャビン内において、ハウスダスト等（貸し出し用の毛布が原因か）によるア                      レルギーを発症する児童が複数いたため、今後は対策を講じる必要がある。                      また、次年度実施予定のキャンプについては、候補地が今年度とは異なるため、安                      全面を含めより入念な事前準備を行う必要がある。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	22	火	19:30 ～ 21:30	<b>第1回青少年相談員会議</b> 今年度の子どもキャンプの内容、今後の流れに ついて協議。	小櫃公民館 第一会議室	11
2	5	18	日	9:30 ～ 16:15	<b>現地下見</b> 公民館職員と相談員で海水浴場とキャンプ場の 現地視察を行った。	御宿ウオー ターパーク、 内浦山県民の 森、太海海水 浴場	9
3	5	23	金	19:30 ～ 21:30	<b>第2回青少年相談員会議</b> キャンプの日程を確認、下見の報告、チラシの 内容等について協議。	小櫃公民館 第一会議室	10
4	6	24	火	19:30 ～ 21:30	<b>第3回青少年相談員会議</b> 当日の詳細について確認・役割分担、オリエン テーションについて協議。	小櫃公民館 第一会議室	12

5	7	6	日	9:00 ～ 17:15	<b>子どもキャンプオリエンテーション</b> 安全確認、班の旗作り、ダンスの練習、カレーの具材の決定。あわせて、相談員向け応急処置等の研修を実施。	小櫃公民館 講堂	31
6	7	15	火	19:30 ～ 22:00	<b>第4回青少年相談員会議</b> 当日の詳細、参加者についての情報共有、その他懸案事項について協議。	小櫃公民館 第一会議室	15
7	7	19	土	8:00 ～ 22:00	<b>子どもキャンプ1日目</b> 海水浴、スイカ割り、カレー作り、焚火&レクなど実施。	太海海水浴場 内浦山県民の森 ログキャビン	33
8	7	20	日	6:00 ～ 12:30	<b>子どもキャンプ2日目</b> 朝食作り、自由時間、旗コンテストなど実施。	内浦山県民の森 小櫃公民館	33

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	令和8年上総小櫃地区20歳のつどい	作成日	令和8年2月20日							
		担当者	會澤直也							
(予算分類名)		青少年教育事業	全回数	7回	総時間数	14時間35分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>人生の節目を迎える20歳の青年の門出をともに祝い励ます行事を通じて、青年が大人になった自覚を持つことのできる機会、並びに地域の人々との交流を深める機会を提供し、もって青年教育の推進と地域の活性化を図る。</p> <p>※令和4年4月の民法改正に伴う成人年齢の引き下げにより、「成人を祝う集い」を改め「20歳（はたち）の集い」の名称として開催。          ※生涯学習文化課予算から、通信費や報償費が配分される。          ※中学校統合に伴い今年度から、小櫃、久留里、松丘、亀山の4地区が統合開催。</p>									
対象・定員等	上総小櫃地区新成人・上総小櫃地区住民				支出概要 青少年教育事業（報償費30千円、消耗品費16千円）より報償費3千円 ※生涯学習文化課予算から報償費、通信運搬費支出					
周知方法等	広報きみつ・公民館だより等で周知。新成人者に個別通知。									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15		16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	0	0	0		0	4	0	0	4
	延べ	0	0	0	0	46	0	0	79	
	男女計	0	0	0	0	41	0	0	74	
		0	0	0	0	87	0	0	153	
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 4地区で初の統合開催となる年、最大の課題は実行委員体制の組織化だったが、昨年の小櫃地域の新成人実行委員からの声掛けもあり、スムーズに結成することができた。公民館運営審議会での事前検討も踏まえて、会場を上総小櫃中学校とすることとし、事前に学校側とのすり合わせを行い、早い段階から準備を進めてきた。 統合にあたって、これまで各地区の特色的な取り組みも融合することができ、新成人一人ひとりが抱負を語る時間を設け、また記念のメッセージ集を発行するに至ったことで、今後の上総小櫃地区開催のモデルを構築することができた。</p> <p><b>【課題】</b> 実行委員の居住地区に偏りがあり、ほかの地区の新成人の意見をどう集いの企画に反映していくかが課題となった。実行委員を通じてLINEなどで意見を求めるなど自主的な動きもあり、企画を進めることができたが、コロナ禍での統合開校後、1年に満たない期間での学校生活を送った世代という特殊さから、恩師の招待についてはかなり人数が肥大してしまった。 会場である体育館については当初、上履き等に履き替えての実施を予定していたが、直前になって土足での入場対応に切り替えることとなり、混乱を生じた。来年度も同じ条件となるならば、開催する会場については別の場所を検討する必要がある。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	8	19	火	19:00 ~ 21:00	<b>第1回実行委員会</b> ・自己紹介 ・20歳のつどいについて ・実行委員長選出 ・つどいのイメージ作り	上総公民館 会議室1	3
2	9	9	火	18:00 ~ 19:50	<b>第2回実行委員会</b> ・実行委員の追加 ・来賓・恩師招待者について ・案内状について ・つどいの具体化、記念品に向けて検討	上総公民館 小会議室2	4

3	10	14	火	19:00 ～ 21:10	<b>第3回実行委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の追加</li> <li>・来賓・恩師招待者について</li> <li>・つどいの流れ検討（新成人企画、代表挨拶等）</li> <li>・案内文書について</li> <li>・記念文集について</li> </ul>	上総公民館 会議室1	6
4	11	18	火	19:00 ～ 21:15	<b>第4回実行委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の追加</li> <li>・来賓・恩師招待者の確認</li> <li>・つどいのシナリオ・役割分担</li> <li>・案内文書（実行委員からの呼びかけ文）</li> <li>・記念文集について（表紙デザイン完成）</li> </ul>	上総公民館 会議室1	7
5	12	19	金	19:00 ～ 20:50	<b>第5回実行委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内文書の発送と参加状況について確認</li> <li>・役割分担・シナリオの確認</li> <li>・会場配置（駐車場、体育館会場）</li> <li>・リハーサル及び当日の日程について</li> </ul>	上総公民館 会議室2	7
6	1	10	土	13:30 ～ 16:30	<b>第6回実行委員会（リハーサル）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオをもとにリハーサル</li> <li>・パンフレットの封入作業・配架作業</li> </ul> ※会場設営は前日より職員で実施済み	上総小櫃 中学校 体育館	7
7	1	11	日	13:30 ～ 16:00	<b>令和8年上総小櫃地区20歳のつどい</b> 開会、国歌斉唱、市長ビデオメッセージ、 来賓代表挨拶、来賓紹介、祝電披露、 新成人企画「ひとことメッセージ」、 実行委員代表の言葉、閉会 （終了後、記念撮影） ※記念品「記念文集」を当日配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人53名（男性31名、女性22名）</li> <li>・来賓31名</li> <li>・主催：石井市長・野村課長、 館長2名、分館長2名</li> <li>・家族35名</li> </ul>	上総小櫃 中学校	119

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館									
事業名称	利用者懇談会	作成日	令和8年2月19日									
		担当者	藤平裕子									
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	4回	総時間数	6時間25分							
実施背景 目的 特記事項等	<p>公民館を利用するサークルや団体を対象に、サークル活動の活性化や、利用者と職員間の連携を深めることを目的として開催する。</p> <p>令和6年度から「利用者研修会」から「利用者懇談会」に名称変更。公民館の存在意義や、公民館利用方法を改めて確認・周知する機会を創出した。</p> <p>さらに公民館が直面している課題について、利用者側も“自分事”として捉え共有していただけるよう促し、参加者間交流という側面にも重点を置き開催する。</p>											
対象・定員等	長期利用サークル・団体		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)								
周知方法等	はがきでの郵送											
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0				0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0			
延男	0	0	0	0	0	0	0	0				
延女	0	0	0	0	0	0	0	0				
計	0	0	0	0	0	0	0	41				
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 利用者同士が交流できるような時間の創出と、公民館側と利用者間に双方向性が構築できるような内容で企画。参加者が所属するそれぞれのサークルなり団体なりの課題や、公民館の今後の在り方を「自分事」として考えていただけるような気運の醸成に努めた。</p> <p><b>【課題】</b> 懇談会開催の時間帯を「昼の部」と「夜の部」に設定し、また開催案内を館内に掲示するなどして周知にも注力した。懇談会での内容はサークルや団体内全体で共有していただけるように促す。</p>											

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1・2	7	25	金	14:00 ~ 15:15 / 18:00 ~ 19:15	<b>令和7年度第1回利用者懇談会 昼の部/夜の部</b> ①小櫃公民館の使い方について ②令和7年度後期(10月~3月)の公民館定期利用について ③懇談会 ④第51回小櫃地区文化祭について ※避難訓練	小櫃公民館 研修室	26
3・4	1	30	金	14:00 ~ 16:10 / 18:00 ~ 19:30	<b>令和6年度第2回利用者懇談会 昼の部/夜の部</b> ①公民館から報告 ・『公民館の開館時間、料金等についてのアンケート』の結果について ・令和8年10月からの公民館利用における変更点について ②小櫃公民館の使い方について ③令和8年度前期(4月~9月)の公民館定期利用について ④懇談会 ⑤第52回小櫃地区文化祭について	小櫃公民館 研修室	28

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	館報「おびつだより」の編集・発行	作成日	令和8年2月16日						
		担当者	島津愛広						
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業	全回数	4回	総時間数	8時間				
実施背景 目的 特記事項等	地域における学習・活動・文化・くらし等を取材・編集し、地域住民と公民館を結ぶパイプ役とする。地域の動き等を積極的に紙面に掲載し、住民の手に取ってもらえる、地域に密着した公民館だよりを目指し作成する。 ※編集委員5名								
対象・定員等	小櫃地区住民		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)					
周知方法等	年4回発行(6月、9月、12月、3月)								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実男	0	0	0	0	0	0	3	3
	実女	0	0	0	0	0	0	2	2
	計	0	0	0	0	0	0	5	5
	延男	0	0	0	0	0	0	3	3
	延女	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	0	0	0	0	0	0	4	4
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b>                      昨年度は公民館開館50周年の年として、イベントの周知や当日の様子などの報告などを積極的に掲載し、公民館に足を運ばない住民のみなさんにも情報を発信することができた。記念連載として日常的に公民館を使う方の利用方法も紹介し、周知につなげることができた。</p> <p>取材を通して地域住民との交流を図ることもできたため、今後も編集委員とともに地域住民に寄り添った視点で、小櫃の人・こと・ものを取り上げ、地域に根差した広報誌としての位置づけを堅持していきたい。</p> <p><b>【課題】</b>                      地域の行事や動きを全て網羅するのは難しいが、今後もさらに多くの地域住民から情報を収集し、地域のひとが登場する紙面づくりを大切にしていきたい。                      また、手元に残して読んでもらえるような紙面を作成するために、他館の広報誌を参考にするなど新しい視点も積極的に取り入れていく。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	19	木		おびつだより236号 <b>【1面】</b> ・小櫃地区地域づくり協議会設立準備会 ・始まりました 地域食堂 おびつ あそんべ食堂 ・職員を紹介します! ・小櫃公民館 定期利用サークル・団体一覧 ・よこがお(小櫃地区に着任された方をご紹介) <b>【2面】</b> ・小櫃まるごと博物館「小櫃の水」 ・おびつびと(森山實さん) ・小櫃の動き ・各種団体役員・委員紹介 ・コアラルームへ遊びに行きませんか? ・編集後記  ※編集委員会 4/16【60分】、5/21【60分】 取材(3回)	小櫃公民館 ほか	

2	9	18	木	<p><b>おびつだより 237号</b></p> <p><b>【1面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平和を願う喜多見さんが語る、戦争の記憶</li> <li>・ 小櫃まるごと博物館「小櫃学—小櫃の戦跡—」</li> <li>・ 小櫃の“これから”を一緒に考えてみませんか？</li> <li>・ 第51回小櫃地区文化祭を開催します</li> <li>・ 上総小櫃地区20歳のつどいを開催します！</li> </ul> <p><b>【2面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小櫃の動き</li> <li>・ あそんべ食堂への想い 実行委員インタビュー</li> <li>・ 味楽園おびつ店 リニューアルオープン</li> <li>・ 編集後記</li> </ul> <p>※編集委員会 7/2【60分】、8/21【60分】 取材（7回）</p>	小櫃公民館 ほか
3	12	18	木	<p><b>おびつだより 238号</b></p> <p><b>【1面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第51回小櫃地区文化祭を開催しました！</li> </ul> <p><b>【2面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAきみつ 店舗再編・統合のお知らせ</li> <li>・ 小学生の作文をご紹介</li> <li>・ 「小櫃の水」全国自作視聴覚コンクール入選</li> <li>・ おびつびと（鳥飼正平さん）</li> <li>・ 地域づくり協議会設立準備会</li> <li>・ 小櫃の動き</li> <li>・ 編集後記</li> </ul> <p>※編集委員会 10/2【70分】、11/20【60分】 取材（5回）</p>	小櫃公民館 ほか
4	3	19	木	<p><b>おびつだより 239号</b></p> <p><b>【1面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小櫃地区20歳のつどい開催</li> </ul> <p><b>【2面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2026年 年女にインタビュー</li> <li>・ 小櫃の動き</li> <li>・ 青少年相談員の活動紹介</li> <li>・ 地域づくり協議会設立準備会</li> <li>・ 公民館事業の紹介</li> <li>・ 編集後記</li> </ul> <p>※編集委員会 1/16【90分】、2/19【60分】 取材（3回）</p>	小櫃公民館 ほか

令和7年度事業報告書（中間報告）

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	おびつあそんべ食堂活動支援事業	作成日	令和 8 年 2 月 16 日						
		担当者	島津愛広						
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	20 回	総時間数	87時間50分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和6年度に住民からの相談を受け、4月に「おびつあそんべ食堂実行委員会」を立ち上げた。5月20日のお試し開催を皮切りに、以降、1か月に1回のペースで食堂を開催している。</p> <p>子どもから高齢者まで、地域の誰もが食事をしながら集い、交流できる居場所づくりを目的として事業を実施した。</p>								
対象・定員等	小櫃地区住民等		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)					
周知方法等	自治会回覧、チラシ・館内掲示・ホームページ								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	男 0	0	0	0	0	0	0	0
		女 0	0	0	0	0	0	0	0
		計 0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	男 0	0	0	0	0	0	0	349
	女 0	0	0	0	0	0	0	634	
	計 0	0	0	0	0	0	0	983	
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b>          毎回70~100名の利用があり、これまで公民館を利用していなかった層の来館も見受けられるようになった。          また、あそんべ食堂をきっかけに、日常的に公民館で過ごす子どもたちの姿も増え、公民館が“地域の居場所”として定着しつつあることが実感できるほか、地域の直売所や地元農家から食材の提供を受けるなど、活動そのものが地域内のつながりづくりに派生している。          運営面では、女性を中心とした大人ボランティアや中学生が参加し、それぞれが活躍する場となっている。</p> <p><b>【課題】</b>          実行委員会メンバーが少人数（3名）であるため、ひとりにかかる負担が大きい。食事の提供だけではなく、今後はイベントや体験活動なども企画したいという会の想いを実現するためにも、担い手を増やしたり、地域づくり協議会と連携するなど、長期的に継続可能な運営体制を構築する必要がある。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	10	木	19:10 ~ 21:45	<b>あそんべ食堂話し合い②</b> ※1回目は3月11日に実施 (お試し開催に向けた話し合い) ・チラシの内容・配布方法について ・ボランティア対応、食材受け取り方法について	小櫃公民館 講義室	3
2	5	8	木	19:00 ~ 21:00	<b>あそんべ食堂話し合い③・ボランティア顔合わせ</b> ・ボランティアの役割説明、自己紹介 ・食材や資金の寄付状況共有、メニュー決定 ・会場配置について ・お知らせチラシについて	小櫃公民館 講義室	5
3	5	20	火	14:00 ~ 21:00	<b>第1回おびつあそんべ食堂（お試し開催）</b> ・ボランティア18名 ・利用者68名	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	86

4	5	27	火	19:00 ～ 21:30	<b>あそんべ食堂話し合い④</b> ・第1回食堂の反省 ・第2回食堂に向けた話し合い ・会則について	小櫃公民館 講義室	3
5	6	16	月	19:00 ～ 21:30	<b>あそんべ食堂話し合い⑤</b> ・第2回食堂に向けた話し合い ・食材寄付、ボランティア応募状況について ・フードパントリーについて	小櫃公民館 調理室	3
6	6	17	火	14:00 ～ 21:30	<b>第2回おびつあそんべ食堂</b> ・ボランティア18名 ・利用者89名	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	107
7	6	25	水	19:30 ～ 21:30	<b>あそんべ食堂話し合い⑥</b> ・第2回食堂の反省 ・第3回食堂に向けた話し合い	小櫃公民館 調理室	3
8	7	7	月	19:15 ～ 21:10	<b>あそんべ食堂話し合い⑦</b> ・食材寄付、ボランティア応募状況について ・メニュー決め ・ボランティア役割分担	小櫃公民館 調理室	3
9	7	8	火	14:00 ～ 21:00	<b>第3回おびつあそんべ食堂</b> ・ボランティア25名 ・利用者100名  ※イベント：かき氷	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	125
10	8	6	水	19:15 ～ 21:10	<b>あそんべ食堂話し合い⑧</b> ・食材寄付、協賛者、ボランティア応募状況 ・メニュー決め ・子ども未来キャラバン（イベント）について	小櫃公民館 調理室	3
11	8	9	土	16:00 ～ 20:00	<b>「子ども未来キャラバン」への参加</b> ※市原、木更津、袖ヶ浦、富津、君津5市の子ども 食堂団体が主体となって開催しているイベント  ・手作りゲーム「コイン落とし」を実施	金田交流セ ンター	4
12	8	19	火	14:00 ～ 21:00	<b>第4回おびつあそんべ食堂</b> ・ボランティア14名 ・利用者69名  ※イベント：ふるさと祭り 盆踊り練習	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	85
13	9	29	月	19:30 ～ 21:10	<b>あそんべ食堂話し合い⑨</b> ・食材寄付、ボランティア応募状況について ・メニュー決め ・イベントの内容について	小櫃公民館 調理室	3

14	9	30	火	14:00 ～ 21:00	<b>第5回おびつあそんべ食堂</b> ・ボランティア20名 ・利用者92名  ※イベント：お月見（ことば集めゲーム）	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	112
15	10	20	月	19:30 ～ 21:10	<b>あそんべ食堂話し合い⑩</b> ・食材寄付、ボランティア応募状況について ・メニュー決め ・イベントの内容について	小櫃公民館 調理室	3
16	10	21	火	14:00 ～ 21:00	<b>第6回おびつあそんべ食堂</b> ・ボランティア17名 ・利用者99名  ※イベント：お菓子つかみどり、特大かるた	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	116
17	11	18	火	14:00 ～ 21:00	<b>第7回おびつあそんべ食堂</b> ※前日会議をLINE通話で実施（メニュー決め） ・ボランティア13名 ・利用者67名	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	80
18	12	15	月	19:30 ～ 21:00	<b>あそんべ食堂話し合い⑪</b> ・メニュー決め ・イベントの内容について ・今後の日程について	小櫃公民館 調理室	3
19	12	16	火	14:00 ～ 21:00	<b>第8回おびつあそんべ食堂</b> ・ボランティア20名 ・利用者100名  ※イベント：映画鑑賞、お菓子配布 ビンゴ（サンタさんからプレゼント）	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	120
20	1	27	火	14:00 ～ 21:00	<b>第9回おびつあそんべ食堂</b> ※前日会議をLINE通話で実施（メニュー決め） ・ボランティア14名 ・利用者102名	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	116
21	2	24	火		<b>第10回おびつあそんべ食堂</b> ※実施予定	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	
22	3	24	火		<b>第11回おびつあそんべ食堂</b> ※実施予定	小櫃公民館 調理室 和室 ほか	

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	第51回小櫃地区文化祭	作成日	令和8年2月19日							
		担当者	藤平裕子							
(予算分類名)		コミュニティ活性化事業	全回数	回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	<p>豊かな地域文化の創造と、活力ある地域社会づくりをめざし、各種団体・サークルおよび個人の文化活動、公民館の事業成果を発表する機会を創出する。公民館利用者だけではなく、小櫃地区全体の“文化の祭典”とすることを念頭に置き企画・運営する。</p> <p>公民館が主催するが、運営にあたっては小櫃公民館利用者連絡協議会を中心に実行委員会を結成し、実行委員会により運営を行う。</p>									
対象・定員等	小櫃地区住民				支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)					
周知方法等	自治会毎戸配布、館内ポスター掲示など									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15		16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	0	0	0		0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	1348	
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 文化祭運営に関して、参加者全員が集まる機会は3回の実行委員会と1回の共同作業日の計4回のみであることから、この少ない機会を有効活用するため、職員と参加者間で実施目的や企画内容、進捗状況等、情報の共有化に留意した。</p> <p><b>【課題】</b> 参加者のみなさんに、文化祭の運営自体を「自分事」としてとらえていただけるよう気運の醸成に努め、小櫃地区にとってこの文化祭が「地域の一大イベント」として根付くよう内容の見直し等にも躊躇なく踏み込みたい。</p> <p>また、サークルや団体として発表や展示に関わらなくても、文化祭の裏方的な役割を担う「応援部門」を昨年度新設したが、この部門の活動が根付くよう注力する。厳しい職員体制ではあるが、実行委員会とともに文化祭への関わり方の多様化を図りたい。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	12	木	18:00 ~ 19:20	<b>第51回小櫃地区文化祭実施に向けた第1回企画会議</b> ・日程について ・開催要項(案)および役員体制(案)について ・現段階での懸案事項 ・特別企画等について ・今後の実行委員会等の進め方	小櫃公民館 第一会議室	9
2	8	1	金	18:30 ~ 20:00	<b>第1回実行委員会</b> ・開催要項案について ・実行委員会役員体制について ・現段階での参加団体数について ・特別企画について ・全体の流れ・今後の日程について	小櫃公民館 研修室	24
3	9	11	木	18:00 ~ 19:00	<b>第2回企画会議</b> ・第51回文化祭について ・プログラムについて ・今後の実行委員会等について	小櫃公民館 第一会議室	11

3	9	19	金	18:30 ～ 19:15	<b>第2回実行委員会</b> ・報告：各部門部門長の紹介 ／進捗状況について ／特別企画の進捗状況について ／文化祭プログラムについて ／全体での課題・懸案事項の共有 ／全体の流れ・今後の日程について	小櫃公民館 研修室	30
4	10	27	月	9:15 ～ 10:45	<b>共同作業</b> ※共同作業終了から10月31日（金）までを 準備期間とする ※アンケート調査票の配布	小櫃公民館 各部屋 ・駐車場	69
—	10	27 ～ 31	月 ～ 金	—	<b>展示作業・模擬店準備・発表リハーサル</b>	小櫃公民館 各部屋 ・駐車場	—
5	10	26 ～ 27	土 ～ 日	9:00 ～ 16:00 ／ 9:00 ～ 15:00	<b>第51回小櫃地区文化祭</b> ・展示部門 ・発表部門 ・販売部門 ・体験部門 ※特別企画「戦後80年のいま、平和を考える」 ※おびつのORAGAICHI（おらが市）	小櫃公民館 各部屋 ・駐車場	1190
6	11	21	金	18:30 ～ 19:20	<b>第3回実行委員会</b> （1）アンケート結果の共有 （2）次年度開催に向けて	小櫃公民館 研修室	15



4	5	22	木	19:00 ～ 20:45	<b>第3回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり</li> <li>・年代別グループワーク「地域の悩み・問題」</li> <li>・全体共有</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	22
5	6	19	木	18:30 ～ 20:50	<b>第3回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周西設立準備会を見学しての報告</li> <li>・準備会のふりかえり</li> <li>・次回準備会の内容について</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（6/10）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 研修室	6
6	6	26	木	19:00 ～ 20:45	<b>第4回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者の話を聞く（移住者2名、農業従事者2名）</li> <li>・運営委員会からの提案と話し合い 「問題解決と目指す地域像の関係図づくり」</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	27
7	7	10	木	18:30 ～ 20:45	<b>第4回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周西設立準備会を見学しての報告</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討に向けて</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（7/4）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	4
8	7	17	木	19:00 ～ 20:35	<b>第5回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり</li> <li>・グループワーク「問題・悩みを解決する方法・アイデアを検討する」</li> <li>・全体共有と意見交換</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	20
9	8	22	金	18:30 ～ 20:05	<b>第5回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域アドバイザーとの小櫃地域巡りの報告</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（8/7）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	7
10	8	28	木	19:00 ～ 20:30	<b>第6回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり</li> <li>・グループワーク「続！問題・悩みを解決する方法・アイデアを検討する」</li> <li>・全体共有と意見交換</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	13
11	9	18	木	18:30 ～ 20:25	<b>第6回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周西ファンBASEの進捗について報告</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（9/8）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	5

12	9	25	木	19:00 ～ 20:30	<b>第7回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの振り返り（第1回～第6回）</li> <li>・グループワーク「アイデアを具体的に検討」</li> <li>・全体共有と意見交換</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	10
13	10	23	木	18:30 ～ 20:45	<b>第7回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会のふりかえり</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（10/14）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	6
14	10	28	火	19:00 ～ 21:00	<b>第8回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話「地域づくりに向けた視点」（地域組織アドバイザー）</li> <li>・グループワーク 「続！アイデアを具体的に検討」</li> <li>・全体共有と意見交換</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	13
15	11	13	木	18:30 ～ 21:00	<b>第8回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会のふりかえり</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（11/4）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	5
16	11	27	木	19:00 ～ 21:00	<b>第9回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり</li> <li>・グループワーク 「続・続！アイデアを具体的に検討」</li> <li>・全体共有と意見交換（団体の設立目的）</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	12
17	12	9	火	18:30 ～ 21:00	<b>第9回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域団体へ説明した反応について報告</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（12/4）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	4
18	12	18	木	19:00 ～ 20:30	<b>第10回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり・地域団体からの反応</li> <li>・全体協議「団体の目的とテーマの位置づけ」</li> <li>・グループ「企画内容のブラッシュアップ」</li> <li>・全体協議「発足団体の組織図について」</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	9
19	1	23	金	18:30 ～ 21:00	<b>第10回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会のふりかえり</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（1/14）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	4

20	1	29	木	19:00 ～ 20:30	<b>第11回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり</li> <li>・全体協議「活動計画と全体のバランス、実現性を話し合う」</li> <li>・全体協議「団体の組織体制と名称について」</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	10
21	2	19	木	18:30 ～ 21:30	<b>第11回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会のふりかえり</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（2/12）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	4
22	2	26	木		<b>第12回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明（準備会の流れ、地域づくり協議会とは）</li> <li>・年代別グループワーク「目指す地域像」</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	
23	3	19	木		<b>第12回運営委員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備会のふりかえり</li> <li>・次回準備会の内容について</li> <li>・地域づくり協議会の組織検討</li> </ul> <p>※会議にあたり事前（3/4）に職員打合せ</p>	小櫃公民館 第一会議室	
24	2	26	木		<b>第13回設立準備会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明（準備会の流れ、地域づくり協議会とは）</li> <li>・年代別グループワーク「目指す地域像」</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館									
事業名称	おびつ里山コンサート	作成日	令和 8 年 2 月 20 日									
		担当者	會澤直也									
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	1 回	総時間数	1時間15分							
実施背景 目的 特記事項等	<p>地域住民が文化芸術活動を身近な場所で楽しみ、誰もが気軽に参加できるコンサートを実施する。また、君津市在住の若手演奏者を起用することで、君津市の芸術文化活動の活性化を図ることを目的に実施する。</p> <p>※松本ピアノ・オルガン保存会 篠宮則子氏を通じて演奏者紹介 演奏者：齋藤綾乃(千葉交響楽団打楽器奏者) 篠崎陽子(ゲスト・マリンバ奏者)</p>											
対象・定員等	一般成人		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償費65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円) から報償費40千円								
周知方法等	広報きみつ、市HP、自治会配布、館内掲示、チラシ配布 (小中学校、松本ピアノオルガン保存会)											
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	男 0				0	0	0	0	0	0	0
		女 0	0	0	0	0	0	0	0			
		計 0	0	0	0	0	0	0	0			
延べ	男 0	0	0	0	0	0	0	0	23			
	女 0	0	0	0	0	0	0	0	36			
	計 0	0	0	0	0	0	0	0	59			
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> マイナーな楽器による演奏であったものの、楽器紹介のなかで音の響きの変化を感じることができるなど、参加者にとってもマリンバやヴィブラフォンの独奏や連弾は初めての体験だったという感想が多く寄せられた。</p> <p><b>【課題】</b> マリンバやヴィブラフォンはバイオリンやピアノに比べればマイナーな楽器となることに加えて、地元出身の演奏者ではないということが参加者数の伸び悩みの要因と考えられる。参加の呼びかけには、松本ピアノ・オルガン保存会より多大な協力をいただきながら開催することができた。 協力者である松本ピアノ・オルガン保存会の篠宮氏や参加者から継続開催の声はあるものの、予算見直しの関係で、来年度以降の開催については厳しい状況にある。</p>											

プログラム

回	月	日	曜	時間	備考(会場・他)	参加数	
1	1	26	日	13:30 ~ 14:45	①G. B. マルティーニ・安倍圭子/ 愛のよろこび モノローグ ソロマリンバのための ②三善晃/組曲「会話」 独奏マリンバのための ③【ヴィブラフォン独奏】J. S. バッハ/ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 二短調 BWV. 1004 より第5曲「シャコンヌ」 ④【マリンバ連弾】A. ハチャチュリアン/ バレエ音楽「ガイヌ」より「剣の舞」 ⑤【マリンバ連弾】リムスキー=コルサコフ/ 熊蜂の飛行 ⑥【ヴィブラフォン・マリンバ二重奏】A. ピアソラ/ アヴェ・マリア ⑦【独奏マリンバと声】安倍圭子/祭りの太鼓  ※アンコール：【マリンバ連弾】F. サイ/ トルコ行進曲ジャズ	小櫃公民館 講堂	59

事業名称	ちょボラの会	機関名	小櫃公民館		
		作成日	令和 8 年 2 月 20 日		
		担当者	會澤直也・島津愛広		
(予算分類名)	コミュニティ活性化事業	全回数	12 回	総時間数	21時間30分

実施背景 目的 特記事項等	<p>ちょこっとボランティアの会（ちょボラの会）は「What you can do, when you can」（できることを、できるときに）を合言葉に取り組むボランティア活動。ボランティア本人が、まずは楽しむことを第一にしながら、公民館をもっと親しみやすく、使いやすいものにするために活動することを通して、「用がなくても来られる公民館」づくりに寄与する。</p> <p>※令和3年7月5日～令和5年7月4日、小櫃在住高校生1名が活動。 おもに図書室の蔵書整理と特集本の選書、特集コーナーづくりのほか、文化祭芸術発表の司会に従事。</p> <p>※小櫃公民館の再整備計画にかかるアンケート（新たな公民館等に期待することは何ですか？）で、「用事がなくても憩い・くつろげる環境の整備」が最も要望が多かった(32.1%)。 ワークショップ(令和5年度)においても、ロビーや図書室を中心に、こどもの居場所、遊び場など気軽に立ち寄れる交流空間、くつろげる雰囲気づくりに対する要望が多く出されたことを受け、大人版として実施。</p> <p>※令和6年2月29日準備会、同年3月12日に第1回活動し2年目となる。</p>
---------------------	---

対象・定員等	関心のある小櫃地域住民または公民館利用者								支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)	
周知方法等	館内掲示、チラシ回覧(おらが市)、公民館LINE										
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~			合計
	実男	0	0	0	0	0	0	0			0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	4		
	計	0	0	0	0	0	0	0	4		
延男	0	0	0	0	0	0	0	0			
延女	0	3	3	0	0	0	0	0	28		
計	0	3	3	0	0	0	0	0	28		

成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> にぎわい創出のための「おらが市」に向けて、柿渋によるのぼり旗制作や、中学生による自主出店企画、コーヒー提供・綿あめ提供などを行い充実させていった。出店者も、農協をはじめ昨年より多くの出店を確保することができ、にぎわいを生み出すことができた。</p> <p><b>【課題】</b> コアメンバーの負担軽減もあり、おらが市実施後は会議開催頻度を落として無理のない活動へとシフトしたが、いかにしてコアメンバーを増やしていくかが継続した課題となっている。引き続き公民館がハブ役となって、中学生や大人との接点のなかで「ちょこっとボランティア」を広げていく必要がある。</p>
-------------	---

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	17	木	19:00 ～ 21:00	<p><b>ちょボラの会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告（ふらっとカフェ会計、バザー収益金の使い道、こども食堂）</li> <li>おらが市について</li> <li>柿渋ワークショップについて</li> </ul>	小櫃公民館 ロビー	2

2	6	5	木	19:00 ～ 21:15	<b>ちょボラの会</b> ・報告（ふらっとカフェ） ・おらが市について ・柿渋ワークショップについて ・その他	小櫃公民館 ロビー	2
3	8	5	火	19:00 ～ 21:00	<b>ちょボラの会</b> ・実習「柿渋づくり」（下準備） ・報告（ふらっとカフェ） ・おらが市について ・その他	小櫃公民館 調理室	3
4	8	21	木	18:30 ～ 21:00	<b>ちょボラの会</b> ・実習「柿渋づくり」（染め液づくり） ・報告（おびつ縁日） ・おらが市について ・その他	小櫃公民館 調理室	3
5	8	22	金	13:00 ～ 15:00	<b>ちょボラの会</b> ・実習「柿渋づくり」（染め）	小櫃公民館 調理室	3
6	8	29	金	14:00 ～ 15:00	<b>おびつのORAGA ICHI 出品者説明会(昼の部)</b> ・ORAGA ICHIについて説明 ・今後のスケジュール ・自己紹介・販売物品の確認及び質疑 ・販売場所の抽選、区画の決定  ※夜の部は参加者がいないため中止	小櫃公民館 第1会議室	3
7	9	16	木	19:00 ～ 20:45	<b>ちょボラの会</b> ・報告（ふらっとカフェ） ・おらが市について ・ボランティア募集（ちょボラ部）について ・その他	小櫃公民館 ロビー	2
8	10	7	火	19:00 ～ 20:50	<b>ちょボラの会</b> ・報告（ふらっとカフェ） ・おらが市について ・ちょボラ部について ・地域づくり準備会での話題共有	小櫃公民館 ロビー	2
9	10	1	水	11:30 ～ 12:10	<b>ちょボラの会 ※カフェ出店企画</b> ・おらが市でのコーヒー提供方法 ・使用物品・消耗品の確認 ・会場レイアウト ・その他	小櫃公民館 ロビー	3

10	10	16	木	15:30 ~ 17:00	<b>ちょボラの会 ※中学生自主出店企画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名札づくり＋自己紹介</li> <li>・おらが市の説明</li> <li>・出店内容について話し合い</li> </ul>	小櫃公民館 第1会議室	3
11	11	25	火	19:00 ~ 21:00	<b>ちょボラの会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告（ふらっとカフェ、地域づくり準備会）</li> <li>・おらが市の振り返り</li> <li>・その他</li> </ul> <p>※「おびつのおらが市」は11月2日に実施済み</p>	小櫃公民館 ロビー	2
12	3	5	木		<b>ちょボラの会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告（ふらっとカフェ）</li> <li>・子どもたちのロビーの利用について</li> <li>・おらが市について</li> <li>・その他</li> </ul>	小櫃公民館 ロビー	

令和7年度事業報告書（中間報告）

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	つながるロビーづくり	作成日	令和 8 年 2 月 17 日							
		担当者	島津愛広							
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数		総時間数						
実施背景 目的 特記事項等	<p>ロビーを誰もが気軽に立ち寄れる場所として活用し、人と人がゆるやかにつながるきっかけをつくることで、公民館を住民にとってのサードプレイス（第3の居場所）とするとともに、新たな学びや活動へとつなげることを目的に実施。</p> <p>また、令和6年度に実施した趣味教養講座「ニットカフェ」の参加者を中心に、講座終了後も継続して活動できる場を提供することをねらいとした。</p>									
対象・定員等	どなたでも							支出概要 なし		
周知方法等	自治会回覧、館内掲示									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59		60~	合計
	実数	男	0	0	0	0	0		0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	16	
	計	0	0	0	0	0	0	16	21	
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 講座終了後も、参加者が自主的にロビーで活動を継続しており、友人を誘って参加する人が増えるなど、活動の輪が広がっている。また、子どもたちが加わって編み物を教わる姿も見られるようになり、世代を超えた交流の場になっている。</p> <p>活動内容も編み物にとどまらず不要な布を活用したハンドメイド、おしゃべりや子どもたちと一緒にボードゲームを楽しむなど、多様な過ごし方が生まれており、ロビーが「ゆるやかにつながれる場所」として定着しつつある。</p> <p><b>【課題】</b> 参加者からは「しばらくしてしまふサークル活動にはしたくない」という声があり、あえてサークルという体はとっていない。そのため、個人活動とサークル活動の中間的な位置づけとなっている。</p> <p>今後は、参加者の意向を尊重しつつ、公民館事業やイベントとのコラボレーションなどを通して、無理のない形で活動の幅を広げていくことを念頭にサポートしてゆく。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	21	水	14:30 ~ 15:30	<b>ニットカフェ</b> ・毛糸を使った編み物、布小物づくり ・参加者同士でのおしゃべり ・今後の開催日について話し合い →以降、第1・第3水曜日に開催することを決定	小櫃公民館 ロビー	5
2	11	2	日	9:00 ~ 15:00	<b>「おらが市」出店</b> ・不要になった布で作った小物や布製品を販売 ・手作りコースター売上金を「ちょボラの会」へ寄付	小櫃公民館 ロビー	4

3	12	17	水	14:30 ~ 16:30 加	<b>ニットカフェ</b> ・毛糸を使った編み物 ・参加者同士でのおしゃべり ・小櫃小学校児童の参加（3人）→以降定期的に参 ※冬休みのイベントチラシで紹介	小櫃公民館 ロビー	7
---	----	----	---	--------------------------	--	--------------	---

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館																	
事業名称	<b>団体支援事業</b> (公民館利用者連絡協議会・小櫃の元気なこどもを育てる会・小櫃地区社会福祉協議会)		作成日	令和8年2月19日																
	(予算分類名)	コミュニティ活性化事業	担当者	藤平裕子																
		全回数	12回	総時間数																
実施背景 目的 特記事項等	<p><b>【小櫃の元気なこどもを育てる会】</b> 公民館長が副会長、副館長は事務局を担う。 3つの部会（連携・環境整備・広報啓発）のうち、館長は広報啓発部会の部会長を担い、「小櫃の元気なこどもを育てる会」の広報誌『きずな』を編集・発行。</p> <p><b>【利用者連絡協議会】</b> 公民館と相互に協力体制を堅持し、相談業務を担う。</p> <p><b>【小櫃地区社会福祉協議会】</b> 連携・協力体制を強化する。</p>																			
対象・定員等	一般		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)																
周知方法等	会議通知・案内状郵送等																			
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6			7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計									
	実数	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	合計 0
	延べ	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	男 0	女 0	合計 198
成果反省 課題等	<p><b>【小櫃の元気なこどもを育てる会】</b> 公民館が関わる広報啓発部会では、広報紙『きずな』を編集・発行（第38号:令和7年9月11日発行済み。第39号は令和8年3月12日発行予定）した。 長年の懸案事項であった構成団体および構成員の見直しを昨年度実施し、今年度はスリム化した組織体制で各部会が活動が展開した。 また、役員会の機能を充実させるため、役員会前段に三役会を開催するなど、会議の在り方そのものの再考も行った。</p> <p><b>【小櫃公民館利用者連絡協議会】</b> 依然として会員の高齢化や会員数の減少が課題である。引き続き利用者連絡協議会とともにサークル活動の活性化に寄与できるようなアイデアを練ってゆく。</p> <p><b>【小櫃地区社会福祉協議会】</b> 当該団体とはこれまでも「スマイルサロン“いーね!”」等で連携しており関係性の素地は構築されているが、今回は「東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部」県外派遣事務局が主催する事業を共同開催することとなった。これを契機に連携・協力体制を推進してゆく。</p>																			

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	2	金	10:00 ~ 11:00	<b>三役会</b> ・役員(副会長)について ・構成団体および構成員について ・各部会の目標について	小櫃公民館 第一会議室	5
2	5	12	月	18:00 ~ 20:20	<b>令和7年度「小櫃の元気なこどもを育てる会」 第1回役員会</b> ・教育現場における現状と課題について ・令和6年度活動報告の確認 ・第21回定期総会について	小櫃公民館 研修室	20

3	6	1	日	14:00 ～ 15:00	<b>「小櫃の元気な子どもを育てる会」</b> <b>第21回定期総会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度活動報告について</li> <li>・令和6年度決算報告及び監査報告について</li> <li>・令和7年度活動計画（案）について</li> <li>・令和7年度収支予算書（案）について</li> <li>・令和7年度役員改選（案）について</li> </ul>	小櫃公民館 講堂	40
4	12	2	火	15:00 ～ 16:20	<b>三役会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上総小櫃中学校 学区クリーン作戦について</li> <li>・令和7年度大2回役員会について</li> <li>・支出項目について（会計から）</li> </ul>	小櫃公民館 第一会議室	6
5	12	16	火	18:00 ～ 20:00	<b>令和7年度「小櫃の元気な子どもを育てる会」</b> <b>第2回役員会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場における現状と課題について</li> <li>・令和7年度活動の中間報告</li> <li>※君津市青少年健全育成団体合同研修会について</li> <li>※上総小櫃中学校 学区クリーン作戦について</li> <li>※君津地域づくり協議会 「小櫃地区設立準備会」について</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	19
6	2	7	土	10:00 ～ 11:30	<b>令和7年度君津市青少年健全育成団体合同研修会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動発表： 周南地区青少年健全育成団体の活動について</li> <li>・講和1 「インターネット、SNSはここに気を付けて」</li> </ul>	生涯学習交 流センター	4
7	4	18	金	10:00 ～ 11:30	<b>「小櫃公民館利用者連絡協議会」会計監査</b> <b>および役員会</b> <b>※会計監査</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度総会について</li> </ul>	小櫃公民館 第一会議室	5
8	5	20	火	14:00 ～ 15:30	<b>令和7年度小櫃公民館利用者連絡協議会総会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業報告</li> <li>・令和6年度会計報告および会計監査報告</li> <li>・令和7年度事業計画（案）について</li> <li>・令和7年度予算（案）について</li> </ul>	小櫃公民館 研修室	22
9	5	29	木	9:00 ～ 11:00	<b>令和7年度小櫃公民館利用者連絡協議会</b> <b>環境美化活動</b>	小櫃公民館 敷地内	39
10	6	26	木	8:30 ～ 10:40	<b>利用者連絡協議会有志による敷地内植栽選定作業</b>	小櫃公民館 敷地内	11
10	10	23	木	8:30 ～ 10:30	<b>利用者連絡協議会有志による敷地内植栽選定作業</b>	小櫃公民館 敷地内	10
11	2	25	水		<b>利用者連絡協議会移動研修実施予定</b> ※生涯学習バスで移動	・三溪園/中 華街（ラト リエ・ ドウ・アン ティーク訪 問）	

12	2	21	日	「東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部」 県外派遣事業実施予定	小櫃公民館 講堂
----	---	----	---	-------------------------------------	-------------

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	学校支援・連携事業	作成日	令和8年2月20日							
		担当者	會澤直也							
(予算分類名) コミュニティ活性化事業ほか		全回数	7回	総時間数	7時間					
実施背景 目的 特記事項等	<p>地域ぐるみで子どもを育てる環境を醸成するために、小・中学校の学習を支援する機会を設ける。地域にある「人・もの・文化」と学校教育を結びつけることで、小櫃地区ならではの教育を推進していく一助とする。</p> <p>※小櫃小学校3学年総合学習支援「小櫃ホテルの里プロジェクト」(平成29年度～)                  ※小櫃小学校教育講演会支援                  (平成29年度～1000か所ミニ集会 令和6年度～教育講演会)                  ※小櫃小学校6年生歴史探検隊(令和7年度～)</p>									
対象・定員等	小櫃小学校児童 ※教育講演会は保護者及び地域住民		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)						
周知方法等	教育講演会は地域内世帯配布			※生涯学習交流センター事業予算より報償費20千円						
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計
	実数	男		0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	
延べ	男	0	65	0	0	0	0	0	90	
女	3	69	0	0	0	0	0	0	115	
計	3	134	0	0	0	0	0	0	205	
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b>                  「ホテルの里プロジェクト」は、今回で9年目を迎え、公民館が学校教育に関わる点で重要な位置にあるとともに、長谷川ホテル谷フェスタとの結びつきを通じて、地域との接点となっている。同時に、公民館職員と子どもたちとの接点にもなっていることから、引き続き継続的な連携が必要である。                  今年度新たに、6年生の歴史の授業に関わることになり、小櫃学や小櫃まるごと博物館構想事業を通じて得た資料を活用しながら、古代編、中世～近代編の2コマを受け持つことができた。                  教育講演会では、学校とPTAの要望を踏まえて、小櫃出身のトップアスリートを講師に招いた。競歩という競技を知るだけでなく、正しいフォームでの走り方や実技を交えた質疑応答など、子どもだけでなく大人も含めて貴重な時間となった。</p> <p><b>【課題】</b>                  本事業を通じて、子どもたちと地域を結びつけること、公民館の関わり代をつくっていくことを意識し、教材や講師選定について「地域」の効果的な取り上げ方について引き続き研究・工夫していく必要がある。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	11	金	16:30 ～ 17:30	<b>小櫃ホテルの里プロジェクト打ち合わせ</b> ・ホテルの里プロジェクトの経緯と授業での関わりについて ・今年度の実施に関わるスケジュールの確認 ・学習内容について	小櫃小学校校長室	1

2	5	9	金	10:15 ～ 11:00	<b>第1回小櫃ホタルの里プロジェクト</b> ・昆虫って何だろう？ ・ホタルについて学ぼう ・ホタルクイズの出題(6問)  ※クイズごとに後日グループで調べ学習  講師：會澤直也(小櫃公民館副主査)	小櫃小学校 3年教室	29
3	6	27	金	10:25 ～ 11:20	<b>第2回小櫃ホタルの里プロジェクト</b> ・児童によるホタルクイズの発表 ・発表内容を踏まえて職員による解説 ・渡邊護氏より七夕長谷川ホタル谷 フェスタ2025の紹介  講師：會澤直也(小櫃公民館副主査)	小櫃小学校 3年教室	29
4	11	12	水	15:30 ～ 16:00	<b>6年生歴史授業打ち合わせ</b> ・授業内容について検討 ・授業日程について ・今後のスケジュールについて	小櫃小学校 会議室	1
5	12	12	金	10:25 ～ 12:05	<b>小櫃小学校6年生「小櫃の歴史探検隊」</b> ①古代編 ※第3校時 (古墳について、弘文天皇伝説について) ②中世～近代編 ※第4校時 (戦国時代の房総里見氏、上総掘り、第二次世界大戦)  講師：會澤直也(小櫃公民館副主査)	小櫃小学校 6年教室	27
6	7	10	木	14:10 ～ 15:20	<b>教育講演会打ち合わせ</b> ・教育講演会の目的とこれまでの経緯について確認 ・日程及び実施方法について ・講演内容及び講師の選定について	小櫃小学校 校長室	1
7	2	7	土	10:00 ～ 11:00	<b>小櫃小学校教育講演会</b> <b>「～世界的アスリートに聞く！          競歩の世界&amp;ランニング講座～」</b>  ①講師紹介 ②「競歩」という競技の特性と魅力 ③正しいフォームでの走り方のコツ ④競技人生から学ぶ「目標設定」の大切さ ⑤子どもたちへメッセージ  講師：吉住友希氏(競歩選手、看護師)	小櫃小学校 体育館	117

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	第12回おしゃべりウォーク	作成日	令和8年2月19日							
		担当者	藤平裕子							
(予算分類名)		コミュニティ活性化事業	全回数	回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	<p>競争でなく、参加者同士が「おしゃべり」をしながら交流を深める機会として実施する。小櫃地区内に様々なコースを設定し実施することで、小櫃の魅力の再発見につなげていく。</p> <p>※共催：君津市体育協会小櫃支部、君津市スポーツ推進委員小櫃地区、君津市スポーツ・レクリエーション推進員小櫃支部</p> <p>※本事業は令和4年度から始まった小櫃まるごと博物館構想事業にも関連する事業であること等を考慮し、上記団体との共催事業として開催している。</p>									
対象・定員等	地区内・地区外住民							支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費169千円、消耗品費12千円)		
周知方法等	市HP、地域内世帯配布									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59		60~	合計
	実男	0	0	0	0	0	0		0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延男	0	0	0	0	0	0	0	0	
延女	0	0	0	0	0	0	0	0		
延計	0	0	0	0	0	0	0	0		
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b> 小櫃公民館主催事業「小櫃まるごと博物館構想事業」と関連付け、令和5年度（第11回）から公民館との共催という形に改めた。地元の人にもあまり知られていない道を歩くことで、郷土の魅力発見につなげる狙いがある。 今年度は、天候不良のため中止となった昨年度のコース「小櫃の西側 戸崎の山裾を歩く」に再度挑戦する。</p> <p><b>【課題】</b> コースの設定について、地域内を一巡した後は新たな工夫が必要となる。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	2	22	日		<p><b>第12回おしゃべりウォーク実施予定</b> 小櫃の西側 戸崎の山裾を歩くコース (9キロ)</p> <p>今回のテーマ： 戸崎の背波沢山のふもと、峯から千淵台の山裾の道を歩きながら小櫃の街並みや田園風景を眺めます。</p>	(未吉→) 西賀和橋～ 戸崎三～ 戸崎二～ 戸崎～ 小櫃橋～ 小櫃公民館	

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	「小櫃まるごと博物館」構想事業	作成日	令和8年2月19日						
		担当者	會澤直也						
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	19回	総時間数	22時間50分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>小櫃・上総地区公民館運営審議会意見書「『子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくりに寄与する公民館事業』の実現に向けて」（平成31年3月）を踏まえ、小櫃地区に点在する史跡や伝説、自然、生活文化等の地域資源をもとに、丸ごと博物館にするいわゆる「エコミュージアム」実現のためのものである。（令和4年度開設）</p> <p>※コンセプト：地域住民の営みによる地域資源の記録化とその活用を通じた地域の活性化</p> <p>※事業体制：構想運営員（定期的に運営会議を実施）</p>								
対象・定員等	主に小櫃地区住民(元住民も含む)		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円)					
周知方法等	自治会回覧、市HP、ポスター掲示、ロビーでの映像上映、フェイスブック								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	男	0	0	0	0	0	0	0	9
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	9
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	51
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	51
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b> 戦後80年の節目にあたり、昨年度からまとめてきた動画「小櫃学—小櫃の戦跡—」を活用しつつ、文化祭特別企画における展示とロビートークの企画については、運営会議で意見をいただきながら実施し、継続的な学びの広がりが見られた。 また、対外的な評価として、動画「小櫃の水」は令和7年度全国自作視聴覚教材コンクール社会教育部門で入選を果たし、令和5年度に次いで2回目の受賞となった。 さらに、今後の新たな展開として、運営員の主体的な活動の手立てとして動画配信だけでなくマップづくりにも取り組みは始めている。</p> <p><b>【課題】</b> 事業開設4年目となるが、動画制作も内容の質を高めていく都合上、ナレーションや映像収集、許可どりなどに時間を要し、関係配信の頻度が落ちている現状にある。今回の小櫃地区ふるさと祭りのように動画制作依頼という形でも請け負っていきながら動画数を増やしていきけるようにしたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	12	月	14:00 ～ 16:15	<b>第1回運営会議</b> ・事業の進捗状況（「小櫃学—小櫃の戦跡—」、動画の活用、今後の動画制作について） ・共同作業(昔の小櫃の地図をもとに情報書き込み)	小櫃公民館 第1会議室	8
2	6	18	水	14:00 ～ 16:30	<b>第2回運営会議</b> ・事業の進捗状況（「小櫃学—小櫃の戦跡—」、鹿島人形について） ・学習会「波の伊八について」  ※講師：布施慶子氏（久留里城址資料館学芸員）	小櫃公民館 第1会議室	6

3	8	4	月	14:00 ～ 16:30	<b>第3回運営会議</b> ・事業の進捗状況（小櫃に残る名工の作、君津の歴史たんぼう視聴） ・意見交換「文化祭特別企画」	小櫃公民館 第1会議室	7
4	9	24	水	14:00 ～ 15:40	<b>第4回運営会議</b> ・事業の進捗状況（全国自作視聴覚教材コンクールの受賞、小櫃に残る彫刻作品、小櫃学） ・意見交換「文化祭特別企画」	小櫃公民館 第1会議室	7
5	11	10	木	14:00 ～ 16:15	<b>第5回運営会議</b> ・事業の進捗状況（全国自作視聴覚教材コンクール文化祭特別企画ロビートーク「平和を考える」、小櫃学、小櫃に残る彫刻作品） ・共同作業「むかしの小櫃のマップづくり」	小櫃公民館 第1会議室	8
6	12	8	月	14:00 ～ 16:40	<b>第6回運営会議</b> ・事業の進捗状況（「第49回小櫃地区ふるさと祭り」小櫃学） ・共同作業「むかしの小櫃のマップづくり」	小櫃公民館 第1会議室	7
7	12	15	月		<b>【動画配信】第49回小櫃地区ふるさと祭り</b> ・君津市公式YouTubeチャンネルおよび公民館ロビーにて上映  ※小櫃地区ふるさと祭り実行委員会より制作依頼	YouTube 公民館ロビー	0
8	1	19	月	14:00 ～ 15:30	<b>第7回運営会議</b> ・事業の進捗状況（「小櫃学—里見義弘の足跡を辿る」） ・共同作業「むかしの小櫃のマップづくり」	小櫃公民館 第1会議室	8
9	3	9	月		<b>第8回運営会議</b> ・事業の進捗状況 ・フィールドワーク ・共同作業「むかしの小櫃のマップづくり」	小櫃公民館 第1会議室 末吉周辺	
10	3	31	火		<b>【動画配信】小櫃学—里見義弘の足跡を辿る—</b> ・君津市公式YouTubeチャンネルおよび公民館ロビーにて上映	YouTube 公民館ロビー	

令和7年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	<p align="center"><b>小櫃学</b> ～戦国武将 里見義弘生誕500年、その足跡を辿る～</p>	作成日	令和 8 年 2 月 20 日						
		担当者	會澤直也						
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数 8時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>過疎と高齢化が進む小櫃地区において、地域の持つ資源や文化を再認識・再発見する機会を設けることで、地域の関係人口増加を図り、地域活性化に寄与するため「小櫃学」を実施する。</p> <p>瑞龍院（三田）には「里見義弘の墓」の史跡が残っているが、今年は義弘生誕500年の節目にあたる。令和5年度の学習では、里見義堯・義弘の2代を取り上げたが、今回はその続編として義弘の足跡を辿る。</p> <p>なお、「小櫃まるごと博物館」構想事業の一環として、講座の内容を映像記録としてまとめ、現地の案内看板とオンライン配信を結びつけることで、小櫃地区住民はもちろんのこと、広く市内外へ発信することで、小櫃の地域活性化を目指すことを目的に実施する。</p>								
対象・定員等	小櫃地区住民、小櫃まるごと博物館運営員、関心のある者 35名(バス定員)		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円) から報償費20千円支出					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ、房総ファミリア、ポスター掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	20
		0	0	0	0	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	23
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b> 昼休憩中に、小櫃まるごと博物館動画「小櫃学ー里見義堯と義弘ー」（令和5年度小櫃学実施記録）を上映し、里見義弘がおかれていた歴史背景について学べるよう工夫した。</p> <p><b>【課題】</b> 令和5年度の学習内容からさらに踏み込んで「里見義弘」視点で戦国時代を学ぶ今回の企画だったが、前回と同じ内容だと捉えていた人もいたようで、小櫃地域内からの参加は少なかった。小櫃学の趣旨に立ち返って、地域をめぐることを軸足に内容の検討を進めていきたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	11	29	土	9:00 ～ 17:00	<p><b>小櫃学～戦国武将 里見義弘生誕500年、その足跡を辿る～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座学：里見の房甲同盟</li> <li>現地観察：里見義弘の墓（瑞龍院） 佐貫城址（富津市） 三船山古戦場跡（泉汲寺～大正寺）</li> </ul> <p>※講師：夢酔藤山氏（歴史時代小説家）、 鈴木三美子氏（久留里城址資料館学芸員）</p>	小櫃公民館/ 瑞龍院/佐貫城址/ 三船山古戦場跡	23

機関名	小櫃公民館
-----	-------

事業名称	<b>趣味教養講座</b>		作成日	令和 8 年 2 月 17 日									
	①犬と人が、もっと心地よく暮らすための講座 ②小櫃の「たまご」を楽しむ教室		担当者	島津愛広									
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	3回	総時間数	6時間							
実施背景 目的 特記事項等	① <b>犬と人が、もっと心地よく暮らすための講座</b> 少子高齢化・人口減少社会の進行などの社会の変化から、地域のつながりが感じにくくなっている現状がある。そこで、ペットという共通の関心事をきっかけに、人と人がゆるやかにつながり、地域の中で支え合える関係性を築いていくことを目的に事業を実施する。  ② <b>小櫃の「たまご」を楽しむ教室</b> 小櫃地区の特産品である「たまご」を活用した料理講座を開催し、身近な食材や地域の特産物に目を向けるきっかけとする。また、参加者同士が一緒に料理をし、食事を楽しむことで交流を促進するとともに、今後の地域での活用（イベント・商品化等）に関心を持つ人材の発掘にもつなげる。												
対象・定員等	各回ともに20名程度		支出概要	課題解決学習推進事業 （報償金107千円、消耗品費9千円）									
周知方法等	自治会回覧、館内掲示												
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6					7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計
	実数	0					0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0				
	合計	0	0	0	0	0	0	16	21				
成果反省 課題等	【成果】 ※実施後記入  【課題】 ※実施後記入												

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	2	28	土		<b>犬と人が、もっと心地よく暮らすための講座</b> ・住環境の工夫、健康管理のポイント ・災害時に備えた犬との避難・防災対策 ・地域の中で近隣住民と助け合いながら暮らすことの大切さなど  ※講師：鳥澤裕美氏（NPO法人わんこのさとten）	小櫃公民館 研修室	
2	3	14 or 15	土 or 日		<b>小櫃の「たまご」を楽しむ教室① おやこで親子丼</b> ・地元生産者から「卵へのこだわり」や「おいしいたまごの食べ方」などのお話をしていただく ・親子丼づくり  ※講師：塩田美和子氏	小櫃公民館 調理室	

3	3	28	土	<p><b>小櫃の「たまご」を楽しむ教室① クレープづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元生産者から「卵へのこだわり」や「おいしいたまごの食べ方」などのお話をさせていただきます</li> <li>・ミルクレープづくり</li> </ul> <p>※講師：塩田美和子氏</p>	<p>小櫃公民館 調理室</p>	
---	---	----	---	--	----------------------	--

		機関名	小櫃公民館												
事業名称	男性の家事育児参画促進事業	作成日	令和 8 年 2 月 17 日												
		担当者	島津愛広												
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数	2時間										
実施背景 目的 特記事項等	<p>共働きが一般的となった現代において、夫婦が互いに理解し、尊重し合う関係を深めるとともに、男性の家事・育児への関心を高め、家庭での実践につなげることを目的として実施。</p> <p>さらに、家事や子育てを通じて男性同士がつながり、気軽に交流できる関係づくりのきっかけを作ることを目的とした。</p> <p>※県の補助金を活用し、市民生活課が推進する「男性の家事育児参画と女性活躍推進」の趣旨に沿って実施する。</p>														
対象・定員等	15名程度		支出概要	市民生活課予算より支出											
周知方法等	自治会回覧、館内掲示														
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6							7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計
	実男	0							0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0						
延男	0	0	0	0	0	2	0	1							
延女	0	0	0	0	0	1	0	1							
計	0	0	0	0	0	3	16	21							
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 講座内容は、男性はもちろん女性にとっても学びが多くあり、男性女性問わず多くの人に聞いてもらいたいものだった。</p> <p><b>【課題】</b> 参加者数が少なく、男性同士のつながりづくりを実践することはできなかった。今後は、地域住民のニーズを的確に把握するとともに、日時やテーマなど、参加しやすい講座づくりを行う必要がある。</p>														

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	11	30	日	9:30 ～ 11:30	<p><b>夫婦のすれ違い、なぜ起こる？パパのための家事・育児シェア術</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女でちがう「感じ方・考え方」のポイントや、お互いの本音を知る</li> <li>・夫婦で家事をシェアし、楽しく続けるコツを学ぶ</li> </ul> <p>※講師：村上 誠氏 (NPO法人ファザーリングジャパン理事)</p>	小櫃公民館 講義室	3

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	デジタル活用講座	作成日	令和8年2月20日							
		担当者	會澤直也							
(予算分類名)		課題解決学習推進事業	全回数	3回	総時間数	6時間55分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>学びなおし支援の一環として、個人の要望と社会の要請に応えるために実学的な内容を取り上げ、新たに必要とされる知識や能力、技術等を学習する機会とする。 携帯電話各社の3Gサービスの終了に伴い、ガラケーからスマートフォンへ移行する高齢者向けにスマートフォンに関する操作講習と、スマートフォン用アプリの利用を通して、デジタル技術を上手に生かして生活を豊かに便利にしていくため実施する。</p> <p>※ほほえみ学級、あそんべ食堂と日程を合わせ連帯感を持たせた事業開催とした。</p>									
対象・定員等	成人15名							支出概要 課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円)		
周知方法等	自治会回覧配布、市HP、館内掲示、広報きみつ									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59		60~	合計
	実数	0	0	0	0	0	0		0	6
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	12	
	延べ	0	0	0	0	0	0	20	20	
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b> 広報きみつに掲載した効果と思われるが、初回から満員での開催となり、2回目も定員を超える参加者となった。今回、本講座の日程を午前中のほほえみ学級と夜間の安孫べ食堂とそろえ、終日公民館で過ごせるようにした。これにより、ほほえみ学級から本講座への参加や、本講座終了後にあそんべ食堂へ参加する人もみられた。</p> <p><b>【課題】</b> 毎回の課題となっている通信環境については、公民館設置のWi-Fi単独使用では容量不足で遅延が起きるため、引き続き君津市フリーWi-Fiと併用しながら進めていく必要がある。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	9	16	火	13:30 ~ 15:50	<b>【A】 超入門！スマホのカメラとメッセージアプリの使い方</b> ・カメラを使おう ・メッセージアプリを使おう	小櫃公民館 研修室	15
2	10	21	火	13:35 ~ 15:55	<b>【B】 スマホで安心ナビ！地図アプリとハザードマップ活用術</b> ・地図アプリを使おう ・ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう	小櫃公民館 研修室	17
3	11	18	火	13:30 ~ 15:45	<b>【C】 便利で安全なデジタル生活の第一歩！いま話題の「AI」体験とネット生活を安全に楽しむためのポイント</b> ・生成AIを使ってみよう ・安心・安全につかうためのポイント	小櫃公民館 研修室	10

令和7年度事業報告書（中間報告）

		機関名	小櫃公民館									
事業名称	おびつスマイルサロン “いーね”	作成日	令和 8 年 2 月 19 日									
		担当者	會澤直也									
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	14 回	総時間数	31時間05分							
実施背景 目的 特記事項等	<p>本事業は、住民が気軽に集まる場づくりを通して、生きがいづくり、孤立防止、介護予防につながる活力ある地域づくりを図る。サロン実施における5つのねらい、①地域のつながり・仲間づくり、②孤立・閉じこもりの防止・見守りの効果、③地域の情報交換の場・機会、④災害時に強い地域づくり、⑤身近なボランティア活動</p> <p>※運営については、君津市生活支援コーディネーター、小櫃地区社会福祉協議会、地域団体の賛同者で組織する運営委員会を中心に事業を推進していく。</p>											
対象・定員等	小櫃地区住民30名程度		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円)より報償費13千円支出								
周知方法等	自治会回覧、自治会館へのポスター掲示、民生委員・社協より該当者へ手渡し、小櫃公民館LINE											
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	男 0				0	0	0	0	0	0	0
延べ	男	0	0	0	0	0	0	41	101			
	女	0	0	0	0	0	0	98	158			
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 運営委員の発案のもと、参加奨励の意味から今年度よりスタンプカードを導入し、6回ごとに景品をプレゼントする試みを始めた。実際、参加者にとっても毎回参加する励みの一つになっている。スマイルサロンは申し込み不要の形式をとっているため、参加するもしないも自由だが、参加する動機付けの効果があるといえる。</p> <p><b>【課題】</b> 高齢の参加者が多いため、自宅から公民館までの移動手段の課題が常にある。現状、デマンドタクシーが公共交通となっているものの、利用者にとっては十分な状況ではないとの意見が出ている。 来年度の予算削減の影響から、地区社会福祉協議会とさらに連携をしながら講師の選定依頼を進めていく必要がある。</p>											

プログラム

回	月	日	曜	時間		備考(会場・他)	参加数
1	4	18	金	13:30 ~ 15:50	<b>スマイルサロン”いーね”【4月】</b> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「片付けのための基本 ~物との向き合い方~」 ※講師：松本佳代氏（整理収納アドバイザー）  ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第1回運営委員会	小櫃公民館 講堂	19
2	5	16	金	13:30 ~ 15:45	<b>スマイルサロン”いーね”【5月】</b> ・ミニ学習「音楽鑑賞のひととき」 ※講師：君津ラテン・ジャズ同好会 ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第2回運営委員会	小櫃公民館 講堂	12

3	6	20	金	13:35 ～ 15:45	<b>スマイルサロン” いーね” 【6月】</b> ・レク ・ミニ学習「気になる高血圧のこと ～減塩のヒント～」 ※講師：秋元一浩氏・安西尚美氏 (君津市高齢者支援課) ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第3回運営委員会	小櫃公民館 講堂	23
4	7	18	金	13:35 ～ 15:45	<b>スマイルサロン” いーね” 【7月】</b> ・レク ・ミニ学習「小櫃地域と公民館の50年の歩み」 ※講師：會澤直也(小櫃公民館) ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第4回運営委員会	小櫃公民館 講堂	19
5	8	8	金	13:30 ～ 15:45	<b>スマイルサロン” いーね” 【8月】</b> ・ストレッチ ・ミニ学習「足腰の健康度チェック ～体組成測定～」 ※講師：秋元一浩氏・安西尚美氏(高齢者支援課) ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第5回運営委員会	小櫃公民館 講堂	23
6	9	19	金	10:00 ～ 11:05	<b>第6回運営委員会</b> ・上半期のふりかえり ・今後のスケジュール ・その他	小櫃公民館 講堂	6
7	9	19	金	13:30 ～ 15:45	<b>スマイルサロン” いーね” 【9月】</b> ・レク ・ミニ学習「転倒防止のためにできること ～歩行用具の活用方法～」 ※講師：宮野貴幸氏(ふきのとう木更津) ・おしゃべりタイム・みんなで歌 *終了後、第7回運営委員会	小櫃公民館 講堂	26
8	10	17	金	13:30 ～ 15:35	<b>スマイルサロン” いーね” 【10月】</b> ・レク ・ミニ学習「楽しく学ぶ！認知症予防講座」 ※講師：高橋瑞恵(明治安田生命) ・おしゃべりタイム・みんなで歌 *終了後、第8回運営委員会	小櫃公民館 講堂	26
9	11	21	金	13:30 ～ 15:40	<b>スマイルサロン” いーね” 【11月】</b> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「『地域包括』ってなあに？」 ※講師：君津市東部地域包括市民センター ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第9回運営委員会	小櫃公民館 講堂	26

10	12	19	金	13:30 ～ 15:50	<b>スマイルサロン” いーね” 【12月】</b> ・体操 ※講師：鵜沢幸治氏（千葉薬品健康体操指導士） ・ミニ学習「食べてフレイル予防 ～筋肉量を増やそう～」 ※講師：清水果夏子氏（千葉薬品管理栄養士） ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第10回運営委員会	小櫃公民館 講堂	25
11	1	16	金	13:30 ～ 15:50	<b>スマイルサロン” いーね” 【1月】</b> ・ストレッチ(動画使用) ・ミニ学習「懐かしい歌みんなで聴きましょう」 ※講師：永島由美子氏 ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第11回運営委員会	小櫃公民館 講堂	27
12	2	20	金	13:30 ～ 15:40	<b>スマイルサロン” いーね” 【2月】</b> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習 「どうなる？健康保険証の有効期限切れ ～マイナ保険証とは～」 ※講師：平野真澄（君津市国保年金課） ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第12回運営委員会	小櫃公民館 講堂	23
13	3	5	木		<b>第13回運営委員会</b> ・1年間のふりかえり ・来年度の活動に向けて ・ちょっとためになる時間について ・その他	小櫃公民館 研修室	
14	3	13	金		<b>スマイルサロン” いーね” 【3月】</b> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「今日から始める！糖尿病予防」 ※講師：君津市健康スポーツ課 ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第14回運営委員会	小櫃公民館 講堂	

令和7年度事業報告書（中間報告）

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	介護家族のひろば	作成日	令和8年2月20日						
		担当者	會澤直也						
(予算分類名) 課題解決学習推進事業ほか		全回数	4回	総時間数	6時間20分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>認知症ケアには、認知症の本人支援とあわせて家族支援が必要であり、介護保険制度については本人支援が中心的な制度となっているため、「地域における介護家族へのケア」が必要である。</p> <p>そこで、認知症患者本人が“生活障害をもちながらどう生きていくか”と同時に、家族にとっては“認知症の人とともにどう生きていくか”という課題に対して、本事業では、「おびつスマイルサロン“いーね”」の派生事業として、東部地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携し、介護者同士が情報交換し、気持ちをさらけ出せる場づくりによって介護する家族等にとっての心のケアを図っていく（ピア・カウンセリング）。</p>								
対象・定員等	認知症等の家族を介護する者		支出概要 課題解決学習推進事業 （報償金107千円、消耗品費9千円）						
周知方法等	自治会回覧、ケアマネを通じてチラシ配布、市HP								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	0	0	0	0	0	0	0	8
	延女	0	0	0	0	0	0	0	16
	計	0	0	0	0	0	0	0	24
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b>                  これまで茶話会のファシリテートを外部依頼していたが、今年度から担当職員が進行を行うスタイルに変更した。企画会議でも特段大きな問題はないとのことから、引き続き現状のスタイルを継続していきたい。                  話題提供の内容によって関心のある方が参加するものの、一人ひとりがゆっくりと自身の介護話をしていくには十分な規模で推移している。</p> <p><b>【課題】</b>                  来年度、大幅な予算削減から、話題提供者も謝礼支払いを要しない方を中心に人選していくこととしたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	6	5	木	13:30 ~ 15:00	<b>介護家族のひろば（前期実施）</b> ・話題提供「在宅診療Q&A」（埴高志氏・小笠原絵美子氏／君津在宅診療所） ・茶話会「介護トーク」	小櫃公民館 和室	6
2	9	11	木	10:00 ~ 11:15	<b>第1回企画会議</b> ・前期実施のふりかえり ・後期開催に向けて検討（日程、内容、広報、役割分担、会場等）	小櫃公民館 第1会議室	7
3	11	25	火	13:30 ~ 15:05	<b>介護家族のひろば（後期実施）</b> ・話題提供「気になる介護とお金～施設に入るのにいくらかかる？～」（藤原大輔氏／上総園支援課） ・茶話会「介護トーク」	小櫃公民館 和室	11
4	3	12	木		<b>第2回企画会議</b> ・後期実施のふりかえり ・令和8年度前期実施に向けて検討（日程、内容、広報、役割分担、会場等）	小櫃公民館 第1会議室	

		機関名	小櫃公民館																																																					
事業名称	小櫃地区防災講座	作成日	令和8年2月20日																																																					
		担当者	會澤直也																																																					
(予算分類名)		課題解決学習推進事業	全回数	3回	総時間数	4時間45分																																																		
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和元年度より小櫃地区自治会連絡協議会と共催して「小櫃地区防災講座」を実施してきたなかで、“人と人とのつながり”が何より防災・減災に繋がることを学び、共助の力を高めていく必要性を確認してきた。</p> <p>今回は、南海トラフ巨大地震や首都直下地震など今後発生が予想されている地震について取り上げると共に、土砂災害警戒区域が追加されたことを踏まえ、大雨・台風等による土砂災害及び洪水についても取り上げていく。これらにより、災害発生時に被害を出さないこと(防災)、被害を極力小さくするための日頃からの取組(減災)について考え、行動できる住民を増やしていくことで、地域防災力の向上を目指す。</p> <p>※主催：小櫃地区自治会連絡協議会、小櫃公民館 協力：君津市赤十字奉仕団</p>																																																							
対象・定員等	自治会(各2名)、消防団、民生委員、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、赤十字奉仕団、一般参加者		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円)																																																				
周知方法等	自治会等関係団体への呼びかけ、チラシ回覧																																																							
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	女	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	0	0	0	0	0	0	0	延べ	0	0	0	0	0	0	5	61	計	0	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																
男	0	0	0	0	0	0	0	0																																																
女	0	0	0	0	0	0	0	0																																																
計	0	0	0	0	0	0	0	0																																																
延べ	0	0	0	0	0	0	5	61																																																
計	0	0	0	0	0	0	5	71																																																
成果 反省課題等	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震と土砂災害の2つについて取り上げ、地震災害については首都直下地震のシミュレーションと能登半島地震におけるトイレトレーナーの派遣の様子を扱った。土砂災害については、山本地区をはじめ土砂災害警戒区域に指定されているエリアもあることから、ちば情報マップを用いて警戒区域の見方についてレクチャーしてもらい、防災意識の向上を図った。</li> <li>地域防災力向上のためには顔の見える関係が重要であることから、今回も座学のあと、グループ内で感想タイムを設けた。小櫃は毎年自治会長が代わる地域であることから、関係者が顔を合わせる機会を持つことは引き続き重要である。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役員会での講座検討の時点で、AEDの操作講習に関しては説明を受けても、設置している場所が近くにならないため受ける必要がないのではという指摘を受けた。AEDの使い方だけでなく、設置箇所を増やしていく必要性がありながらも、公共施設が少ない地域の課題が浮き彫りとなっている。</li> </ul>																																																							

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	18	金	17:30 ~ 19:00	小櫃地区自治会連絡協議会役員会 ・小櫃地区防災講座の企画案をもとに協議	小櫃公民館 講義室	6
2	5	10	土	15:00 ~ 16:00	小櫃地区自治会連絡協議会総会 ・小櫃地区防災講座の事業説明及び参加者のとりまとめについて依頼した。	小櫃公民館 講堂	17

3	6	15	日	9:30 ~ 11:45	<b>小櫃地区防災講座</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講話：災害に備えるために(危機管理課)</li> <li>・説明：土砂災害警戒区域の追加(管理課)</li> <li>・説明：君津市避難行動要支援者 避難支援計画について(厚生課)</li> <li>・感想交流</li> </ul> <p>*運営協力を日赤奉仕団へ依頼</p>	小櫃公民館 講堂	44
---	---	----	---	--------------------	--	-------------	----

		機関名	小櫃公民館																																																					
事業名称	小櫃子育てサロン「おびつな」	作成日	令和8年2月20日																																																					
		担当者	會澤直也																																																					
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	6回	総時間数	11時間55分																																																			
実施背景 目的 特記事項等	<p>平成17年度より子育て支援室「コアラルーム」(小櫃保育園内)と連携して「ママ&amp;キッズハッピーパーク」を開設し、身近な場所での同年代の仲間づくりの機会となる活動を実施してきた。コロナ禍の影響により、従来の開催方法が困難となり、上総公民館と合同によるオンライン主体の事業を試行したが年度途中で中止に至った。令和4年度から、改めて地域単位での子育て世代の交流の場づくりとして本事業「子育てサロン」を開設し、コアラルームと連携をしつつ、乳幼児期の子を持つ保護者らが地域と接点を持って同年代の仲間と悩みや学びを共有していく場づくりを継承し、子育て支援事業を学習的側面から展開してきた。コロナ禍を経て変化してきた子育て環境や参加状況を受け、令和7年度より親子向け企画として実施し、体験活動やレクリエーション等を通じた人間関係作り(PTA活動等の土台作り)を進めていく。</p>																																																							
対象・定員等	小学生低学年以下の子とその保護者 12組程度		支出概要 課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円)のうち報償費11千円支出																																																					
周知方法等	コアラルーム、小櫃保育園、久留里カトリック幼稚園、自治会回覧、HP、																																																							
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td></td> <td>26</td> <td>27</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	延べ	14	7	0	0	0	0	0	32	男女計	12	20	3	0	0	0	0	88		26	27	3	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																
実数	0	0	0	0	0	0	0	0																																																
男女計	0	0	0	0	0	0	0	0																																																
延べ	14	7	0	0	0	0	0	32																																																
男女計	12	20	3	0	0	0	0	88																																																
	26	27	3	0	0	0	0	120																																																
成果反省 課題等	<p><b>【成果】</b> 共働き世帯の増加やニーズの変化を踏まえて、今年度から土日開催の親子企画として開催したことで、これまで参加したことのない家族の参加が見られた。また、「子どもひろば」と合同で開催した「おびつ縁日」では、中学生のボランティアの協力も得ながら、多くの参加者が集まり賑わいのあるイベントとなった。これらの活動を通して、参加する親同士、子ども同士自然と会話が生まれ、活動終了後にロビーでしばらく過ごしていく様子が見られた。</p> <p><b>【課題】</b> 来年度の大幅や予算削減から、ニーズの高い親子企画に絞って、なるべく低予算又は参加者材料費だけでまかなえる内容を検討していく必要がある。</p>																																																							

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	11	金	10:00 ~ 11:45	<b>準備会</b> ※3月準備会の振り返り、令和7年度「おびつな」について検討	小櫃公民館 和室	3
2	6	28	土	10:00 ~ 12:45	<b>第1回 親子でうどん作りに挑戦!</b> 自己紹介レクリエーションのあと、親子で手作りうどんに挑戦する。  ※講師：藤平裕子館長	小櫃公民館 調理室	10

3	8	9	土	10:00 ~ 12:00	<b>第2回 みんなおいでよ！おびつ縁日</b> 例年の「ミニ縁日&水遊び」を拡大して縁日を開催。 同時に、モルック等ミニゲームも用意しオリンピックゲーム形式で親子で楽しめる遊び場づくりを行う。  ※「こどもひろば」と合同開催	小櫃公民館 講堂	52
4	10	18	土	10:00 ~ 11:45	<b>第3回 小櫃の古墳を見て・作って・食べて味わう！</b> 小櫃の地域資源の1つ「古墳」を親子で知る機会として、小櫃まるごと博物館動画の視聴と古墳ケーキ作りを行う。  ※講師：藤平裕子館長	小櫃公民館 調理室	10
5	12	20	土	10:00 ~ 12:10	<b>第4回 スイーツ作り&amp;子ども用品おさがり交換会</b> 食育を兼ねたスイーツ作りを行ったあと、試食しながら「子ども用品おさがり交換会」を行う。  ※講師：黒澤美英子氏(食育メニュープランナー)	小櫃公民館 講堂 調理室	14
6	2	8	日	10:00 ~ 11:30	<b>第5回 お店屋さんごっこ</b> ごっこ遊びを通して、お金や物の価値について親子で楽しく学ぶ機会とする。  ※講師：福島聡文氏・塩川貴司氏・落合（キッズマネースクール講師）	小櫃公民館 講義室 研修室	5

		機関名	小櫃公民館																																												
事業名称	高齡者学級「ほほえみ学級」	作成日	令和8年2月19日																																												
		担当者	藤平裕子																																												
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	8回	総時間数	19時間20分																																										
実施背景 目的 特記事項等	小櫃地区は少子高齢化が進捗しており、65歳以上の高齢人口は増加傾向を示している。多くの高齢者のみなさんが、いきがいを見出し健康的に暮らせるよう、学習や交流の機会を創出してゆく。あえて“めんどくさい”や初体験に挑戦してもらえよう、プログラムの内容も工夫する。																																														
対象・定員等	小櫃地区にお住いの60歳以上の方、40名程度		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円)																																											
周知方法等	自治回覧、直接の声かけ等																																														
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																							
実数	0	0	0	0	0	0	0	0																																							
男女計	0	0	0	0	0	0	0	0																																							
延べ	0	0	0	0	0	0	0	0																																							
	0	0	0	0	0	0	0	145																																							
成果反省 課題等	1か月に1回程度の割合で開催。今年度も、マンネリ化やいわゆる前年踏襲型からの脱却を目指し、当地域ならではの内容をプログラムに反映させた。前年度、参加者が極端に少なかった映画は、思い切ってプログラムから外した。新規の参加者は何名かあったものの、学級生数の右肩下がりの傾向は続いており、次年度も積極的な呼びかけ・勧誘を行う。																																														

sa

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	24	月	10:00 ~ 12:00	<b>第1回：開級式&amp;レクリエーション</b> ①開級式 ②レクリエーション(自己紹) ③健康講座 「悪玉コレステロールを減らそう！」 ※講師：健康スポーツ課職員	小櫃公民館 研修室	27
2	7	19	金	10:00 ~ 12:00	<b>第2回：ものづくり講座・その1</b> ~優良食材：豆腐を手作りしてみよう~ ※講師：鈴木啓史氏・石橋誠二氏・木曾野正勝氏 (NPO法人「いきいき清和」)	小櫃公民館 研修室	12
3	9	16	火	10:00 ~ 11:10	<b>第4回：「ヨガ」に挑戦してみよう</b> ~今日も一日公民館で過ごせますから~ ※講師：森 久美氏	小櫃公民館 調理室	21
4	10	21	火	10:00 ~ 11:20	<b>第5回：「睡眠」と「健康」の知恵袋講座</b> ~今日も一日公民館で過ごせますから~ ※講師：高橋瑞穂氏(明治安田生命)	小櫃公民館 研修室	19

5	11	29	水	10:00 ～ 11:20	<b>第6回：ものづくり講座・その2</b> <b>～多肉植物を寄せ植えして癒されよう～</b>  ※講師：石橋久美氏	小櫃公民館 研修室	17
6	12	17	水	9:30 ～ 11:30	<b>第7回：小櫃公民館「ほほえみ学級」</b> <b>&amp;上総公民館「さわやか学級」交流会</b> <b>～ポッチャで交流しよう！～</b>  ※講師：鈴木恵二氏・前田佳也氏 (小糸レインボークラブ)	小櫃公民館 講堂	15
7	1	22	水	9:00 ～ 16:00	<b>第8回：「ほほえみ学級」移動学習</b> <b>～古代史とちょっとだけ2026年</b> <b>干支・馬について学ぶ！！～</b>  ①市原歴史博物館 ②オークラ千葉レストランセブンシーズにて昼食 ③千葉県立美術館 ④車窓から：乗馬クラブクレイン千葉レッスン 風景をチラ見	市原歴史博 物館、 千葉県立美 術館	18
8	2	18	木	10:00 ～ 13:00	<b>第9回：うどんづくり&amp;閉級式</b> ①みんなで「ふみふみ」うどんづくり！ ②閉級式（表彰式） 最優秀“出勤”賞は果たしてだれの手に…！  ※講師：藤平裕子（小櫃公民館）	小櫃公民館 調理室	15

# 令和7年度事業報告

令和7年度事業報告書

		機関名	上総公民館						
事業名称	小櫃・上総地区公民館運営審議会		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
			担当者	今井 雄生					
		(予算分類名)	公民館運営審議会関係費	全回数	3 回	総時間数	7.5時間		
実施背景 目的 特記事項等	<p>公民館の運営や事業計画等について、民意を反映し、協議・決定する。館長の諮問に応じて調査・審議・答申を行う。小櫃・上総各地区が抱えている課題の改善方法や、公民館の新たな在り方や可能性、教育施設としての役割を確立するための協議を実施し、さらに委員相互の交流を深めることで地域活性化を目指す。</p> <p>委員長:石井 喜夫氏、副委員長:丸山由起子氏 令和7・8年度事務局:上総公民館</p>								
対象・定員等	学識経験者等（上総・小櫃地区各4名、計8名）		支 出 概 要	公民館運営審議会関係費 予算総額 356千円 その他非常勤職員報酬220千円【執行額 156,700円】 費用弁償 102千円【執行額38,910円】 通信運搬費 18千円【執行額18,000円】 研修・諸会議等出席負担金16千円【執行額0 円】					
周知方法等	各委員へ開催通知郵送、掲示場・HPでの公告								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～
	実男	0	0	0	0	0	0	0	4
	実女	0	0	0	0	0	0	0	4
	計	0	0	0	0	0	0	0	8
	延男	0	0	0	0	0	0	0	15
	延女	0	0	0	0	0	0	0	16
	計	0	0	0	0	0	0	0	31
成果反省 課題等	<p>審議テーマに沿い地域の実情の洗い出し、その状況を踏まえた議論をし、2月にモデル事業を行った。</p> <p>時間や回数が限られている中で有意義な議論を展開していただけるよう、正副委員長を中心に今後も取り組んでいく必要がある。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	5	9	火	15:00 ～ 17:00	<p>第1回審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公運審の説明及び今後の進め方</li> <li>テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動」について（説明）</li> <li>各公民館年間事業計画</li> </ul>	中央図書館	8
2	9	9	火	14:00 ～ 16:50	<p>第2回審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度事業中間報告（4月～8月）</li> <li>審議テーマ「地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動」について</li> <li>公民館の開館時間、使用料金等について</li> </ul>	上総地域交流センター	7
3	12	9	火	14:30 ～ 17:00	<p>第3回審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度事業中間報告（9月～11月）</li> <li>「20歳のつどい」について</li> <li>審議テーマ「地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動」について</li> <li>公民館の開館時間、休館日について</li> </ul>	上総地域交流センター	8
4	3	10	火	14:30 ～ 17:00	<p>第4回審議会（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度事業報告（12月～3月）</li> <li>「20才のつどい」について（実施報告）</li> <li>審議テーマ「地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動」について</li> <li>公民館の開館時間、休館日について</li> </ul>	松丘コミュニティセンター	8

		機関名	上総公民館						
事業名称	第53回上総地区文化祭		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業		担当者	全職員					
		全回数	6回	総時間数	17時間25分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>半世紀にわたる地域と上総公民館の歴史の積み重ねを大切にしながら、文化祭を通して地域住民の学習・文化・スポーツ活動等の交流を深めると共に、文化振興と活力ある地域社会の建設をめざす契機とし、「第53回上総地区文化祭」を実施する。</p> <p>期日：10月18・19日(土・日)</p>								
対象・定員等	地域住民		支出概要 コミュニティ活性化事業 予算総額246千円 うち報償費32千円【執行額0円】 うち消耗品費35千円【執行額34,842円】						
周知方法等	上総公民館だより特別号を発行し自治会回覧								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	0	0	0	0	0	0	0	14
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	10
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	24
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	716
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	719
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	1435
成果 反省課題等	<p>テーマ「つながる ひろがる 上総の文化」を掲げ、より充実した文化祭を目指し、サークル団体や地域の方々と協力して行うことで、文化祭は一定の賑わいを作り出すことができた。共同作業や子どもチャレンジコーナーでは、文化祭に参加しない団体やサークルの協力をいただくことができた。</p> <p>しかしながら高齢化に伴うサークル数や団体活動の減少が課題である。活動アピールの場、相互情報交換の場として、各サークルだけでなく、普段公民館を利用していない地域活動団体等に積極的に関わってもらえるように、引き続き個人参加などの周知も行い、新たな発表やつながり作りにもつなげていく必要がある。</p> <p>また、中・高校生との関わり方についても、より関心を持ってもらい参加してもらえるように検討していきたい。施設の使用方法や、催し物の開催時間の見直しも検討する必要がある。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容・講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	9	木	18:00 ~ 18:45	第53回上総地区文化祭企画委員会議 ・第53回上総地区文化祭の実施検討	上総公民館	6
2	5	27	火	15:00 ~ 16:10	第1回実行委員会 ・文化祭実施計画の説明 ・今後の日程について ・実行委員長および部門長の選出 ・部門別会議	上総公民館	24
3	8	19	火	15:00 ~ 17:00	第2回実行委員会 ・主な行事・計画について ・共同作業(準備・後片付け)について ・当日の運営、後片付け、反省会について ・「実施報告書」の提出について	上総公民館	23
4	10	16	木	9:00 ~ 10:30	共同作業 ・備品の移動、片づけ ・展示パネル設置	上総公民館	70

5	10	18 ～ 19	土 ～ 日	9:30 ～ 16:00 <small>22日は15時 まで</small>	<b>第53回上総地区文化祭</b> ・芸能の集い（詩吟・大正琴・カラオケ等） ・音楽発表会 ・展示、体験、販売 ・特別展「A I と私たちの暮らしのかかわり」	上総公民館	1300
6	11	18	火	15:00 ～ 16:00	<b>第3回実行委員会</b> ・第53回上総地区文化祭の成果と課題について	上総公民館	12

		機関名	上総公民館						
事業名称	上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室	作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
		担当者	今井 雄生						
(予算分類名)		コミュニティ活性化事業	全回数	1 回	総時間数	5.5時間			
実施背景 目的 特記事項等	<p>自分たちの住んでいる地域を足で歩いて確認し、地域の良さや魅力について考える機会とする。あわせて、地域外との交流も大切にしなが、関係団体や機関と連携を深めながら、地域の隠れた魅力を発見できる事業として進める。</p> <p>また、令和7・8年度小櫃・上総地区公民館運営審議会の審議テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動について」の関連事業として、企画段階から地域団体と協働にて実施する。</p>								
対象・定員等	テーマに関心のある方 25名		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額246千円 消耗品費 報償32千円【執行額16千円】					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ、LINE、メール								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
実数	男	0	1	0	0	0	0	10	11
	女	0	1	0	0	0	3	10	14
	計	0	2	0	0	0	3	20	25
延べ	男	0	1	0	0	0	0	10	11
	女	0	1	0	0	0	3	10	14
	計	0	2	0	0	0	3	20	25
成果 反省課題等	<p>久留里地区・亀山地区・松丘地区を3年で一巡しており、今回は久留里地区で実施した。企画段階から地域団体と協働で実施し、本事業がこれまで果たしてきた「地域内外の方々に地域の魅力を広く知っていただく」という役割に加えて、地域団体による地域づくり活動についても広く周知し、関心を持っていただくことができた。</p> <p>なお、令和元年台風以降、山道が荒れていたり立ち入れなくなっていたりする箇所が増え、年々新たなルートの探索が難しくなっている。また、地権者や関係者への事前の説明や承諾が必要な場所にも注意が必要である。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	2	14	土	9:30 ~ 15:00	久留里の山を歩く～浅間山遊歩道・愛宕神社ほか～ 共催：くるりボランティアガイドの会、蓑会 (アンケート結果 満足：20名 やや満足4名)	集合・解散：久留里カトリック幼稚園(徒歩10km)	25

		機関名	上総公民館						
事業名称	館報「上総公民館だより」発行事業	作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
		担当者	今井 雄生						
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業	全回数	3 回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	公民館及び分館事業や活動の紹介等を通して、豊かな地域文化の創造を目指す情報紙として発行する。 *年4回 各回2,500部発行 A3両面フルカラー (文化祭特集号のみ手刷り)								
対象・定員等	上総地区全域		支出概要	コミュニティ活性化事業					
周知方法等	上総地区自治会各戸配布			予算総246千円					
参加状況 ※年齢はおおよそ				うち需用費 印刷製本費 179千円 【執行額91,960円】					
	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
成果 反省課題等	地域の交流や動きについて、紙面を通じて関わられるよう記事のいくつかをシリーズ化し、継続的な視点で地域の情報を追いかけることに取り組んでいる。また、高齢化等の影響でサークル数が減少していることを踏まえ、サークル活動を紹介し活性化の一助とした。 紙面構成や記事の内容が例年固定化してきている状況があるため、今後は地域の情報を市民から寄せてもらうことのできる編集体制を検討していきたい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	6	20	木		<b>第185号</b> 1面:令和7年度事業計画、主催事業紹介、令和に続く地域の力⑭体育協会上総支部 2面:公運審委員の委嘱、移動交番、市政協力員紹介、サークルショット「上総書道サークル」、上総で元気に暮らす⑭熱中症、職員の動き 等		0
2	9	18	木		<b>文化祭特集号</b> ・第53回上総地区文化祭案内 ※リソグラフ印刷 A3両面2つ折り		0
3	12	18	木		<b>第186号</b> 1面:文化祭報告、令和に続く地域の力⑮かずさっ子クラブ 2面:上総大正琴クラブ解散、上総で元気に暮らす⑮包括支援センターの役割、主催事業実施報告ほか		0
4	3	19	木		<b>【予定】第187号</b> 1面:令和7年度事業報告、令和に続く地域の力⑯黄色い鳥 2面:明るい社会啓発標語コンクール入賞作品決定・上総で元気に暮らす⑯誤嚥に注意、主催事業実施報告ほか		0

		機関名	上総公民館							
事業名称	「久留里だより」発行		作成日	令和7年2月28日						
			担当者	森本 弘之						
	(予算分類名)	コミュニティ活性化事業	全回数	1回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	歴史ある城下町として、歴史と文化を今に色濃く残す久留里地区の良さを再発見することをめざす取り組みなどを『久留里だより』で取り上げると共に、住民相互の交流と親睦の輪を広げ地域活性化をはかる契機とする。*A3判2面 1,200部発行									
対象・定員等	久留里地区内の全世帯		支出概要	コミュニティ活性化事業 総額246千円						
周知方法等	久留里地区の自治会に依頼し全世帯に配布			うち需用費 印刷製本費198千円						
				【執行額34,980円】						
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	
	実数	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0		
成果 反省課題等	「20歳のつどい」などのイベントを中心に、地域の様々な動きに対して紙面を通じて伝えると共に、地域再発見や地域活性につながるような誌面構成づくりを行った。年1回の発行であり継続的なテーマを持ったコーナー作りが難しい面もあるため、地域の話について興味をもってもらえるような紙面づくりを心掛ける。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	2	19	木		第19号(通巻第76号) 1面: 令和7年久留里地区「20歳のつどい」 2面: 「花いっぱい運動」、「久留里の打ち水&夕涼みコンサート」、第18回「鄙の雛展」、「JR久留里駅 駅長にインタビュー」		0

令和7年度事業報告書

		機関名	上総公民館																																																																
事業名称	スマホ塾!! (趣味教養講座)	作成日	令和 8 年 2 月 28 日																																																																
		担当者	今井 雄生																																																																
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業	全回数	4 回	総時間数	9時間																																																														
実施背景 目的 特記事項等	インターネットを介した情報発信が増加する昨今、災害時においても防災無線等と併せて、メールやインターネットが使用されることが多くなった。 そこで、情報の取得方法や発信方法を学び、日々の生活に役立ててもらうほか、災害時などに市からの情報を得る・家族に対して自分の情報を発信できる手段として、スマートフォンを有効活用するための学習機会を提供する。																																																																		
対象・定員等	成人一般 各回15人	支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額246千円【執行額0円】																																																																
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ																																																																		
参加状況 ※年齢は おおよそ	<table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>0~6</td> <td>7~12</td> <td>13~15</td> <td>16~19</td> <td>20~39</td> <td>40~59</td> <td>60~</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> </table>		年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	9	9	実女	0	0	0	0	0	0	6	6	計	0	0	0	0	0	0	15	15	延男	0	0	0	0	0	0	16	16	延女	0	0	0	0	0	0	12	12	計	0	0	0	0	0	0	28	28		
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																											
実男	0	0	0	0	0	0	9	9																																																											
実女	0	0	0	0	0	0	6	6																																																											
計	0	0	0	0	0	0	15	15																																																											
延男	0	0	0	0	0	0	16	16																																																											
延女	0	0	0	0	0	0	12	12																																																											
計	0	0	0	0	0	0	28	28																																																											
成果 反省課題等	講師のドコモショップ君津店社員による分かりやすい説明と実習により、スマートフォンの基礎を易しく学ぶことができた。参加者の満足度も高かった。 一方で、総務課による委託事業という性質上、内容もパッケージになっており、どうしても講師に任せきりになってしまう部分が多いのは課題である。何らかの形で地域のニーズを捉えてテーマ選定に反映させるなど工夫をしていきたい。																																																																		

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	11	13	木	10:00 ~ 12:15	「文字入力の仕方」「インターネットの使い方」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足5名)	上総公民館	5
2	11	13	木	13:30 ~ 15:45	「カメラの使い方」「メッセージアプリの使い方」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足5名)	上総公民館	5
3	11	27	木	10:00 ~ 12:15	「新しくアプリをインストールする方法」 「スマートフォンを安全に使うための基本的なポイント」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足6名 やや満足2名)	上総公民館	10
4	11	27	木	13:30 ~ 15:45	「メッセージアプリの使い方」 「ハザードマップポータルサイトで災害のリスクを確認する方法」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足6名 やや満足2名)	上総公民館	8

令和7年度事業報告書		機関名	上総公民館						
事業名称	初めてのDIY教室 (趣味教養講座)		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業		担当者	今井 雄生					
		全回数	3 回	総時間数	9時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>工芸室の稼働率が低いことから、工芸室を活用した事業を実施する。また地域の高齢化が進んでいることから、生活の課題を解決できる内容を取り上げて、参加者層の拡大を図る。 家の中のちょっとした段差があると便利な踏み台を手作りし、生活を便利にすることで、高齢化が進む中でも地域で暮らし続けられるようにする。</p>								
対象・定員等	成人一般 10人		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額246千円 うち報償費32千円【執行額10千円】 うち消耗品費35千円【執行額19,778円】					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
実数	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	5	5
	計	0	0	0	0	0	0	6	6
延べ	男	0	0	0	0	0	0	3	3
	女	0	0	0	0	0	0	14	14
	計	0	0	0	0	0	0	17	17
成果 反省課題等	<p>皆さん最初は悪戦苦闘し、「先が思いやられる。」と弱気になる方もいたが、次第に慣れてきて、参加者同士が教え合う姿も見られた。 自主的に3回目の活動を行うことになった。また、その後、自主サークル「はじめてのDIY」として活動することになった。</p>								

### プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	15	火	9:00 ~ 12:00	釘打ちやのこぎりの練習・材料の加工(切断等)・組み立て 協力者:河野 晴二氏(地域住民)	上総公民館	5
2	7	29	火	9:00 ~ 12:00	滑り止めの加工と塗装 協力者:河野 晴二氏(地域住民)	上総公民館	6
3	8	19	火	9:00 ~ 12:00	塗装・今後のサークル化について協議 協力者:河野 晴二氏(地域住民) (アンケート結果 満足5名 やや満足1名)	上総公民館	6

令和7年度事業報告書		機関名	上総公民館						
事業名称	団体活動育成支援	作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
		担当者	全職員						
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業	全回数	2 回	総時間数	2時間40分				
実施背景 目的 特記事項等	公民館事業や活動を通じて、学習と地域づくりの活動を支援する。公民館利用者が公民館の役割を認識し、利用しやすい公民館づくりと団体活動の発展を考えていく機会とする。								
対象・定員等	上総公民館利用者連絡協議会、上総地区住民等		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額246千円【執行額0円】					
周知方法等	利用者連絡協議会総会時配布、自治会回覧								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実男	0	0	0	0	0	0	0	17
	実女	0	0	0	0	0	0	0	23
	計	0	0	0	0	0	0	0	40
	延男	0	0	0	0	0	0	0	17
	延女	0	0	0	0	0	0	0	23
	計	0	0	0	0	0	0	0	40
成果 反省課題等	現在は、公民館からの説明や避難訓練を行っているが、今後はそれに加えて、サークル・団体同士の交流や、講師を招いて活動に役立つ内容の研修を行うなど、実施方法を工夫していきたい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	5	27	火	14:00 ~ 14:40	令和7年度第1回 定期利用説明会 ・公民館定期利用について ・上総公民館（上総地域交流センター）の使用上の留意点について ・その他の施設や備品の使用について ・避難経路の確認	上総公民館	18
2	1	28	水	14:00 ~ 16:00	令和7年度第2回 定期利用説明会 ・公民館利用について ・上総公民館（上総地域交流センター）の使用上の留意点について ・その他の施設や備品の使用について ・新施設予約システムについて ・避難経路の確認 ・避難訓練等について	上総公民館	22

事業名称		上総地区青少年相談員共催事業		機関名	上総公民館				
		(予算分類名) 青少年教育事業		作成日	令和 8 年 2 月 28 日				
				担当者	今井 雄生				
				全回数	11 回	総時間数	50時間10分		
実施背景 目的 特記事項等	青少年相談員の会議等の諸活動を支援するとともに、公民館と共催で各種の交流や体験に関する事業を企画・実施し、地区内の青少年の健全育成を目指す。 第2 2期上総地区青少年相談員 定数：20名、任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日まで（3年間）								
対象・定員等	上総小学校の児童			支出概要	青少年教育事業 予算総額67千円 うち報償費 35千円【執行額0円】 うち消耗品費32千円【執行額0円】				
周知方法等	上総小学校にチラシ配布								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6	7～12					13～15	16～19
実男	0	29	0	0	2	15	0	0	46
実女	0	29	0	0	0	3	0	0	32
延男	0	58	0	0	2	18	0	0	78
延女	0	21	0	0	0	101	0	0	122
べ	0	43	0	0	0	27	0	0	70
	0	64	0	0	0	128	0	0	192
成果 反省課題等	第2 2期上総地区青少年相談員は任期3年における1年目であったが、会長を先頭に相談員がまとまりをもって、各行事の企画運営に積極的に携わっている。 一般的には活動のマンネリ化、活動に出席する相談員の固定化が懸念される場所である。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	5	29	木	19:30 ～ 21:00	令和7年度第1回上総地区青少年相談員会議 ・今年度の活動について ・相談員研修について ・チャレンジファイヤーについて ・キャンプについて	上総公民館	18
2	7	3	木	19:30 ～ 20:40	令和7年度第2回上総地区青少年相談員会議 ・デイキャンプについて ・バスハイクについて ・文化祭について	上総公民館	18
3	7	19	土	13:30 ～ 15:00	子どもキャンプ事前研修 ・班分け ・名札作り ・危険予知トレーニング	上総公民館	17
4	7	28	月	19:30 ～ 21:15	令和7年度第3回上総地区青少年相談員会議 ・デイキャンプについて ・市連協各支部の報告	上総公民館	8
5	8	2	土	13:30 ～ 20:00	子どもデイキャンプ (小学生19名、青少年相談員10名参加) モルック大会・カレー作り・肝試し (アンケート結果 大変良かった:10名、良かった:7名、良く なかった:2名)	上総公民館	29
6	9	1	月	19:30 ～ 20:30	令和7年度第4回上総地区青少年相談員会議 ・バスハイクについて ・文化祭について ・書道大会について	上総公民館	14

7	9	20	土	8:30 ~ 16:30	子どもバスハイク（子ども38名、青少年相談員9名参加） （アンケート結果 大変良かった29名 良かった9名）	はまぎんこども宇宙科学館 （横浜市）	47
8	9	25	木	19:30 ~ 22:00	令和7年度第5回上総地区青少年相談員会議 ・文化祭について ・書道大会について	上総公民館	10
9	10	4	土	9:30 ~ 14:00	第22回亀山ふるさとまつり ・模擬店	亀山コミュニティセンター	6
10	10	18 ~ 19	土 ~ 日	9:30 ~ 16:00 22日は15時まで	第53回上総地区文化祭 ・君津ふるさとかるた大会上総地区予選（1日目） ・模擬店（2日目）	上総公民館	10
11	11	1	土	11:00 ~ 14:00	第20回松丘ふれあいまつり ・模擬店	松丘コミュニティセンター	4
12	12	3	水	19:30 ~ 20:15	令和7年度第6回上総地区青少年相談員会議 ・文化祭の反省について ・書道大会について ・その他諸連絡	上総公民館	7
13	12	21	日	9:00 ~ 13:00	書道大会&お楽しみビンゴ大会 （青少年相談員4名・OB3名参加、講師として上総書道サークル7名参加） （アンケート結果 大変良かった：14 良かった：4）	上総公民館	25
14	1	22	木	19:30 ~ 20:30	令和7年度第7回上総地区青少年相談員会議 ・書道大会の反省について ・次年度の各行事の日程について ・その他諸連絡	上総公民館	9

		機関名	上総公民館							
事業名称	夏休み自習室開放		作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
			担当者	早田ゆう子						
	(予算分類名)	青少年教育事業	全回数	24 回	総時間数	232時間				
実施背景 目的 特記事項等	夏休み期間中に公民館会議室を自習室として開放し、主に青少年の学習を支援する。									
対象・定員等	概ね管内の小学1年生～高校3年生		支出 概要	青少年教育事業 予算総額67千円 【執行額0円】						
周知方法等	管内の小学校、中学校、高等学校にチラシ配布及びポスター掲示									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計
	実	男	0	0	0	5	0	2	0	7
		女	0	0	1	0	2	0	0	3
	計		0	0	1	5	2	2	0	10
	延	男	0	0	0	5	0	2	0	7
		女	0	0	1	0	2	0	0	3
	べ	計	0	0	1	5	2	2	0	10
成果 反省課題等	7月22日(火)～7月31日(木)、8月7日(木)～8月29日(金)の土日祝日以外を開放した。今後も地域の小中学校や高等学校に対して周知を図り、快適な自習環境を提供したい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容・講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	22	火	9:00 ～ 17:00	公民館事務室で受付をし、会議室を自習室として利用する。 実開放日数:24日(土日祝日及び使用不可日を除く)	上総公民館 小会議室2	10
	5	5	金				
	8	29	金				

		機関名	上総公民館						
事業名称	公民館Deチャレンジ				作成日	令和 8 年 2 月 28 日			
					担当者	早田 ゆう子			
	(予算分類名)	青少年教育事業			全回数	2 回	総時間数	3時間	
実施背景 目的 特記事項等	子どもの健やかな成長と発達を目指すとともに、学習、美術への探究心を育てる。 また、地域の方々に協力していただくことで、子どもと地域の大人が相互に考えを深めあい、 ふれあう機会を提供することを目的とする。								
対象・定員等	概ね管内の小学校1～6年生				支出概要	青少年教育事業 予算総額67千円 うち報償費35千円 【執行額10,000円】			
周知方法等	上総小学校にチラシ配布、ポスター掲示								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6	7～12	13～15				16～19	20～39
実数	男	0	4	0	0	0	0	0	4
	女	0	3	0	0	0	0	0	3
	計	0	7	0	0	0	0	0	7
延べ	男	0	7	0	0	0	0	0	7
	女	0	18	0	0	0	0	0	18
	計	0	25	0	0	0	0	0	25
成果 反省課題等	「子ども絵画教室」では地域の画家に、鉛筆の持ち方や色の塗り方など、基本的な絵の書き方を 教えていただき、オリジナリティあふれる作品を作ることができた。 「スイーツを作ろう！」ではグミと大福を作り、調理する楽しさを味わうことができた。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	8	20	水	10:00 ～ 11:30	「こども絵画教室」 講師：静 文雄氏 内容：デッサンの基本 （アンケート結果 大変良かった10名、良かった1名、普通1名）	上総公民館 小会議室	13
2	8	22	金	10:00 ～ 11:30	「スイーツを作ろう！」 講師：徳山 恵子氏 内容：ぶどう大福とグミを作る （アンケート結果 大変良かった8名、良かった3名）	上総公民館 工芸室	12

令和7年度事業報告書		機関名	上総公民館																																																																
事業名称	令和7年上総小櫃地区20歳のつどい	作成日	令和8年2月28日																																																																
		担当者	今井雄生																																																																
	(予算分類名) 青少年教育事業	全回数	7	回	総時間数 12時間55分																																																														
実施背景 目的 特記事項等	20歳の節目に成人としての自覚を持ち、地域との交流・親睦を図る。中学校の統合に伴い、本年度から「上総小櫃地区20歳のつどい」として、従来の4地区(久留里・松丘・亀山・小櫃)が合同での実施となる。																																																																		
対象・定員等	上総小櫃中学校区の平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方	支出概要	青少年教育事業 予算総額67千円 うち消耗品費32千円【執行額7,040円】 うち燃料費5千円【執行額4,840円】(上記のほか生涯学習文化課予算から報償費および役務費を支出)																																																																
周知方法等	対象者に個別で郵送																																																																		
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>0~6</td> <td>7~12</td> <td>13~15</td> <td>16~19</td> <td>20~39</td> <td>40~59</td> <td>60~</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実数</td> <td>男 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>男 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>53</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>88</td> </tr> </table>		年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	男 0	0	0	0	4	0	0	4		女 0	0	0	0	4	0	0	4		計 0	0	0	0	8	0	0	8	延べ	男 0	0	0	28	18	0	0	46		女 0	0	0	25	17	0	0	42		計 0	0	0	53	35	0	0	88		
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																											
実数	男 0	0	0	0	4	0	0	4																																																											
	女 0	0	0	0	4	0	0	4																																																											
	計 0	0	0	0	8	0	0	8																																																											
延べ	男 0	0	0	28	18	0	0	46																																																											
	女 0	0	0	25	17	0	0	42																																																											
	計 0	0	0	53	35	0	0	88																																																											
成果反省課題等	<p>統合後のつどいを大きなトラブルもなく無事に終えることができた。</p> <p>一方で、実行委員の地区の偏り(小櫃地区の実行委員しかいない)は課題である。4地区から実行委員が出るように働きかけていきたい。</p>																																																																		

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	8	19	火	19:00 ~ 21:00	上総小櫃地区20歳のつどい第1回実行委員会 ・君津市における「20歳のつどい」のあり方について ・20歳のつどいの進め方について ・実行委員会や当日の役割分担について ・恩師及び来賓者等の確認・案内について	上総地域交流センター	3
2	9	9	火	18:00 ~ 19:50	上総小櫃地区20歳のつどい第2回実行委員会 1. 前回の会議のふりかえり 2. 20歳のつどいの趣旨及び実行委員の役割について 3. 来賓及び恩師の招待者について 4. 案内状について 5. つどいの具体化に向けて検討 6. 記念品	上総地域交流センター	4
3	10	14	火	19:00 ~ 21:10	上総小櫃地区20歳のつどい第3回実行委員会 1. 前回のふりかえり 2. 来賓・恩師招待者について 3. 20歳のつどいの流れについて 4. 実行委員会から参加呼びかけ文書について 5. 記念文集について	上総地域交流センター	6
4	11	18	火	19:00 ~ 21:15	上総小櫃地区20歳のつどい第4回実行委員会 前回のふりかえり 1. 来賓・恩師招待者について確認 2. 20歳のつどいシナリオと役割分担について 3. 実行委員からの参加呼びかけ文書について 4. 記念文集について 5. 今後の予定について	上総地域交流センター	7

5	12	19	金	19:00 ~ 20:50	上総小櫃地区20歳のつどい第5回実行委員会 前回までのふりかえり 1. 案内文書の発送と参加状況について 2. 20歳のつどいの準備 3. 記念文集の作成 4. その他	上総地域交 流センター	7
6	1	10	土	13:00 ~ 15:00	上総小櫃地区20歳のつどい第6回実行委員会 前回までのふりかえり 1 会場設営 2 リハーサル 3 その他作業等 ・パンフレット折り込み&封入作業	上総小櫃中 学校	8
7	1	11	日	14:00 ~ 15:00	上総小櫃地区20歳のつどい ・国歌斉唱 ・市長あいさつ ・来賓祝辞、来賓あいさつ ・20歳のメッセージ ・実行委員長あいさつ ほか	上総小櫃中 学校	53

		機関名	上総公民館																																																														
事業名称	上総地区青少年健全育成 「明るい社会啓発標語コンクール」	作成日	令和 8 年 2 月 28 日																																																														
		担当者	今井 雄生																																																														
	(予算分類名) 青少年教育事業	全回数	2 回	総時間数	40分																																																												
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和3年度から上総地区の小学校統合を契機に、上総地区全体として青少年健全育成に資する社会啓発標語コンクールを行うこととした。</p> <p>本事業を行う目的として、私たちの生活を豊かで楽しいものとするために、住みやすい明るい地域社会作りが必要である。そこで、児童・生徒から啓発標語を募集し、明るい社会作りの一層の推進を図るものである。</p>																																																																
対象・定員等	上総小学校の1年生～6年生 114名		支出概要	青少年教育事業 予算総額67千円 うち消耗品費27千円【執行額7,040円】																																																													
周知方法等	上総小学校へ募集依頼																																																																
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0～6</th> <th>7～12</th> <th>13～15</th> <th>16～19</th> <th>20～39</th> <th>40～59</th> <th>60～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table>						年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	63	実女	0	0	0	0	0	0	0	58	計	0	0	0	0	0	0	0	121	延男	0	0	0	0	0	0	0	63	延女	0	0	0	0	0	0	0	58	計	0	0	0	0
年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計																																																									
実男	0	0	0	0	0	0	0	63																																																									
実女	0	0	0	0	0	0	0	58																																																									
計	0	0	0	0	0	0	0	121																																																									
延男	0	0	0	0	0	0	0	63																																																									
延女	0	0	0	0	0	0	0	58																																																									
計	0	0	0	0	0	0	0	121																																																									
成果 反省課題等	<p>総応募数114点から各賞8点を選出し、受賞者には、小学校経由で賞状を授与した。</p> <p>結果については、ポスターを作成し、久留里観光交流センターや久留里線の各駅など上総地区計16か所に掲示した。また、上総公民館だよりにて結果を紹介する予定である。</p>																																																																

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容・講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	18	木		<p>上総小学校児童(1～6年生)へ作品募集</p> <p>①あいさつや助け合い等、心と心のふれあいを表すもの。</p> <p>②薬物や非行、暴力等、青少年に危害を加えるものの根絶を呼びかけるもの。</p> <p>③健全な食生活や交通安全等、心身ともに健康で安全な生活をおくれるように呼びかけるもの。</p>		114
		23	金				
2	2	9	月	18:00 ～ 18:40	<p>上総地区青少年健全育成「明るい社会啓発標語作品」審査会</p> <p>総応募数112点から各賞8点を選出</p> <p>上総公民館長賞、青少年相談員連絡協議会長賞、自治会連絡協議会長賞、上総幹部交番所長賞、民生委員児童委員協議会長賞、上総ライオンズクラブ会長賞、上総ロータリークラブ会長賞、上総小学校長賞</p> <p>(審査員7名出席)</p>	上総公民館 会議室2	7

令和7年度事業報告書		機関名	上総公民館																																																																	
事業名称	みんなイキイキ！食の健康教室		作成日	令和 8 年 2 月 28 日																																																																
			担当者	今井 雄生																																																																
	(予算分類名)	課題解決事業	全回数	1 回	総時間数	3時間																																																														
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和5年度に実施した上総公民館のあり方に関するアンケート調査結果では、期待する講座として、「健康学習」がトップとなったことを踏まえ、モデル事業の実施について検討した。食は住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らしていくために、老若男女問わず全ての人の健康と密接に関わっている。</p> <p>高齢化率が50%を超える上総地区において、高齢者の健康課題の一つである「誤嚥」の防止をテーマに、食を通じて健康を考え、実践する機会を提供する。</p>																																																																			
対象・定員等	主に上総地区住民 10名		支出概要	課題解決学習推進事業																																																																
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ、LINE、メール			予算総額82千円																																																																
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	0	実女	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	0	0	0	0	0	0	0	延男	0	0	0	0	0	0	0	0	延女	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	0	0	0	0	0	0	0	うち報償費68千円【執行額0円】	
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																												
実男	0	0	0	0	0	0	0	0																																																												
実女	0	0	0	0	0	0	0	0																																																												
計	0	0	0	0	0	0	0	0																																																												
延男	0	0	0	0	0	0	0	0																																																												
延女	0	0	0	0	0	0	0	0																																																												
計	0	0	0	0	0	0	0	0																																																												
				生涯学習交流センター市民相互交流促進・生涯学習促進事業から5千円																																																																
成果 反省課題等	特別養護老人ホームの現場にて食を担う管理栄養士を講師に、誤嚥を防止することの大切さや予防するための方法、具体的な献立の調理実習を行い、誤嚥防止への理解を深める予定である。																																																																			

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	3	24	火	9:00 ~ 12:00	<p>講話「家庭でできる高齢者の誤嚥対策」・実習「誤嚥性肺炎を防ぐ安心ごはん」（予定）</p> <p>講師：河野 純 氏（特別養護老人ホーム上総園 栄養課長・管理栄養士）</p>	上総公民館	0

		機関名	上総公民館							
事業名称	市公連共催事業「公民館×AI」		作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
			担当者	今井 雄生						
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	2 回	総時間数	4時間15分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>AI（人工知能）が進化し、私たちの暮らしに深く関わるようになった。暮らしを便利にしてくれる一方で、さまざまな課題も生まれている。しかし、AIの急速な進歩や、少子高齢化に代表される社会の急速な変化の中で、AIと無関係でいることはもはや不可能であり、誰もがAIを正しく理解して、活用することが必要である。</p> <p>そこで本講座では、地域の方を対象に、そもそもAIとは何か、私たちの暮らしとどのように関わっているのかを知ると共に、適切にAIを活用するために必要な力を身につけることを目指す。</p> <p>なお、本講座は清和大学との共同研究の一環として実施する。</p>									
対象・定員等	テーマに関心のある方 ①15名 ②50名		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額82千円 うち報償費68千円【執行額0千円】						
周知方法等	自治会回覧、ホームページ、LINE、メール									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	男	0	0	0	0	0	0	29	29
		女	0	0	0	0	0	1	18	19
		計	0	0	0	0	1	47	48	
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	29	29
		女	0	0	0	0	0	1	18	19
		計	0	0	0	0	1	47	48	
成果 反省課題等	<p>生成AIの使用体験とAIリテラシーに関する講演会の2本立てとした。前者は身近なスマホで生成AIに親しみ敷居を低くすることに効果があった。後者はやや専門的な話ではあったが、AIに使われるのではなく人間が主体性を持ってAIを使いこなすことの大切さが伝わった。</p> <p>今後は市民の習熟度に合わせた多様なAI講座を実施していく必要があると感じた。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	1	29	木	13:30 ~ 15:45	<p>スマホ講座「インターネットを使ってみよう」「生成AIを使ってみよう」</p> <p>講師：ドコモショップ君津店（宮本氏、阿達氏、鈴木氏）</p> <p>（アンケート結果 満足9名 やや満足3名）</p>	上総公民館	14
2	2	17	火	13:30 ~ 15:30	<p>講演会「私たちの暮らしとAIリテラシー」</p> <p>講師：加納 久子 氏（清和大学法学部法律学科 准教授）</p> <p>（アンケート結果 満足14名 やや満足9名 どちらでもない3名 やや不満2名）</p>	<p>上総公民館 （オンライン 会場・サテラ イト会場周西 公民館）</p>	34

		機関名	上総公民館																																														
事業名称	地域リーダー防災学習会	作成日	令和 8 年 2 月 28 日																																														
		担当者	今井 雄生																																														
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数	9時間																																												
実施背景 目的 特記事項等	<p>共助の意識の向上に繋がる学習や交流の場を設け、安全に暮らし続けられる地域づくりについて学び、実践につなげる機会を目指す。</p> <p>*実施背景 令和元年度に台風15号・19号・大雨によって、上総地区は道路、家屋被害のみならず、停電・断水が長期にわたり、地域全体に大きな影響を受けた。人的な被害は最小限となったが、高齢化が進みかつ広域で災害による危険個所が多い上総地域において、自助・公助だけでは災害時に身を守ることは難しい面も今後予想され、住民と住民をつなぐ、助け合う関係作りの強化が必要とされている。</p> <p>*共催 上総地区自治会連絡協議会、上総地区民生委員・主任児童委員連絡協議会、上総地域市民センター</p>																																																
対象・定員等	上総地区自治会連絡協議会および上総地区民生委員・主任児童委員連絡協議会の役員40名程度	支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額82千円【執行額0円】																																														
周知方法等	自治会長・民生委員・主任児童委員に通知文を送付																																																
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0		
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																									
実数	0	0	0	0	0	0	0	0																																									
男女計	0	0	0	0	0	0	0	0																																									
延べ	0	0	0	0	0	0	0	0																																									
男女計	0	0	0	0	0	0	0	0																																									
成果 反省課題等	<p>昨年度に引き続き移動学習を実施予定。自治会連絡協議会と企画段階から協議をし、協力して進める状況である。</p> <p>行政機関と地域団体が連携して学習・交流の機会をもつことや防災についての学習は必要不可欠であるため、今後も継続して取り組む。</p>																																																

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	3	11	水	8:30 ~ 17:30	<p>テーマ「そなエリア東京見学」(予定)</p> <p>地震発生後72時間を生き延びるための方法や心構えを学ぶ。</p>	そなエリア東京(東京都江東区)ほか	0

		機関名	上総公民館											
事業名称	上総子ども人権教室 (上総子どもふれあい教室)		作成日	令和 8 年 2 月 28 日										
			担当者	早田ゆう子										
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	4 回	総時間数	11時間30分								
実施背景 目的 特記事項等	人権に関する正しい知識、実践力等を身につける場とすると共に、子ども同士のふれあい活動を通して、仲間意識や思いやりの心を育てる。年間テーマは「みんなの気持ちをつなげよう！」													
対象・定員等	上総小学校3～6年生対象。		支 出 概 要	課題解決学習推進事業 予算総額82千円 うち報償費15千円【執行額15,000円】										
周知方法等	上総小学校を通じてチラシを配布													
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6					7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	
	実数	男					0	7	0	0	0	0	0	12
		女					0	8	0	0	0	0	0	11
		計	0	15	0	0	0	0	0	23				
延べ	男	0	21	0	0	0	0	0	30					
	女	0	22	0	0	0	0	0	26					
	計	0	43	0	0	0	0	0	56					
成果 反省課題	<p>手話やパラスポーツのモルック体験を通して障がいを持つ人への理解を深めた。</p> <p>移動学習では東京都人権プラザを訪れ、みんなが暮らしやすい社会について考えたり学ぶことができた。</p> <p>昔遊びでは、地域の方が作ってくれたぽっくりで遊んだり、ベーゴマの回し方を習い交流した。主任児童委員、小学校の協力を得ながら、子どもたちが安心して様々なことを学ぶことができた。</p> <p>次年度も人権擁護委員、主任児童委員、小学校の協力を得ながら、子どもたちが人権のことなど様々なことを学ぶ環境づくりや大人との交流の場を設けていく。</p>													

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	28	土	10:00 ～ 11:30	「手話であそぼう」 講師の手話通訳者から手話についての講義を受け、ろうあ者と一緒に自己紹介やジェスチャーゲームを行った。 講師：君津市ろうあ協会 協力：主任児童委員、上総小学校教諭	上総公民館	17
2	7	31	木	8:45 ～ 15:45	「移動学習」 東京都人権プラザでは、子ども向けの人権講座や障がい者スポーツの体験をした。また、ガスの科学館ではクイズ大会や実験コーナーなど楽しく科学に触れることができた。 協力：主任児童委員	東京都人権プラザ・ガスの科学館	15
3	11	29	土	10:00 ～ 11:30	「みんなが楽しめるモルックを体験しよう！」 講師：君津モルック 協力：人権擁護委員、主任児童委員、上総小学校教諭	上総公民館	13
4	1	31	土	10:00 ～ 11:30	「地域の人と昔あそびをしよう！」 下町自治会町内会のみなさんに竹馬、ベーゴマ、福笑いといった昔あそびを教えてもらい交流する。 講師：下町自治会町内会 協力：上総小学校教諭(アンケート結果 大変良い6名 良い2名)	上総公民館	11

		機関名	上総公民館							
事業名称	地域住民交流教室	作成日	令和 8 年 2 月 28 日							
		担当者	今井 雄生							
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	3 回	総時間数	6時間				
実施背景 目的 特記事項等	地域の身近な人権課題について学習し、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが生き生きと安心して生活できるまちづくりを目指す。地域性を考慮しながら人権に関するテーマを設定し、様々な手法で学び、考える機会を設ける。 現代的な人権課題について現状の理解とその背景について理解する。また、集会所を活用し、地域住民の交流の拠点づくりを進める。									
対象・定員等	地域住民(下町地区を中心に。地区外でも参加可能。)		課題解決学習推進事業 予算総額82千円 うち報償費68千円【執行額0円】(このほか生涯学習文化課人権施策推進事業予算10千円)							
周知方法等	自治会回覧、チラシ掲示、ホームページ、LINE、メール									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19	20~39
	実数	男	0	5	0	0	0	2	3	10
		女	1	3	0	0	0	14	11	29
		計	1	8	0	0	0	16	14	39
	延べ	男	0	5	0	0	0	2	3	10
		女	1	3	0	0	0	14	11	29
		計	1	8	0	0	0	16	14	39
成果 反省課題	多様な観点から人権問題を取り上げることが出来た。また、地元や近隣市の講師に依頼し、地域性を持った内容とすることができた。第1回では子どもも多く参加し、世代を超えた交流も生まれた。 人権問題は、年々複雑化及び多様化しており、それに伴ってテーマを選定することが難しくなっている。また、講師招聘の予算や回数・時間など限りがある中で人権問題について深めきれていないところもある。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	8	27	水	14:00 ~ 16:00	「ポッチャを楽しもう!~パラスポーツ体験~」 講師:前田 佳也氏、伊藤 あゆみ氏(小糸レインボークラブ) (アンケート結果【大人】満足5名、やや満足3名【子ども】たいへんよかった5、よかった2、ふつう1)	上総公民館	17
2	11	20	木	14:00 ~ 16:00	「精神障がいと特性に応じた配慮」 講師:芳賀 茂氏(アビリティーズジャスコ木更津センター管理者) (アンケート結果 満足5名、やや満足3名、どちらでもない1名、やや不満1名)	上総公民館	11
3	2	19	木	14:00 ~ 16:00	「高齢者の権利擁護~住み慣れた地域でその人らしく暮らすために~」 講師:長谷川 鮎子氏(東部地域包括支援センター社会福祉士) (アンケート結果 満足6名 やや満足5名)	上総公民館	11

		機関名	上総公民館							
事業名称	保育協力者関係事業	作成日	令和 8 年 2 月 28 日							
		担当者	早田ゆう子							
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数	2時間00分					
実施背景 目的 特記事項等	小さな子どもを持つ親(養育者)でも安心して学習できる機会を設けるため、保育協力者を養成する。また相互に安全な保育を行うために、適宜必要な研修を行っていく。 また、保育事業を実施することで、地域の方に子どもを「預け、預かる」関係性を構築し、地域での共同の子育てを考える契機とする。									
対象・定員等	上総公民館の保育を行う事業に協力できる方及び保育に関心のある方 若干名	支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額82千円 うち報償費 36千円(家庭教育関連事業における保育協力者謝礼)【執行額4,000円】							
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布(全世帯)									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	
	実数	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	3
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	3
計	0	0	0	0	0	0	0	3		
成果 反省課題等	保育協力者研修では乳幼児への絵本の読み聞かせについて意見交換を行ったり、「わいわい広場」の企画について意見を出してもらった。今後も様々な関わりを通して子育て世代と他世代相互のより良い関係作りに務めたい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	9	30	火	10:00 ~ 12:00	保育協力者研修会 ・今年度の保育について確認 ・今年度の保育実施事業及び予定について ・今年度のわいわい広場(内容等)について ・情報交換	上総公民館 小会議室2	3

		機関名	上総公民館						
事業名称	家庭教育関連事業 「わいわい広場」		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
			担当者	早田ゆう子					
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	2 回	総時間数 3時間00分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>「地域に子どもが少ない」という環境で子育てをしている方々が集い、仲間を作る場所を提供し、子育てがしやすい地域の土台作りと活性化を図る。また、親や地域住民が相互にふれあうことで、子育てに関する理解と交流を図ることを目指す。</p> <p>協力：保育協力者、上総地区主任児童委員</p>								
対象・定員等	0～3歳程度の子どもまたは孫とその保護者。15組程度		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額82千円 うち報償費15千円 【執行額5,000円】					
周知方法等	上総地区対象者へ案内を郵送								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～
	実数	男 3 女 4 計 7	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 5 5	0 4 4	0 0 0	3 19 22
	延べ	男 2 女 4 計 6	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 3 3	2 2 4	0 0 0	6 14 20
成果 反省課題等	<p>保護者が子どもと離れて心と体を整えリフレッシュする場を提供した。子育て仲間や先輩ママとのおしゃべり会をとおり、子育ての疑問などを話せる情報交換の場となった。また、いざという時の対処法を学ぶことができた。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	12	16	火	10:00 ～ 11:30	骨盤を整えてキレイを手に入れよう♪ 講師：平田 すが乃 氏 協力：保育協力者2名 (アンケート結果 満足3名)	亀山コミュニ ティセンター	8
2	1	20	火	10:00 ～ 11:30	子どものケガや誤飲など、いざという時の対処法を学ぶ 講師：君津市消防本部松丘分署職員 協力：保育協力者1 名、主任児童委員2名 (アンケート結果 満足4名)	松丘コミュニ ティセンター	12

		機関名	上総公民館						
事業名称	さわやか学級（高齢者学級）	作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
		担当者	森本 弘之						
（予算分類名）		課題解決学習推進事業	全回数	10 回	総時間数	24時間15分			
実施背景 目的 特記事項等	地域や家庭での役割を果たし、健康で生きがいのある生活のために共に学びふれあう場とする。高齢化率が50%を超えている上総地区において、60歳代以上の方が地域の自治会活動等の担い手になったり、家庭でも家事や介護等を担っている方も多い。今後も健康でいきいきと暮らし続けられる地域づくりにつながるよう、学びの場と交流の場を定期的に設ける。あわせて人とのつながりを生み出し、高齢世代がより住みやすい地域になることを目指していく。								
対象・定員等	上総地区在住の60歳以上の男女 36名		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額82千円 うち報償費33千円【執行額27,000円】					
周知方法等	自治会文書配布、前年度の班長を通じて募集								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～
	実男	0	0	0	0	0	0	2	2
	実女	0	0	0	0	0	0	24	24
	計	0	0	0	0	0	0	26	26
	延男	0	0	0	0	0	0	10	10
	延女	0	0	0	0	0	0	186	186
	計	0	0	0	0	0	0	196	196
成果 反省課題等	健康をテーマに様々な講座を行い、予定どおり全10回全て実施した。課題として、高齢化等に伴う参加者の減少があげられる。新規の方にもより参加してもらいやすいプログラムの改善や検討等を今後行っていく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	6	5	木	9:30 ～ 11:30	開級式・オリエンテーション 学習計画・運営確認、学級生紹介 健康な体づくり ～ストレッチ・体操で健康増進～ 講師：鈴木まゆみ氏[君津市スポーツ推進員] (アンケート結果 満足14名、やや満足4名)	上総公民館	20
2	7	8	火	8:30 ～ 15:30	移動学習 ～千葉県酪農のさと、菱川師宣記念館など～ 講師：菱川師宣記念館の職員 (アンケート結果 満足13名、やや満足1名)	南房総市、鋸南町方面	20
3	8	7	木	10:00 ～ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～楽しく学ぶ！認知症予防 講座編～ 講師：明治安田生命保険相互会社 (アンケート結果 満足17名、やや満足2名)	上総公民館	23
4	9	4	木	9:30 ～ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～楽しく学ぶ！認知症予防 ものづくり編～ 講師：小松崎博子氏（臨床美術士） (アンケート結果 満足11名、やや満足8名)	上総公民館	21
5	10	7	火	10:00 ～ 11:30	いきいきと心の健康づくり ～パン作り教室 part2～ 講師：岩崎純子氏[日々のパン 笑顔あふれるパン教室 『cocoroN』（ココロン）] (アンケート結果 満足18名、やや満足1名)	上総公民館	23
6	11	5	水	9:30 ～ 11:30	健康な体づくり ～グラウンドゴルフに挑戦～ 講師：上総グラウンドゴルフ愛好会[代表 宗政亀吉 他3名] (アンケート結果 満足11名、やや満足5名)	久留里スポーツ広場	17

7	12	17	火	9:30 ～ 11:30	小櫃公民館「ほほえみ学級」、上総公民館「さわやか学級」 交流会 ～ポッチャに挑戦 小櫃と上総の対抗戦!?!～ 講師：前田佳也氏[小糸レインボークラブ] (アンケート結果 満足15名、やや満足2名)	上総公民館	20
8	1	8	水	9:30 ～ 11:30	いきいきと心の健康づくり ～図書館活用術 心豊かに本を楽しむ～ 講師：大野賀代氏[君津市立中央図書館職員] (アンケート結果 満足9名、やや満足5名、やや不満足1名)	上総公民館	15
9	2	3	火	9:30 ～ 11:30	いきいきと心の健康づくり ～長板中形に挑戦 かんたん染色体験～ 講師：布施慶子氏[君津市久留里城址資料館職員] (アンケート結果 満足14名、やや満足1名)	上総公民館	16
10	3	3	火	9:30 ～ 11:30	健康づくりと健康の維持(予定) ～早期発見で未来が変わる!がんの基礎知識～ 講師：原田真由子氏[君津市健康こども部健康スポーツ課職員] (アンケート結果 満足15名、やや満足5名) 閉級式 1年間のまとめ、次年度に向けた話し合い	上総公民館	21

機関名	上総公民館松丘分館		
作成日	令和 8 年 2 月 28 日		
担当者	池田 開星		
全回数	3 回	総時間数	

事業名称	松丘分館事業 松丘分館だより発行								
	(予算分類名)	分館事業							
実施背景 目的 特記事項等	地域における学習・文化・体育活動及び暮らしに関する情報をまとめ編集し地域住民と公民館を結ぶパイプ役として発行する。 *年3回 各回1,000部発行 A3両面 業者印刷2回、自館印刷1回								
対象・定員等	松丘地区の毎戸		支出概要	分館事業 予算総額185千円 うち印刷製本費 122千円 【執行額61,600円】					
周知方法等	松丘地区の自治会配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6			7~12	13~15	16~19	20~39	40~59
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0
成果 反省課題等	分館で行う各事業や分館で活動するサークル紹介を主に掲載した。高齢化等を理由にサークルの会員数の減少が問題となる中で、サークル紹介を通じ活性化を図るとともに、分館で実施する事業に興味関心をもってもらうための紙面作りを進めた。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	19	木		第63号(通巻130号)発行 1面:令和7年度松丘分館事業計画、分館長あいさつ、令和6年度の松丘分館事業報告、ほか 2面:サークル紹介、松丘探検隊参加者募集、人の動き、サークル活動始めてみませんか?		
2	10	2	木		第64号(通巻131号)発行 1面:第20回松丘ふれあいまつりお知らせ 2面:サークル紹介(健康体操ぎゅっと・もっと!)、松丘地区防災講演会を実施しました、竹かごづくり講座募集、発表交流の集いプログラム		
3	2	19	木		第65号(通巻132号)発行 1面:20歳のつどい 2面:松丘分館事業紹介(松丘健康講座・お飾りづくり講習会・竹かごづくり講座、第20回松丘ふれあいまつり開催、ヨガサークル会員募集のお知らせ)		

		機関名	上総公民館松丘分館						
事業名称	松丘分館事業 松丘健康講座	作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
		担当者	池田 開星						
	(予算分類名) 分館事業	全回数	3 回	総時間数	6時間				
実施背景 目的 特記事項等	高齢化率が50パーセントを超える松丘地区では、老々介護の問題や一人暮らしのお年寄りの増加等の課題がある。このような状況の中で、腎臓病予防に関する講座を実施し、正しい知識と予防策を学ぶことで、地域で元気に暮らし続けられる高齢者層を増やし、地域の活力となることを目指す。								
対象・定員等	主に松丘地区住民		支出概要	分館事業 予算総額185千円 うち報償費 17千円 【執行額5,000円】					
周知方法等	自治会回覧								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19
	実	男	0	0	0	0	0	0	9
	女	0	0	0	0	0	0	0	44
	計	0	0	0	0	0	0	0	53
	延	男	0	0	0	0	0	0	20
	べ	女	0	0	0	0	0	0	52
	計	0	0	0	0	0	0	0	72
成果 反省課題等	<p>地域の高齢化率が高まっている中で、腎臓病予防をテーマとした本講座は参加者からの関心も高く好評であった。</p> <p>また、今回の講座を通じて、ヨガサークル「松健 ゆるヨガ」の立ち上げにつなげることができた。</p> <p>来年度も引き続き健康に関するテーマで事業を取り組んでいくとともに、今回の腎臓病予防講座に参加して生活に変化があったかをインタビューするなど学習内容の定着を図りたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	8	20	水	14:00 ~ 15:00	<b>あなたの腎臓大丈夫ですか？</b> 講師：君津中央病院 君津中央病院医務局腎臓内科部長兼科・透析看護認定看護師・患者総合支援センター副主査 近年新たな国民病として知られる慢性腎臓病について学ぶ	松丘コミュニティセンター	28
2	10	1	水	10:00 ~ 13:00	<b>腎臓病予防と食生活</b> 講師：食生活改善推進員 塩分を控えめでも美味しいレシピや減塩に取り組む際の「食べ方」など腎臓病予防のために今からできることを、食生活を通じて学ぶ。	松丘コミュニティセンター	19
3	10	24	金	10:00 ~ 12:00	<b>心と体をリラックス！ゆるヨガ体験</b> 講師：佐藤 梢 氏 初心者でも挑戦しやすい内容を中心にヨガの体験を実施 アンケート結果(満足9名、やや満足1名、未提出1名)	松丘コミュニティセンター	11

機関名	上総公民館松丘分館		
作成日	令和	8年	2月28日
担当者	池田 開星		
全回数	7回	総時間数	18時間15分

事業名称	松丘探検隊								実施背景 目的 特記事項等	地域住民と公民館職員等で構成された隊員で松丘地区の魅力を再発見し、地域内外に発信するため、時に秘境の地を探索しながら現地調査や学習会を行っていく。
	(予算分類名) 分館事業									
対象・定員等	主に松丘地区住民								支出概要	分館事業 予算総額185千円
周知方法等	松丘分館だより									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~		
実男	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
実女	0	0	0	0	0	0	0	0	19	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	35	
延男	0	0	0	0	0	0	0	0	29	
延女	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	68	
成果 反省課題等	参加者が口コミや声掛けで増えつつあり、地域や歴史に関心を持つ層をつかむ機会にもなっている。 なお、行く場所によって体力に自信がある人しか参加しない場合があり、各回の参加人数がバラバラである。健脚な方やそうでない方も両方楽しみながら学習できる回を増やしていきたい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	22	水	9:00 ~ 12:30	「熊谷草群生地(木更津市田川・松野宅・うまくだの路)」 ・クマガイ草自然園見学。 ・いっせんぼく見学。	木更津市	9
2	6	19	木	9:30 ~ 12:00	「久留里怒田の散策大日堂・北向地藏尊、鈴木メロン園」 講師：布施慶子氏(久留里城址資料館職員) ・大日堂・北向き地藏尊見学。講師による講話	上総地区	11
3	7	30	水	8:30 ~ 10:30	「富津市宮醤油店、東京湾観音見学」(津波警報発令のため途中中断) 講師：相川新一氏 宮敬一郎氏	富津市	14
4	12	4	木	9:15 ~ 12:00	「没後300年新井白石の生涯をたどる企画展」 久留里城址資料館企画展の見学 講師：坂井昭氏	久留里城址資料館	9
5	1	27	火	9:30 ~ 12:00	「久留里の河岸(かし)」 講師：布施慶子氏(久留里城址資料館職員) 河岸の見学、川舟の役割についての解説	上総地区	10
6	2	24	木	9:30 ~ 12:00	「久留里市場(久留里の町家・久留里鎌・酒造り)を歩いて見学」 講師：布施慶子氏(久留里城址資料館職員)	上総地区	15
7	3	25	水	9:30 ~ 12:00	「久留里の水を巡る」(予定)	上総地区	15

		機関名	上総公民館松丘分館						
事業名称	松丘分館事業 松丘ふれあいまつり		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
			担当者	池田 開星					
	(予算分類名)	分館事業	全回数	7 回	総時間数	21時間30分			
実施背景 目的 特記事項等	松丘コミュニティセンターを利用しているサークル・団体等が活動成果を発表すると共に、松丘地区内の教育機関及び自治会等の活動発表を通して住民相互の親睦・交流の輪を広げ、新たな地域づくりの契機とする。								
対象・定員等	主に松丘地区住民		支出概要	分館事業 予算総額185千円					
周知方法等	松丘分館だより掲載、小中学校保育園へのちらし配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～
	実	男	0	0	0	0	0	0	267
		女	0	0	0	0	0	0	259
		計	0	0	0	0	0	0	526
	延	男	0	0	0	0	0	0	299
		女	0	0	0	0	0	0	275
		計	0	0	0	0	0	0	574
成果 反省課題等	参加団体同士が協力し円滑に運営することができた。今回新たに、市のトイレトレーラーの展示を行い、一定の賑わいを見せた。 ハロウィンパーティでは仮装した子どもと大人のふれあう光景が見られ、モルック大会では総勢40名の参加があり老若男女の交流の機会となった。 なお、高齢化により活動が困難となり解散するサークル団体もある状況ではあるが、工夫を凝らしながら引き続きまつりが活性化するよう目指していきたい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	7	23	水	14:00 ～ 15:00	第20回松丘ふれあいまつり第1回実行委員会 ・まつり実施計画の説明 ・今後の日程について ・役員を選出	松丘コミュニティセンター	15
2	9	3	水	15:00 ～ 17:00	第20回松丘ふれあいまつり第1回役員会 ・第2回実行委員会に向けた資料確認や打合せ ・賛助金の使用方法検討	松丘コミュニティセンター	3
3	9	17	水	14:00 ～ 15:00	第20回松丘ふれあいまつり第2回実行委員会 (1) 第20回松丘ふれあいまつりの企画について (2) 準備について及び運営上の注意事項 (3) 開閉会式・分担について (4) その他	松丘コミュニティセンター	13
4	10	27	月	17:00 ～ 18:00	第20回松丘ふれあいまつり第2回役員会 (1) 共同作業について (2) 賛助金について (3) その他	松丘コミュニティセンター	3
5	10	31	金	9:00 ～ 17:00	共同作業 ・備品の移動、展示パネル等備品設置	松丘コミュニティセンター	30

6	11	1	土	9:00 ~ 16:30	<b>第20回松丘ふれあいまつり</b> ・発表・交流のつどい（大戸見の神楽・カラオケ・詩吟等） ・展示・模擬店・フリーマーケット ・ハロウィンパーティ ・モルック大会 ・トイドローン体験 ・特別展「松丘分館事業紹介」 ・トイレトレーラー展示	松丘コミュニ ティセンター	500
7	12	10	金	14:00 ~ 15:00	<b>第20回松丘ふれあいまつり第3回実行委員会</b> ・成果と課題確認 ・賛助金収支報告	松丘コミュニ ティセンター	10

		機関名	上総公民館松丘分館						
事業名称	松丘分館事業（その他）	作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
		担当者	池田 開星						
	(予算分類名) 分館事業	全回数	13 回	総時間数	32時間00分				
実施背景 目的 特記事項等	地域住民相互の学習活動を通して地域の文化の継承、地域住民相互のふれあい、健康増進をはかる。 分館事業等については、松丘分館事業推進委員会で検討をしながら実施をする。特に、松丘分館だよりは、松丘分館事業推進委員会で編集としている。								
対象・定員等	松丘地区住民		支出概要	分館事業 予算総額185千円 うち報償費 17千円 【執行額13,000円】					
周知方法等	松丘地区自治会回覧								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19
	実	男	0	0	0	0	0	0	62
	女	0	0	0	0	0	0	0	30
	計	0	0	0	0	0	0	0	92
	延	男	0	0	0	0	0	5	118
	女	1	3	0	0	0	0	2	60
	べ	計	1	3	0	0	0	7	178
成果 反省課題等	令和7年度松丘分館事業推進委員： 自治会代表1名、松丘地域コミュニティ活動推進委員会代表1名、公民館運営審議委員1名、青少年相談員1名、スポーツ推進委員1名、利用者代表2名 今後も分館事業推進委員会で事業内容を検討しながら、多くの方が参加し、地域活性に繋がるような事業を実施していく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	24	水	15:00 ~ 16:30	令和7年度第1回松丘分館事業推進委員会 (1) 松丘分館事業推進委員会について (2) 令和6年度の振り返り (3) 令和7年度松丘分館事業について (4) 分館だより第63号の編集・発行について (5) その他	松丘コミュニティセンター	5
2	7	2	水	10:00 ~ 12:00	松丘地区防災講演会 第1回 災害時に役立つパッククッキング! 講師：君津市健康スポーツ課 武田 久美子 主任管理栄養士 ライフラインが停止した時にも素早く簡単に調理できるパッククッキングによる調理実習を実施した。	松丘コミュニティセンター	20
3	7	6	日	10:00 ~ 12:00	松丘地区防災講演会 第2回 防災講座～災害に備えるために～ 講師：危機管理課職員 (1) 防災講座 ～災害に備えるために～ (2) 防災資機材の取り扱い講習会 (アンケート結果 満足26名、やや満足3名、未提出5名)	松丘コミュニティセンター	34
4	7	9	水	16:00 ~ 17:30	令和7年度第2回松丘分館事業推進委員会 (1) 第20回松丘ふれあいまつりについて (2) 分館だより第64号について (3) その他	松丘コミュニティセンター	11
5	8	9	土	9:30 ~ 11:30	夏休み子ども茶道体験教室 講師：鎌田しげ子 氏 (アンケート結果 大変良かった4名、良かった2名)	松丘コミュニティセンター	6
6	11	14	金	9:30 ~ 12:00	竹かご作り講座 第1回 講師：加藤洋和 氏	松丘コミュニティセンター	12

7	11	28	金	9:30 ~ 12:00	竹かご作り講座 第2回 講師：加藤洋和 氏 (アンケート結果 満足10名、やや満足1名、未提出1名)	松丘コミュニ ティセンター	12
8	12	3	水	15:00 ~ 17:00	令和7年度第3回松丘分館事業推進委員会 (1) 今後の分館事業について (2) 令和7年度移動研修について (3) その他	松丘コミュニ ティセンター	5
9	12	20	土	9:30 ~ 12:00	お飾りづくり講習会 講師：波多野 みち子 氏 (アンケート結果 満足6名、やや満足1名、未回答3名)	松丘コミュニ ティセンター	10
10	2	3	火	10:00 ~ 12:15	スマホ講座(第1回) インターネットの使い方 スマートフォンを安全に使うための基本的なポイント (アンケート結果 満足5名、やや満足4名)	松丘コミュニ ティセンター	9
11	2	5	木	10:00 ~ 12:15	スマホ講座(第2回) アプリのインストール ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認 (アンケート結果 満足5名、やや満足4名)	松丘コミュニ ティセンター	9
12	3	3	火	8:30 ~ 16:30	分館事業移動研修～深大寺周辺・調布航空宇宙センター～ (深大寺周辺・調布航空宇宙センター周辺) (予定)	東京都(調 布)	38
13	3	18	水	16:00 ~ 17:00	令和7年度第4回松丘分館事業推進委員会(予定) (1) 令和7年度松丘分館事業の反省と課題について (2) 令和8年度松丘分館事業について (3) その他	松丘コミュニ ティセンター	7

		機関名	上総公民館亀山分館							
事業名称	亀山分館事業趣味教養講座 デッサン・絵画教室		作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
			担当者	早田ゆう子						
	(予算分類名)	亀山分館事業	全回数	3 回	総時間数	4時間30分				
実施背景 目的 特記事項等	分館事業推進委員会で地域課題となっている内容を検討しながら、多くの方が参加できる、地域活性に繋がるような事業を実施していく。									
対象・定員等	亀山地区在住在勤者 15名程度		支出概要	分館事業 予算総額185千円 うち報償費 18千円 【執行額10,000円】						
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19	20~39
	実数	男	0	0	0	0	0	1	8	9
		女	0	0	0	0	0	2	0	2
		計	0	0	0	0	0	3	8	11
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	8	13
		女	0	0	0	0	0	0	12	15
		計	0	0	0	0	0	0	20	28
成果 反省課題等	地域の方を講師に迎え、絵画サークルを立ち上げることができた。亀山ふるさとまつりでは作品を展示することができた。いろいろな知識や技能を持った地域の人材を掘り起こすことができた。									

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	19	木	14:00 ~ 15:30	デッサンの基礎を学ぶ ①一筆書きで描く 講師：静 文雄 氏	亀山コミュニティセンター 小会議室	9
2	6	26	木	14:00 ~ 15:30	デッサンの基礎を学ぶ ②色を付ける 講師：静 文雄 氏 (アンケート結果 満足12名)	亀山コミュニティセンター 工芸室	11
3	7	3	木	14:00 ~ 15:30	デッサンの基礎(番外編)サークル化に向けて	亀山コミュニティセンター 小会議室	8

		機関名	上総公民館亀山分館							
事業名称	亀山分館事業趣味教養講座 健康教室		作成日	令和 8 年 2 月 28 日						
			担当者	早田ゆう子						
	(予算分類名)	分館事業	全回数	2 回	総時間数	3時間00分				
実施背景 目的 特記事項等	地域住民の関心の高い健康をテーマに講座を実施した。姿勢についての正しい知識や体操を通し、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせることを目指す。									
対象・定員等	亀山地区在住在勤者 20名程度		支出概要	分館事業 予算総額185千円 うち報償費 18千円 【執行額8,000円】						
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19	20~39
	実数	男	0	0	0	0	0	0	3	3
		女	0	0	0	0	0	0	14	14
		計	0	0	0	0	0	0	17	17
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	8	8
		女	0	0	0	0	0	0	23	23
		計	0	0	0	0	0	0	31	31
成果 反省課題等	カイロプラクターで高齢者体力づくり支援士の講師による、わかりやすい講義と楽しい体操で好評だった。講師の楽しい話術で笑顔になる参加者が多く、心のストレッチにもなった。									

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	11	5	水	10:00 ~ 11:30	「姿勢がつくる健康」①講義とゆがみチェック 講師：あなたの健康守り隊 平田すが乃氏 (カイロプラクター、高齢者体力づくり支援士)	亀山コミュニティセンター	15
2	11	19	水	10:00 ~ 11:30	「姿勢がつくる健康」②講義とチューブ体操 講師：あなたの健康守り隊 平田すが乃氏 (カイロプラクター、高齢者体力づくり支援士) (アンケート結果 満足8名 やや満足3名 どちらとも1名)	亀山コミュニティセンター	16

機関名	上総公民館亀山分館		
作成日	令和	8年	2月28日
担当者	早田ゆう子		
全回数	6回	総時間数	21時間45分

事業名称	<b>亀山分館事業</b> <b>「第22回亀山ふるさとまつり」</b>																																																															
	(予算分類名)	分館事業																																																														
実施背景 目的 特記事項等	亀山コミュニティセンター及び亀山分館の利用サークル・団体及び機関等が活動の成果を発表・普及すると同時に、地域の方々が「ふれあい・励ましあい・交流を深める場」をめざす。また展示や発表等様々な活動を通して、豊かな地域づくりをめざす出発点とする。運営については実行委員会を組織して進める。																																																															
対象・定員等	亀山地区在住在勤、関係者等	分館事業 予算総額185千円  支出概要																																																														
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布(全世帯)																																																															
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>0~6</td> <td>7~12</td> <td>13~15</td> <td>16~19</td> <td>20~39</td> <td>40~59</td> <td>60~</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>281</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>504</td> </tr> </table>		年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	30	実女	0	0	0	0	0	0	0	7	計	0	0	0	0	0	0	0	37	延男	0	0	0	0	0	0	0	281	延女	0	0	0	0	0	0	0	223	計	0	0	0	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																								
実男	0	0	0	0	0	0	0	30																																																								
実女	0	0	0	0	0	0	0	7																																																								
計	0	0	0	0	0	0	0	37																																																								
延男	0	0	0	0	0	0	0	281																																																								
延女	0	0	0	0	0	0	0	223																																																								
計	0	0	0	0	0	0	0	504																																																								
成果 反省課題等	趣味教養講座から美術系のサークルが立ち上がり、作品を展示することができた。また、今年3月に千葉県登録文化財に指定された亀山神社を神楽舞と講演、資料展示にて紹介した。子ども向け企画のダーツ大会は実行委員が企画から機材の調達、景品の準備、司会にわたるまですべて運営することができた。来年度に向け、発表部門のサークルを増やしていくのが課題である。																																																															

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	28	水	14:00 ~ 15:30	第22回亀山ふるさとまつり事前打ち合わせ ・まつり実施計画の説明 ・第1回全体会議に向けた資料確認や打合せ	亀山コミュニティセンター	6
2	6	12	木	14:00 ~ 15:30	第22回亀山ふるさとまつり 第1回全体会議 ・まつり実施計画の説明 ・役員の選出 ・今後の日程について	亀山コミュニティセンター	21
3	8	21	木	15:30 ~ 17:15	第22回亀山ふるさとまつり 第2回全体会議 ・企画内容の確認 ・役割分担 ・今後の確認	亀山コミュニティセンター	6
4	10	4	金	9:00 ~ 17:00	第22回亀山ふるさとまつり共同作業 ・備品の移動、展示パネル等備品設置	亀山コミュニティセンター	60
5	10	5	金	9:00 ~ 17:00	第22回亀山ふるさとまつり ・発表・交流のつどい(神楽舞・合唱・大正琴・「亀山神社」講演)、みんなで歌おう♪、展示、模擬店、子どもの広場ダーツ大会、ボッチャ体験 他	亀山コミュニティセンター	400
6	12	3	水	14:00 ~ 15:00	第22回亀山ふるさとまつり実行委員会役員会 ・成果と課題の確認、意見交換	亀山コミュニティセンター	11

機関名	上総公民館亀山分館			
作成日	令和 8 年 2 月 28 日			
担当者	早田ゆう子			
全回数	9	回	総時間数	7時間40分

事業名称	亀山分館事業 「広報かめやま発行事業」								支 出 概 要
	(予算分類名) 分館事業								
実施背景 目的 特記事項等	分館事業・活動及び地域の文化・スポーツ並びに地域活性化等の紹介等を通して豊かな地域文化の創造をはかる情報紙として発行する。 *年3回 各回900部発行 A3両面 業者印刷2回、自館印刷1回 *広報かめやま編集委員(6名)と共に誌面構成、記事内容を検討。 *令和元年6月から亀山分館だより編集委員と亀山地域コミュニティ活動推進委員会で合同発行								
対象・定員等	亀山地区の毎戸								分館事業 予算総額185千円 うち印刷製本費 122千円 【執行額24,750円】
周知方法等	亀山地区の毎戸に配布								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	0	0	0	0	0	0	0	9
延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	45
	女	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	0	0	0	0	0	0	0	46
成果 反省課題等	地域 の 話題や人に焦点をあてた紙面作りを心掛けた。上総公民館亀山分館と亀山コミュニティ活動推進委員会の2つの組織で合同に発行していく強みを生かし、地域に密着した、読みたくなる広報紙を今後も目指していく。								

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	16	水	14:00 ~ 15:20	第1回広報かめやま編集会議 第19号(通巻167号)発行の内容について検討	亀山コミュニティセンター	6
2	5	21	水	14:00 ~ 15:20	第19号(通巻167号)について校正会議	亀山コミュニティセンター	6
3	6	19	水		第19号(通巻167号)発行 1面:亀山地域コミュニティ活動推進委員会定期総会開催、新年度役員紹介、亀山地区コミュニティ活動推進委員会会長、亀山地区自治会連絡協議会会長就任のあいさつ、我が自治会とっておきの話(豊田) 2面:分館移動研修報告、ほっとかめやま(本吉さん)、令和7年度分館事業計画、サークル紹介(TT卓球)他		
4	6	25	水	14:00 ~ 15:30	第2回広報かめやま編集会議 第20号(通巻168号)発行のまつり特集号内容について検討	亀山コミュニティセンター	6
5	8	6	水	14:00 ~ 15:30	第20号(通巻168号)発行のまつり特集号について校正会議	亀山コミュニティセンター	6
6	9	4	木		第20号(通巻168号)発行 1面:第22回亀山ふるさとまつり特集号 2面:デッサン・絵画教室開催、ほっとかめやま(西尾さん)敬老の日に寄せて(糟谷さん)		
7	11	12	水	14:00 ~ 15:00	第3回広報かめやま編集会議 第21号(通巻169号)発行の内容について検討	亀山コミュニティセンター	8
8	1	21	水	14:00 ~ 15:00	第21号(通巻169号)について校正会議	亀山コミュニティセンター	8
9	2	19	木		第21号(通巻169号)発行 1面:20歳のつどい 2面:亀山神社、ほっとかめやま(榎本さん)、地域で頑張っている人(大森さん)		

		機関名	上総公民館亀山分館						
事業名称	亀山分館事業（その他）		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
			担当者	早田 ゆう子					
	(予算分類名)	分館事業	全回数	6	回	総時間数	13時間10分		
実施背景 目的 特記事項等	分館事業について、利用者の立場や地域のみなさんから広く意見を伺う場をつくり、地域住民相互の学習活動を通して地域の文化の継承、地域住民相互のふれあいをはかる。								
対象・定員等	亀山地区在住在勤者		支出概要	分館事業 予算総額174千円 うち報償費 19千円 【執行額6,000円】 予定					
周知方法等	事業によっては毎戸チラシ配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実	男	0	0	0	0	0	0	6
		女	0	0	0	0	0	0	2
		計	0	0	0	0	0	0	8
	延	男	10	0	0	0	0	0	48
		女	15	0	0	0	0	0	44
		計	25	0	0	0	0	0	92
成果 反省課題等	令和7年度亀山分館事業推進委員： 自治会代表1名、亀山コミュニティ活動推進委員会代表1名、公民館運営審議委員1名、青少年相談員1名、利用者代表3名、分館長の計8名 分館事業推進委員会で事業内容を検討しながら、多くの方が参加し、地域活性に繋がるような事業を実施していく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	9	水	10:00 ~ 11:00	亀山分館利用サークル会議 亀山分館推進委員会について（役員等の改選に伴う分館推進事業推進委員の選出）	亀山コミュニティセンター	5
2	4	30	水	14:00 ~ 15:30	第1回亀山分館事業推進委員会 令和7年度亀山分館運営及び事業等の具体的な推進方策について	亀山コミュニティセンター	7
3	12	3	水	15:00 ~ 16:00	第2回亀山分館事業推進委員会 ・令和7年度亀山分館運営及び事業等の進捗状況について ・後期分館事業について	亀山コミュニティセンター	8
4	3	4	水	9:00 ~ 16:10	亀山分館移動研修（予定） 浅草自由散策	東京都台東区 浅草	24
5	3	18	水	14:00 ~ 15:30	第3回亀山分館事業推進委員会（予定） ・令和7年度亀山分館事業報告 ・令和8年度亀山分館事業について	亀山コミュニティセンター	8
6	3	24	火	10:00 ~ 11:00	かずさあけぼの保育園交流企画「みんなで歌おう！」（予定） 地域の方と子どもたちで、松本ピアノの伴奏で合唱・手遊びやゲームで交流する。	亀山コミュニティセンター	40

		機関名	上総地域交流センター						
事業名称	まちなみ塾通信		作成日	令和 8 年 2 月 28 日					
			担当者	今井 雄生					
	(予算分類名) 市民相互交流促進・生涯学習促進事業	全回数	4 回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	上総地域交流センター事業（団体支援）の参加者募集と合わせ、管内で開催される年中行事や諸活動の紹介などを通して、地域活性化の一環として発行する。								
対象・定員等	小櫃・上総地区の住民		支出概要	市民相互交流促進・生涯学習促進事業 予算総額29千円 うち需用費 消耗品費 印刷用マスター、インク、用紙等【執行額28,994円】					
周知方法等	自治会配布、久留里商店街協力店舗ポスター、チラシ								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6			7~12	13~15	16~19	20~39	40~59
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	0	0	0	0	0	0	0	0
	延女	0	0	0	0	0	0	0	0
	べ計	0	0	0	0	0	0	0	0
成果 反省課題等	地域の任意団体である「まちなみ塾」との関連事業を中心に、小櫃上総地域に向けた情報発信に取り組んだ。地域の情報紙として、地域活性の一役を担うような地域の活動紹介などを周知・アピールした。								

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	7	4	木		第28号 ＜掲載記事＞ 打ち水（久留里の打ち水 めぐる水・水のめぐみ）の案内 第1回花いっぱい運動報告 夕涼みコンサートの案内 等		0
2	9	18	木		第29号 ＜掲載記事＞ くるり落語フェスティバルの案内 打ち水（久留里の打ち水 めぐる水・水のめぐみ）・夕涼みコンサートの報告		0
3	11	6	木		第30号 ＜掲載記事＞ 久留里まちなみコンサートの案内 くるり落語フェスティバルの報告		0
4	1	22	木		第31号 ＜掲載記事＞ 年頭所感 鄙の雛展の案内 久留里まちなみコンサートの報告		0

		機関名	上総地域交流センター																																																														
事業名称	まちなみ塾（地域の任意団体による事業）	作成日	令和 8 年 2 月 28 日																																																														
		担当者	今井 雄生																																																														
(予算分類名) 市民相互交流促進・生涯学習促進事業		全回数	15 回	総時間数	99時間15分																																																												
実施背景 目的 特記事項等	久留里商店街の商店や地区内の団体・個人等の協力を得て、久留里の歴史と文化に根差した事業の企画をすすめ、それを具体化する取り組みを通して地域の活性化をめざす。																																																																
対象・定員等	小櫃・上総地区の住民		市民相互交流促進・生涯学習促進事業 予算総額29千円 【執行額28,994円】																																																														
周知方法等	久留里だより、自治会回覧、公民館・商店街店舗等掲示																																																																
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>0~6</td> <td>7~12</td> <td>13~15</td> <td>16~19</td> <td>20~39</td> <td>40~59</td> <td>60~</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>160</td> </tr> </table>						年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	4	54	実女	0	0	0	0	0	0	0	82	計	0	0	0	0	0	0	4	136	延男	0	0	0	0	0	0	28	78	延女	0	0	0	0	0	0	0	82	計	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																									
実男	0	0	0	0	0	0	4	54																																																									
実女	0	0	0	0	0	0	0	82																																																									
計	0	0	0	0	0	0	4	136																																																									
延男	0	0	0	0	0	0	28	78																																																									
延女	0	0	0	0	0	0	0	82																																																									
計	0	0	0	0	0	0	28	160																																																									
成果 反省課題等	まちなみ塾会員が中心となり、主体的に各事業の企画運営をしていただいた。特に本年は、打ち水の後に新たにコンサートを実施するなどの工夫もあった。事業全体としては、まちなみ塾会員以外の担い手が広がらないなどの課題もあるが、地域全体としてまちなみ塾の取り組みを温かく歓迎して協力していただいているので、今後も地域との関係を維持しながら、少しずつ工夫をして各事業を運営していきたい。																																																																

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	22	火	10:30 ~ 11:00	まちなみ塾定例会 今年度事業計画	上総地域交流センター	3
2	5	30	金	10:30 ~ 11:00	まちなみ塾定例会 夕涼みコンサート及びまちなみ塾通信の内容検討	上総地域交流センター	3
3	6	12	木	15:00 ~ 15:45	まちなみ塾定例会 夕涼みコンサートの内容検討	上総地域交流センター	4
4	7	16	水	11:30 ~ 12:15	まちなみ塾定例会 夕涼みコンサートの内容検討	上総地域交流センター	3
5	7	26	土	14:30 ~ 14:45	久留里の打ち水 めぐる水・水のめぐみ 久留里商店街の方と一緒に商店街の道路などに水撒きを行った。	上総地域交流センター	15
6	7	26	土	16:00 ~ 17:30	第1回夕涼みコンサート アンサンブル ミルフィーユによる演奏	上総地域交流センター	45
7	8	21	木	10:00 ~ 11:00	まちなみ塾定例会 くるとり落語フェスティバルの内容検討	上総地域交流センター	3

8	9	30	火	10:00 ～ 11:00	<b>まちなみ塾定例会</b> くるとり落語フェスティバルの内容検討、久留里まちなみコンサートに向けての打合せ、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	3
9	10	11	土	14:00 ～ 15:30	<b>第14回くるとり落語フェスティバル</b> 真打ちの立川吉幸をはじめ、立川幸路、柳亭いっち、一龍斎貞介の4名が出演し、落語や講談を聞きながら、楽しいひとときを過ごした。	上総地域交流センター	52
10	10	23	木	10:00 ～ 11:00	<b>まちなみ塾定例会</b> くるとり落語フェスティバルの振り返り、久留里まちなみコンサートに向けての打合せ、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	3
11	12	2	火	10:00 ～ 10:30	<b>まちなみ塾定例会</b> 久留里まちなみコンサートに向けての打ち合わせ、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	2
12	12	14	日	13:30 ～ 15:30	<b>第19回久留里まちなみコンサート</b> 久留里カトリック幼稚園を会場に、4名の演奏者を招き、コンサートを行った。	久留里カトリック幼稚園	20
13	1	30	金	9:30 ～ 10:30	<b>まちなみ塾定例会</b> 鄙の雛展に関する打合せ、令和8年度事業の日程調整等	上総地域交流センター	4
14	2 ～ 3	25 ～ 3	水 ～ 火	9:00 ～ 22:00 (日曜日は 17:00)	<b>第18回鄙の雛展</b> 久留里城下の各家等で代々大切に保存され飾る機会が無くなった江戸時代後期から使用されているお雛様など歴史ある雛人形を上総地域交流センターや久留里商店街の協力店舗等に飾り、観光客や来館者の方に見ていただいた。	上総地域交流センター・久留里商店街	0
15	3	4	水	11:00 ～ 12:00	<b>まちなみ塾定例会（予定）</b> 今年度の振り返りと来年度に向けての事業の意見交換	上総地域交流センター	0

		機関名	上総地域交流センター							
事業名称	花いっぱい運動の推進	作成日	令和 8 年 2 月 28 日							
		担当者	今井 雄生							
	(予算分類名) 市民相互交流促進・生涯学習促進事業	全回数	2 回	総時間数	2 時間					
実施背景目的 特記事項等	通勤や観光等にJR久留里駅を利用する方や上総地域交流センターを利用する方々をあたたくく迎えようと夏・冬の2回、県立君津青葉高等学校生と上総ロータリークラブ・ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾が協同し、上総地域交流センター花壇に花の植栽を行う。									
対象・定員等	君津青葉高等学校生徒・上総ロータリークラブほか		支出概要	市民相互交流促進・生涯学習促進事業 予算総額29千円 うち需用費 消耗品費 堆肥肥料 2,500円【執行額0円】						
周知方法等	植栽日に合わせ、青葉高校やロータリークラブ等と連絡を取り合う									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実	男	0	0	0	4	0	2	4	10
		女	0	0	0	4	0	2	1	7
	計		0	0	0	8	0	4	5	17
	延	男	0	0	0	8	0	4	6	18
		女	0	0	0	8	0	2	1	11
	べ	計	0	0	0	16	0	6	7	29
成果 反省課題等	平成17年から上総公民館と青葉高校が始めた花いっぱい運動は、現在地域に定着したイベントとなっている。令和6年度は青葉高校の生徒、上総ロータリークラブ、ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾と一緒に第1回目を5月13日に、第2回目を11月26日に実施した。君津青葉高等学校の生徒が当日の作業手順の説明・進行を行い、地域の方と一緒に植栽しその中で生徒と地域の方との交流も図られた。地域の恒例行事として引き続き地域団体等と連携し地域のより良い環境づくりに貢献したい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	13	月	11:30 ~ 12:25	植栽作業 *ペチュニア、ジニア、マリーゴールド、マツバボタン合計約600株を花壇に植栽 *協力:君津青葉高校、上総ロータリークラブ、まちなみ塾	上総地域交流センター	16
2	11	26	水	13:40 ~ 14:45	植栽作業 *パンジー、ビオラ、ノースポール合計約600株を花壇に植栽 *協力:君津青葉高校、上総ロータリークラブ、ガーデニングを楽しむ会	上総地域交流センター	13

## 令和 8 年上総小櫃地区 20 歳のつどいの取り組みについて

## 1 上総小櫃地区 20 歳のつどいの開催にかかわる経緯

- ・ 令和元年度「成人を祝う集い 今後のあり方について（教育委員会協議会資料）」において、令和 4 年度民法改正後も集いの対象年齢は 20 歳とすることと、中学校区ごとの開催とする方針が出される
- ・ 学校再編第 1 次実施プログラムに基づき、令和 2 年度、中学校 4 校が統合し上総小櫃中学校が開校
- ・ 令和 5 年実施の集いから名称を「成人を祝う集い」から「20 歳のつどい」へ変更（令和 4 年度事業）
- ・ 令和 5 年度小櫃・上総地区公民館運営審議会にて懸案事項について意見取りまとめ  
※会場については上総小櫃中学校体育館と上総地域交流センター多目的ホールを候補とし、収容人数及び駐車場の面で中学校を使用することで最終的に調整を行うこととした。
- ・ 令和 8 年実施集いから 4 地区を統合して初めての開催（令和 7 年度事業）

## 2. 実行委員会体制について

- ・ 20 歳成人実行委員 7 名で活動し、実行委員会議を 6 回開催した  
内訳：久留里小-久留里中-上総小櫃中：1 名、久留里小-小櫃中-上総小櫃中：1 名、  
小櫃小-小櫃中-上総小櫃中：3 名、小櫃小-私立中：2 名

## 3. 集い当日について

コロナ禍で統合校となり、休校期間もあって 1 年に満たない学校生活であったが、久しぶりの再会をみんなの思い出に残る時間とし、親や恩師に今の自分たちの姿を見てもらうことを軸に企画を行った。

## (1) 来賓・恩師

4 地区の来賓については、参集範囲を絞り人数を減らした一方で、恩師については、統合後の学校生活が短かったことから旧中学校の恩師も呼びたいという実行委員の想いを汲んで異例の規模での参集となった。 →来賓 31 名中恩師 15 名

## (2) 実行委員会の取組

- ①20 歳成人が抱負を語る場づくり — 「ひとことメッセージ」「実行委員代表のこぼし」  
これまで 4 地区で共通しておこなってきた夢や抱負を語る機会を継承する形となった。
- ②記念品の作成 — メッセージ文集「新たな道」  
これまで久留里地区、松丘地区、亀山地区で取り組んできたメッセージ文集を発行。  
従来の往復はがき形式からオンライン回答（logo フォーム）形式に変更。

## (3) そのほか

- ・ 壇上生け花 野の花を生ける会に依頼（小櫃公民館より）
- ・ 記念写真 ハリマ企画に依頼（上総公民館より）

## 4. 課題

上総小櫃中学校体育館を会場にすることから、実行委員会での検討の結果、体育館内はスリッパ等に履き替えて入場とすることとして、案内文書にも記載していたが、教育委員会の方針により急遽全地区土足での実施となった。今回は急な対応となったため、入口でマット・雑巾を敷き、終了後、掃除機とモップ掛けを行い原状回復したが、今後も土足での実施を継続する方針の場合には、中学校体育館の使用について再考する必要がある。

## モデル事業 「地域づくり協議会伴走支援」について

小櫃公民館

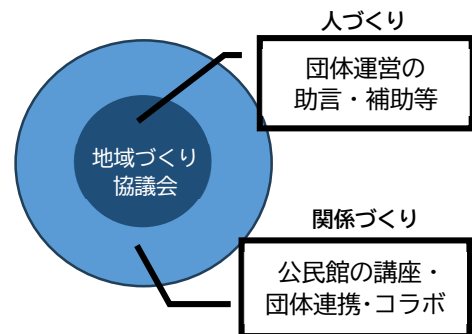
## 1 事業概要

(1)経緯 令和7年3月19日より小櫃地域づくり協議会設立準備会がスタートし、小櫃公民館、小櫃地域市民センター及び地域づくり課が「伴走支援」を行っている。4月以降、準備会運営にかかる検討を有志参加者と進めていくため、運営委員会を設置し、対話の機会をつくってきた。毎月1回運営委員会、準備会をそれぞれ開催。

今後、令和8年6月頃に団体設立総会を行い、設立後、君津市の「地域づくり協議会」の認定要件を整えていく。協議会としてスタートした後は、団体の自主性を尊重しつつも、伴走支援を継続していく。

(2)目的 地域づくり協議会に対する公民館的「伴走支援」として、人づくりと関係づくりの2つの観点から取り組むことで、住民主体の地域づくり活動を進めていく。

- ① 「人づくり」の観点：日常的に団体運営に関する助言や補助、情報共有を通じて、団体のコアメンバーの力量形成に資する。
- ② 「関係づくり」の観点：協議会との接続先を意図的に増やしていくことで、所属はしていないがつながりのある関係者を増やしていく。



## 2 「関係づくり」に資する事業名および概要

## ① 趣味教養講座「小櫃のたまごを楽しむ教室」

小櫃地区の特産品である「たまご」を活用した料理講座を開催し、身近な食材や地域の特産物に改めて目を向けるきっかけとする。

また、参加者同士が一緒に料理をし、食事を楽しむことで交流を促進するとともに、今後の地域での活用(商品化や「ふるさと祭り」「おらが市」等のイベント出店など)に関心を持つ人材の発掘につなげる。

## ◆公民館の役割

本講座の企画・運営を担うとともに、参加者同士のつながりが継続的な活動や、他の地域活動へ発展するよう、情報提供や相談対応などを通じて、継続的な活動に向けた支援を行う。

## ② 個人活動とサークルの間にある“ニットカフェ”

令和6年度の趣味教養講座「ニットカフェ」をきっかけに始まり、有志のメンバーによって継続されている活動である。

ロビーを誰もが気軽に立ち寄れる場所として活用し、人と人がゆるやかにつながるきっかけをつくることで、公民館を住民にとってのサードプレイス(第 3 の居場所)とすることを目的として実施してきた。

#### ◆公民館の役割

趣味教養講座が終了した後に参加者との話し合いの場を設けたほか、小学校への周知などを行い、活動の「つなぎ役」として関わっている。今後は、地域づくり協議会や公民館事業との連携などを視野に入れ、活動の広がりを支援していく。

### ③ 「おびつ あそんべ食堂」の活動支援

子どもから高齢者まで、地域の誰もが食事をしながら集い、交流できる居場所づくりを目的として実施している。

地域の直売所や地元農家から食材の提供を受けるなど、地域とのつながりづくりにもつながっている。運営面では、女性を中心とした大人ボランティアや中学生が毎回参加し、それぞれが役割を担い、活躍する場となっている。

#### ◆公民館の役割

実行委員会会議への参加、活動に関する助言や相談対応、広報等の情報発信、ボランティアとの連絡調整、中学生へのボランティア証明書の発行などを行い、事務局的な立場から日常的な伴走支援を担っている。

## 3 前回審議テーマにおけるモデル事業との関連性

「親しみやすい公民館づくりー公民館の空間を「快善」ー」として、「ちょボラの会」について実施したが、関係づくりに資する事業②③は、それぞれ「ちょボラの会」のコアメンバーが主体的に関わっている活動である。「ちょボラの会」そのものも継続実施中。

## モデル事業「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室～久留里編～」と その後の取り組みについて【上総地区】

### 1 テーマ

久留里の山を歩く～浅間山遊歩道、愛宕神社ほか～

### 2 目的

上総地区の山を歩いて文化や歴史に触れることで郷土愛を育む。令和4年度から久留里→亀山→松丘の順で毎年1か所ずつ開催しており、本年度は久留里地区で開催した。

また、令和7・8年度小櫃・上総地区公民館運営審議会の審議テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動について」のモデル事業として、企画段階から地域団体（くるりボランティアガイドの会・衰会）と協働して実施した。

### 3 期日

令和8年2月14日（土）午前9時30分～午後2時50分

### 4 行程

久留里カトリック幼稚園駐車場→浅間山遊歩道入口→真勝寺→川廻し跡→向郷青年館（昼食）→愛宕神社→向郷青年館（休憩）→富田公会堂（休憩）→菰捨橋→久留里カトリック幼稚園駐車場

※治山工事により浅間山遊歩道に立ち入れないため、上総小学校正門前で入口のみ紹介した。

ルートは別紙資料のとおり、距離は約10km弱を歩いた。20分ほど遅れての行程となった。主要な経由地点は以下のとおり。

- 9：50 新町の井戸
- 10：07 真勝寺
- 10：20 川廻し跡
- 10：34 正源寺
- 11：09 向郷青年館（昼食30分）
- 12：11 愛宕神社下（途中からきつい道と緩い道の二手に分かれて登った）
- 12：42 愛宕神社社殿（休憩15分・写真撮影）
- 13：18 愛宕神社下
- 13：40 向郷青年館（休憩10分）
- 14：10 富田公会堂（休憩10分）
- 14：25 菰捨橋
- 14：40 久留里カトリック幼稚園駐車場
- 14：55 整理運動及びアンケート記入後解散

## 5 共催

くるりボランティアガイドの会（久留里地区の徒歩ガイドを行う）

衰会（浅間山遊歩道の環境整備や向郷地区打合せ中心とした親睦活動、文化活動を行う）

## 6 成果と課題

### 【成果】

地域団体「くるりボランティアガイドの会」及び「衰会」と協働して企画及び運営した。両団体が地域の魅力を内外に伝えるべく協働にて地域歩きのルート開発に取り組む意向を持っていることから、上総公民館主催事業にてその一部に取り組むことで、広く地域内外に協働の成果を発信することができた。また、自治会や氏子等にも事前に事業の趣旨を説明し、ご理解とご協力をいただいたことで、休憩場所の確保など円滑に行うことができた。

参加者の満足度調査でも、「満足」86.9%、「やや満足」13.1%と高い満足度を得られた。「両団体との共催がよかった。」「久留里にいながら知らないこと・知らない場所を知ることができました。」等の感想があった。また、解散間際に共催団体の会員に「活動に興味があるので参加したい」と声をかけている参加者もいた。これらのことから、本事業を通じて、両団体の活動成果を広く理解してもらうことができたと考える。

### 【課題】

両団体からも、今回のモデル事業を共催したことについて、好意的な意見をいただいている。本事業を契機に両団体とは今後も話し合いの場を設け、事業の振り返りから将来の団体活動の充実のための支援を行い、審議テーマである「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動」について取り組んでいく。

## 7 当日の様子





## 公民館、地域交流センターの閉館時間、休館日等の見直しについて

公民館、地域交流センターは、社会情勢や財政状況等の変化により、効率的な施設運営を図るべく、閉館時間の短縮、休館日等の見直しについて検討を進めてまいりました。

各審議会委員の皆様や利用者懇談会にて利用者の方々からいただきました意見等を踏まえ、夜間の利用状況や経費面等を考慮し、見直しの結果を以下のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

なお、見直しに伴う関係条例の改正について、現在、議会等で審議いただいているところでございます。

### 1 見直しの内容

- (1) 公民館、地域交流センターの閉館時間（月曜日から土曜日）を  
2 1 時とする。（参考：現在は 2 2 時閉館）
- (2) 週 1 日休館日を置く。（月曜日または火曜日）
  - ・月曜日休館：周西、八重原、周南、清和、小櫃公民館
  - ・火曜日休館：君津中央（含：貞元分館）、小糸、上総公民館※松丘、亀山分館は、松丘、亀山コミュニティセンターに準ずる。
- (3) 夜間の利用がない日は夜間閉館とする。  
（参考：令和 6 年度平均約 5 0 日）

### 2 実施時期

令和 8 年 1 0 月 1 日

（3 月議会にて議決後に速やかに周知を実施する）

## 令和7・8年度審議テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する 公民館活動について」の中間まとめ

### 1 地域づくりとは一国の政策動向から

- (1) 「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」（中教審第212号）平成30年12月21日、中央教育審議会
- ① 『社会教育』を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり
    - ・「地域づくり」を「地域に対する愛着や帰属意識、地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起」及び「住民の主体的参画による地域課題解決」と定義。
    - ・「人づくり」（自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足、自己実現・成長）及び「つながりづくり」（住民の相互学習を通じ、つながり意識や住民同士の絆の強化）を含めた「学びと活動の好循環」が社会教育である。
  - ② 具体的な方策
    - ・学びへの参加のきっかけづくりの推進、多様な主体との連携・協働の推進、多様な人材の幅広い活躍の促進、社会教育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等
  - ③ 今後の社会教育施設に求められる役割
    - ・公民館には、地域の学習拠点としての役割に加え、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点としての役割も期待。

### 2 「地域づくり」を推進する公民館活動とは一他自治体の事例から

- (1) 松本市（長野県）
- ① 松本市公民館の「5つの理念」  
身近な地域で「住民主体・行政は支援」にこだわり・幅広い地域課題を・住民と職員  
の協働により・地域づくりに向けた学習と実践を創り上げる
- (2) 岡山市（岡山県）
- ① 地域課題解決に向けた力を育む場として  
岡山市の政策課題と連動した7重点分野：共生、環境、健康、男女共同参画、子育て、  
長寿社会、防災・減災
  - ② 新たな公民館の役割  
「未来をつくる」（地域づくり支援）、「共生のまちづくりの推進」、「地域の防災力づく  
り」、「若者と地域をつなぐ」

### 3 令和7年度小櫃・上総地区公民館運営審議会での議論から

- (1) 第2回（地区別協議から）
- ① 地域の様々なコミュニティのつなぎ役  
地域には、地域課題解決のための活動だけではなく、興味関心で繋がりあうグループ活  
動もたくさんある。それぞれのコミュニティを、活動支援や会場の貸し出し、共通してい  
るものだけでなくばらばらな興味関心をつなぎ合わせ、橋渡しをするハブとしてつなぎ合  
わせる。
  - ② 情報発信  
適度な距離感と、繋がりたい時に繋がれるような安心感を保つために、情報発信は続け  
てほしい。

(2) 第3回

① 地域づくり協議会における職員の負担や立ち位置

今後、地域づくり協議会を進めていく中で、活動の柱となるテーマについて議論が展開されると思われる。今までは各組織が自分たちで調整してつなぎ役をやっていたところに公民館や市の職員が寄り添うと説明しているが、市や公民館の職員が調整するとなると負担が大きいのではないかと感じる。

地域をつなげるという部分が特に重要な要素で、公民館の職員が相当関わって、地域をつなげたり、会議に至るまでのいろいろなことをコーディネートしたりしている。

地域づくり協議会を進めていくことについては良いが、通常業務をやりながらいろいろな企画を立てたりするほかに地域づくり協議会の設立準備会の打ち合わせをしたりしていて、公民館の職員の負担が心配である。

地域住民が実現したいことを、公民館が主体ではなく、地域住民が主体で寄り添いながら支援することが必要である。

② 既存の団体との関係づくり

例えば、小櫃の元気な子どもを育てる会とコミュニティスクールが地域の繋がりとして双方協力して取り組む動きがある中で言われたが、「自分たちが今までやってきた活動をコミュニティスクールで全部やってくれるのか」など、誤解があった。同様のことが地域づくり協議会で起きるといけないので慎重に進める必要がある。

また、既存の団体のメンバーが、地域づくり協議会設立準備会のメンバーになっている場合もある。二重構造になっていて、そのつなぎ合わせをする公民館の職員がいろいろと調整しながらやっている。ただ、その仕事は本当に公民館の仕事なのかと感じる。

4 審議テーマに関するキーワードと共通認識の確認

- (1) 議論の対象とするのは、「地域住民が主体」かつ「公民館活動」としての「地域づくり」の活動であること。
- (2) 「少子高齢化」による「人口の減少」や「交通手段の減少」の中で、どのように地域の「持続可能性」を高めていくかが重要であること。
- (3) 地域づくり協議会をはじめとして、「人づくり」と「関係づくり」の視点から、「住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える「地域づくり」が求められていること。
- (4) 公民館は、主催事業の形態にとらわれず、様々な学習形態と手段を活用して、「地域住民が主体」の「人づくり」「関係づくり」に伴走し、時には先頭に立って支援することが求められていること。

## 公民館の開館時間、使用料金等についてのアンケート（まとめ）

調査期間：8月18日（月）から9月30日（火）まで

調査及び回答方法：市内公民館にポスター掲示、君津市ホームページ及び君津市公式SNSへアンケート調査について掲載し、市民、公民館利用者等に市内公民館に設置したアンケート用紙による回答もしくはインターネットからアンケートに回答をしていただく。

回答数：531件

留意事項：調査結果の「N」は全体の数、「n」は特定の項目で回答を得た人数を表しています。

「その他」記載および自由記述欄の回答は、一部内容を損ねないよう表現を編集しているものもあります。

設問：① ご回答者の年代とお住いの地区についてお尋ねします。

- ・①-1 年代（選択式）
- ・①-2 地区（選択式）
- ② 日頃公民館をどのくらいお使いですか（選択式）
- ③ 休館日、閉館時間の見直しについて、お考えに近いものと、理由を教えてください
  - ・③-1 お考え（選択式）
  - ・③-2 理由（選択式、複数回答可）
- ④ 「③」でイ～エの回答をされた方にお尋ねします。
  - ・④-1 ③で「イ」か「ウ」に回答の方、休館はア～ウのどれがよいですか（選択式）
  - ・④-2 ③で「ウ」か「エ」に回答の方、閉館時間は何時がよいですか（自由記述式）
- ⑤ その他、休館日や閉館時間についてのお考えがあれば記入してください
- ⑥ 施設の使用料へのお考えと理由を教えてください
  - ・⑥-1 お考え（選択式）
  - ・⑥-2 理由（選択式、複数回答可）
- ⑦ その他ご意見など

※丸数字はアンケートの質問番号です。項目に関連する質問は、「①-1」のように表記しています

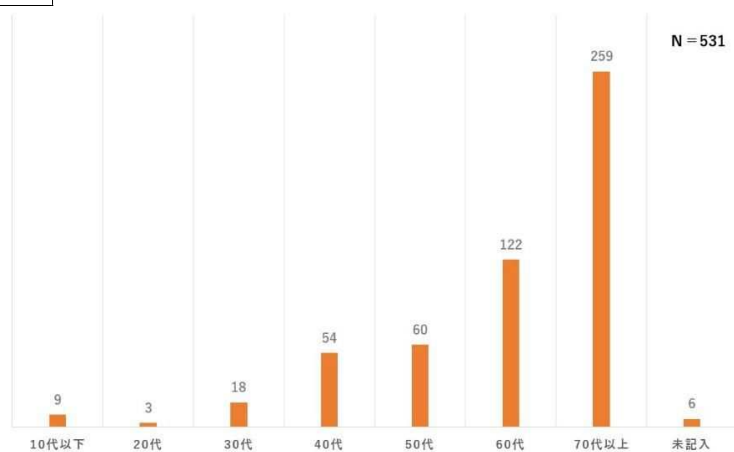
# 1 アンケート回答者について

## 【回答者の概要】

- ・回答者は、全体の約7割以上が70代以上（259人）と60代（122人）でした
- ・回答者の約7割が月に2回以上公民館を利用する方でした

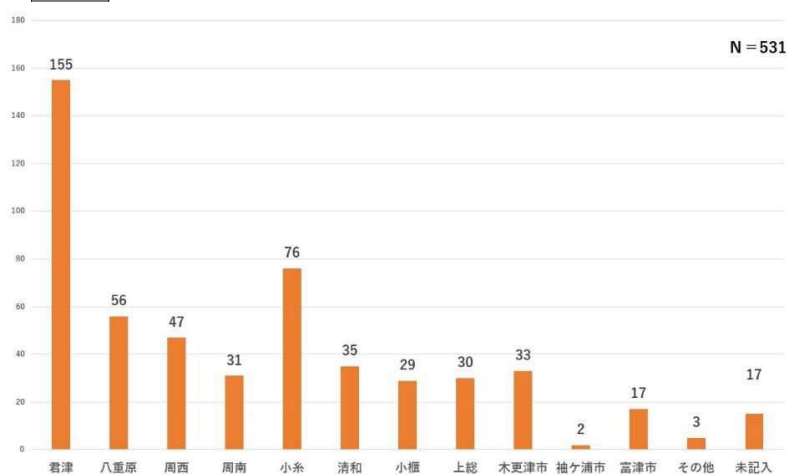
## ① 「ご回答者の年代と、お住いの地区についてお尋ねします」(単一回答)

### ①-1 年代



	件数	割合
10代以下	9件	1.7%
20代	3件	0.6%
30代	18件	3.4%
40代	54件	10.2%
50代	60件	11.3%
60代	122件	23.0%
70代以上	259件	48.8%
未記入	6件	1.1%

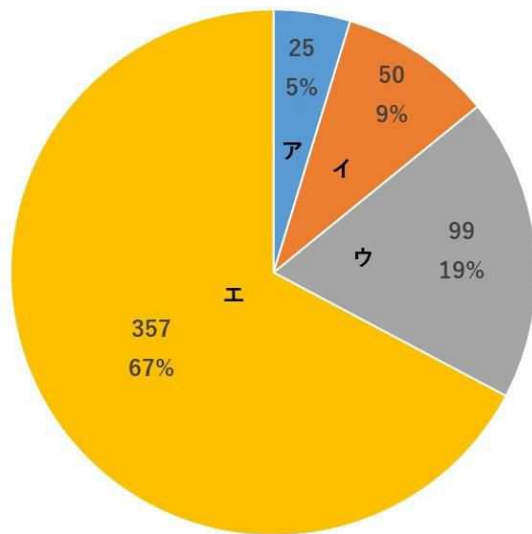
### ①-2 地区



	件数	割合
君津	155件	29.2%
八重原	56件	10.5%
周西	47件	8.9%
周南	31件	5.8%
小糸	76件	14.3%
清和	35件	6.6%
小櫃	29件	5.5%
上総	30件	5.6%
木更津市	33件	6.2%
袖ヶ浦市	2件	0.4%
富津市	17件	3.2%
その他	5件	0.9%
未記入	15件	2.8%

② 「日ごろ公民館をどのくらいお使いですか」(単一回答)

N = 531



	件数	割合
ほとんど使わない	25件	4.7%
年に数回程度使う	50件	9.4%
月に1回程度使う	99件	18.6%
月に2回以上使う	357件	67.2%

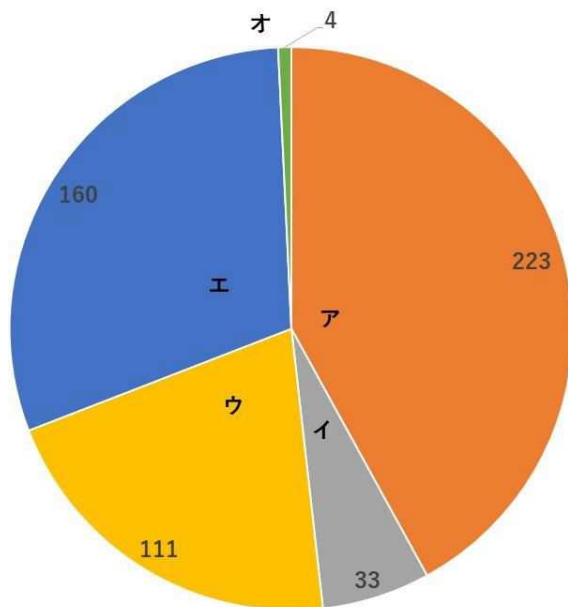
- ア ■ ほとんど使わない
- イ ■ 年に数回程度使う
- ウ ■ 月に1回程度使う
- エ ■ 月に2回以上使う

2 休館日、閉館時間の見直しについて

③ 「休館日、閉館時間の見直しについて、お考えに近いものと、理由を教えてください」

③-1 考え(単一回答)

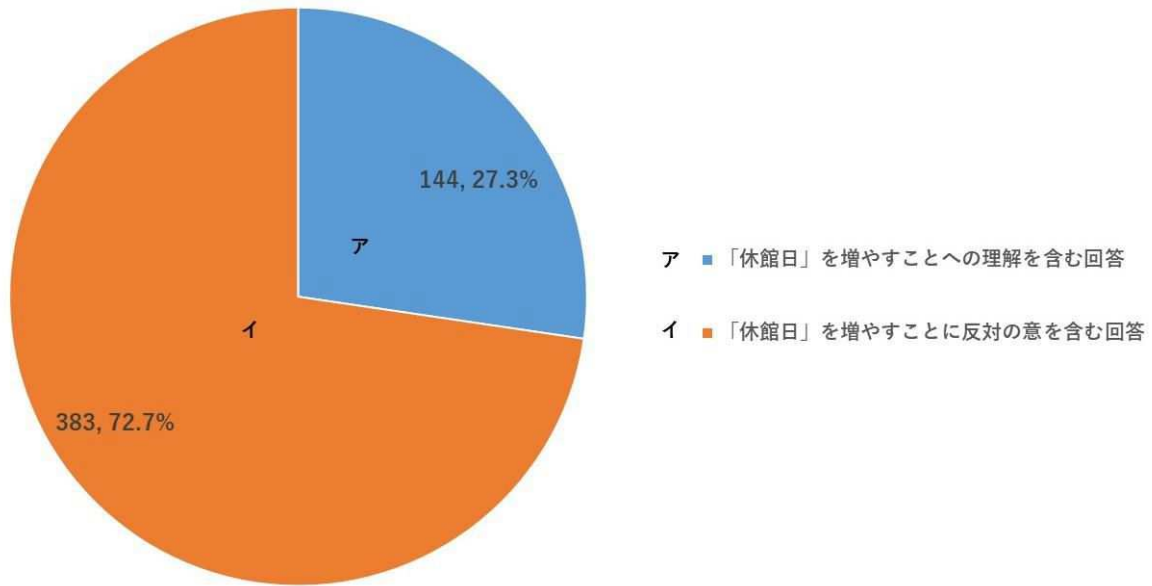
N = 531



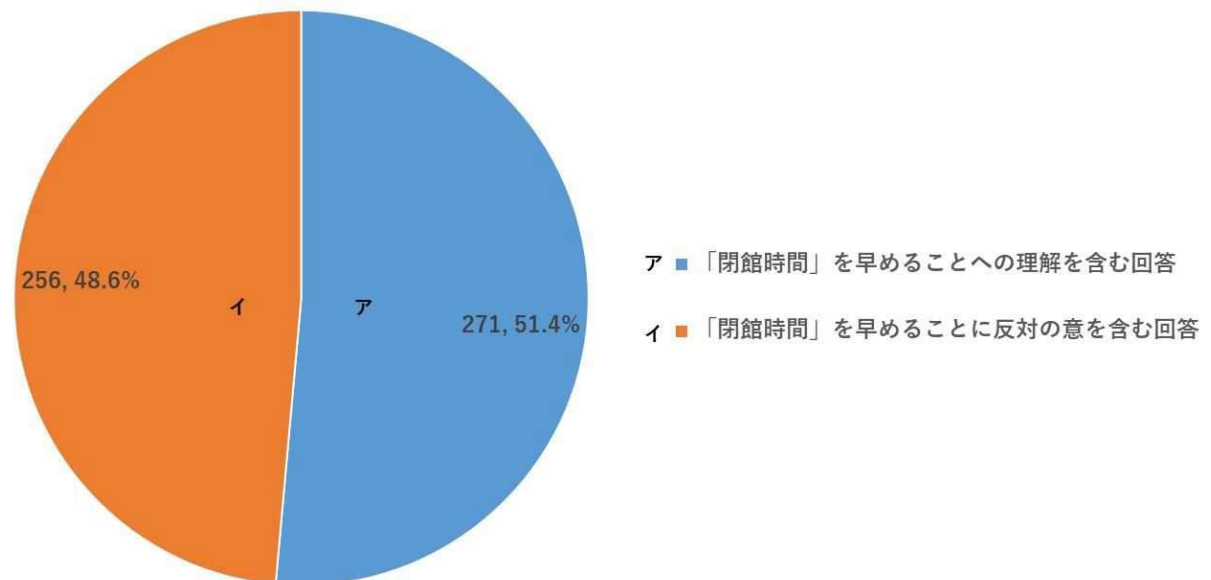
- ア ■ 休館日も閉館時間も現状のままだがよい
- イ ■ 休館日は増やし、閉館時間は現状のままだがよい
- ウ ■ 休館日は増やし、閉館時間も早めてよい
- エ ■ 休館日を増やさず、閉館時間は早めてよい
- オ ■ 未記入

	件数	割合
休館日も閉館時間も現状のままだがよい	223件	42.0%
休館日は増やし、閉館時間は現状のままだがよい	33件	6.2%
休館日は増やし、閉館時間も早めてよい	111件	20.9%
休館日を増やさず、閉館時間は早めてよい	160件	30.1%
未記入	4件	0.8%

【上記回答から】

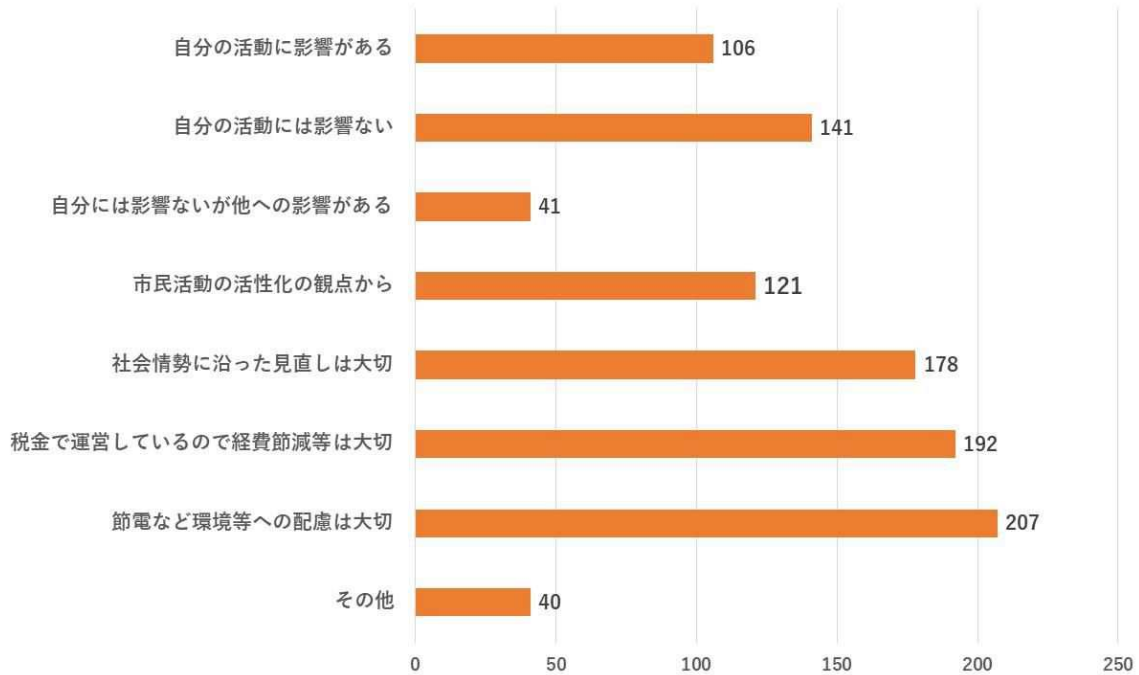


	件数	割合
「休館日」を増やすことへの理解を含む回答	144件	27.1%
「休館日」を増やすことに反対の意を含む回答	383件	72.1%



	件数	割合
「閉館時間」を早めることへの理解を含む回答	271件	51.0%
「休館日」を増やすことに反対の意を含む回答	256件	48.2%

### ③-② 理由(複数回答)



	件数	割合
自分の活動に影響がある	106件	10.3%
自分の活動には影響ない	141件	13.7%
自分には影響ないが他への影響がある	41件	4.0%
市民活動の活性化の観点から	121件	11.8%
社会情勢に沿った見直しは大切	178件	17.3%
税金で運営しているので経費節減等は大切	192件	18.7%
節電など環境等への配慮は大切	207件	20.2%
その他	41件	4.0%

#### 「その他」の自由記述(40件)

〈③で「ア 休館日も閉館時間も現状のまま」に回答したうちの「その他」の意見(18件)〉

- ・ 閉館時間は館でまちまちなのでしょうか？
- ・ 閉館時間は各公民館で、時間はまちまちなのでしょうか？
- ・ 特に課題があると感じないから
- ・ プレイルームは17時まで使いたいです。お片づけは頑張ります
- ・ プレイルームは、コロナ前のように17時まで使いたい。片づけは親が責任を持って行います
- ・ 使用料をお支払いしても大丈夫です。いつもお世話になっております！感謝しています！！
- ・ 長い間の実績があり現状でOK
- ・ 特に課題があると感じないから
- ・ 現状を変更する理由が思いつかない
- ・ 夜やら休日に活動できるのはありがたい
- ・ 公民館は市民のための、いろいろな学習や交流の場となっているので、その機会を失わないように
- ・ 公民館の存在意義。必要度が低いなら見直しても良いと考えるが、そうではないはず。もしそう・なら、全ての公民館を無くせば良い
- ・ 出来る限り、利用者の利便性を考えて欲しい
- ・ 市民が使いやすい状況を維持してもらいたい
- ・ 若い方、現役世代に使ってもらうことが大切ではないでしょうか
- ・ アとは矛盾するが思いは上記にある。節電など環境等への配慮は大切

- ・経費節減、環境等への配慮は大切だと思いますが、この地区（清和）の活性化のためには、まだ新しく始めたばかりですので現在はよくわかりません
- ・雇用の観点から。公民館では主婦や高齢者のパートタイマーが働いている。彼らの収入や雇用枠が減るのはどうかと思う

〈③で「イ 休館日は増やし、閉館時間は現状のままだがよい」に回答したうちの「その他」の意見(3件)〉

- ・節減された経費はどこへ？
- ・週7日開館している公民館は珍しいのではないかと思います。閉館時間を短くするよりは開館日を少なくした方が夜間活動する現役世代にとって良いのではないかと考えました
- ・曜日によって閉館時間を早くするなど変えてみたらどうか

〈③で「ウ 休館日は増やし、閉館時間も早めてよい」に回答したうちの「その他」の意見(8件)〉

- ・職員の方の負担が大きいように思う
- ・職員に過度な負担がかからないようにしてほしい
- ・職員に過度な負担がかからないようにしてほしい
- ・職員の方の負担が大きいように思う
- ・公民館で働く方の労働環境の見直しも必要だと思う
- ・週一回は休みを入れても良いと思う。利用者の意見を聞いて検討したらどうかしら
- ・子どもの長期休暇等に合わせた柔軟な対応が良いと思います(休館日について)
- ・月曜日は、休み？

〈③で「エ 休館日は増やさず、閉館時間は早めてよい」に回答したうちの「その他」の意見(11件)〉

- ・集まれる場所として確保する
- ・集まれる場所として確保する
- ・夜21時以降はほとんど使用が無い様だから
- ・夜間遅い時間の利用が少ない。曜日に関係なく利用割合は大差ない。日曜しか活動出来ない人もいるのでは…
- ・利用者が21時～22時は少ないので効率を考えて閉館を1時間早くすること希望します。月～土の日を21時で閉館。市原市は月～土21時、日曜日は17時閉館です！！
- ・表1から、21時までとしては？21：30、22：00はわずか4%少々、前にもってくるようサークルを指導されては？
- ・職員の仕事軽減
- ・職員さんも遅くまで大変なので、1時間ぐらいなら早く閉めても良いと思う
- ・職員の負担軽減
- ・現在行っている事業の削減は難しい中で、十分な職員が確保されず(昨年度から削減されている)予算も不足しているため。
- ・地域的に中心地から遠いので会社勤めしている人は帰宅時間が遅いです。夜、会議等どうしても19：00以降でないと間に合わないのでは、早く閉館してしまうと、会議が成り立たないと思います

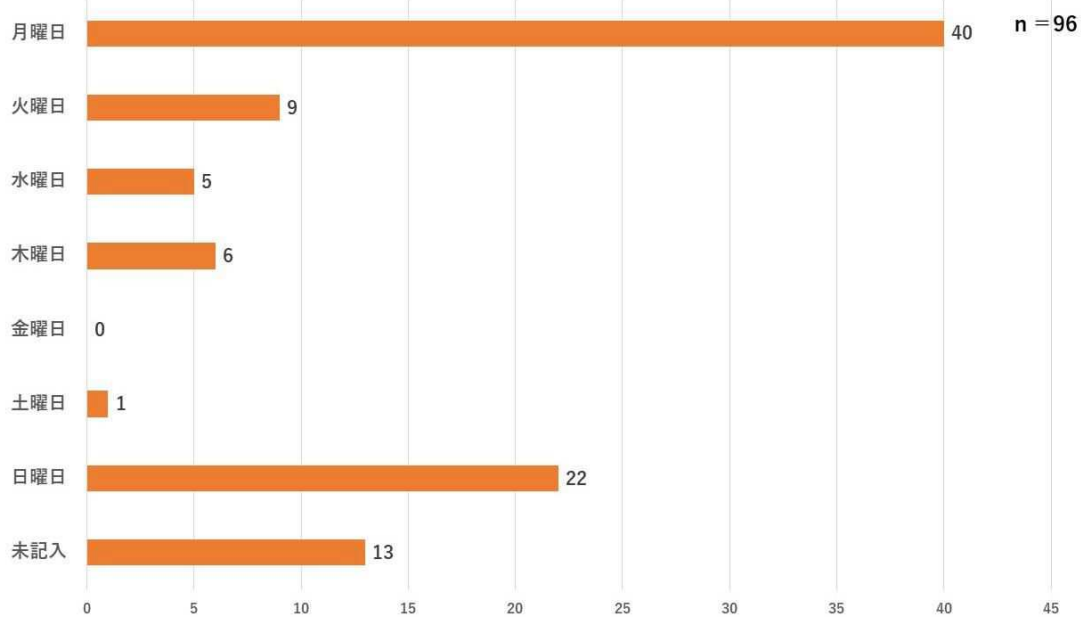
④ 『③』でイ～エの回答をされた方にお尋ねします」

④-1 「③で「イ」か「ウ」に回答の方、休館はア～ウのどれがよいですか」(単一回答)



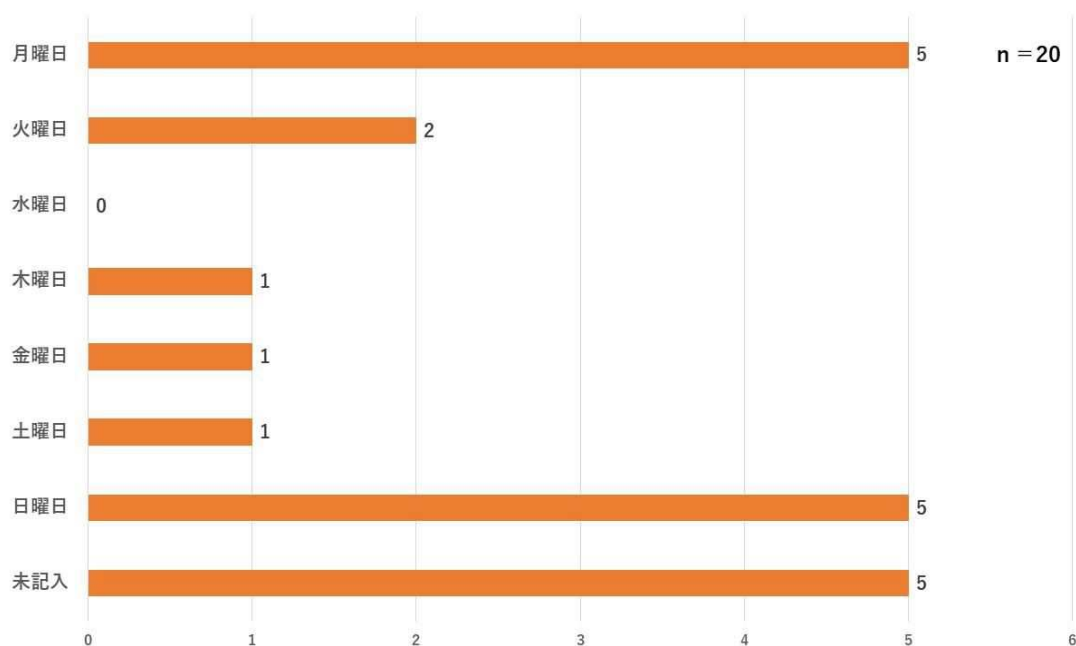
	件数	割合	全回答者数に占める割合
週1回“終日休館”にする	96件	66.7%	18.1%
週1回“夜間（17時以降）を休館”にする	20件	13.9%	3.9%
その他	16件	11.1%	11.1%
未記入	12件	8.3%	8.3%

④-1 <「ア 週1回終日休館」と回答した方のみ>  
 「週1回“終日休館”にするなら何曜日がよいですか」



	件数	割合	全回答者数に占める割合
月曜日	40件	41.7%	7.5%
火曜日	9件	9.4%	1.7%
水曜日	5件	5.2%	0.9%
木曜日	6件	6.3%	1.1%
金曜日	0件	0%	0%
土曜日	1件	1.0%	0.2%
日曜日	22件	22.9%	4.1%
未記入	13件	13.5%	2.4%

④-1 「イ 週1回夜間を休館」と回答した方のみ  
「週1回“夜間(17時以降)を休館”にするなら何曜日がよいですか

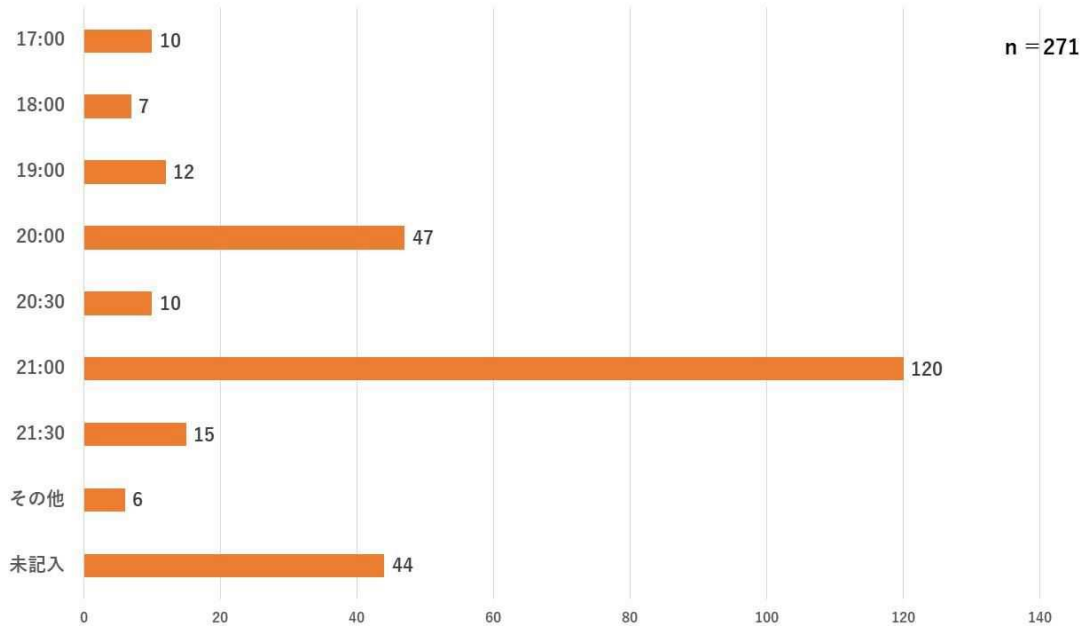


	件数	割合	全回答者数に占める割合
月曜日	5件	25.0%	0.9%
火曜日	2件	10.0%	0.3%
水曜日	0件	0.0%	0%
木曜日	1件	5.0%	0.2%
金曜日	1件	5.0%	0.2%
土曜日	1件	5.0%	0.2%
日曜日	5件	25.0%	0.9%
未記入	5件	25.0%	0.9%

④-1 「ウ 「その他」と回答した方のみ」  
休館についての考え(全 10 件)

- ・月に1、2回(3件)
- ・週1で月曜日か火曜日
- ・夜間は活動希望のある日だけ(2件)
- ・月曜日か金曜日
- ・閉館時間を早くする
- ・現状に見合うように
- ・週2回「終日休館」

④-2 「③で『ウ』か『エ』に回答の方、月～土曜日の閉館時間は何時がよいですか」

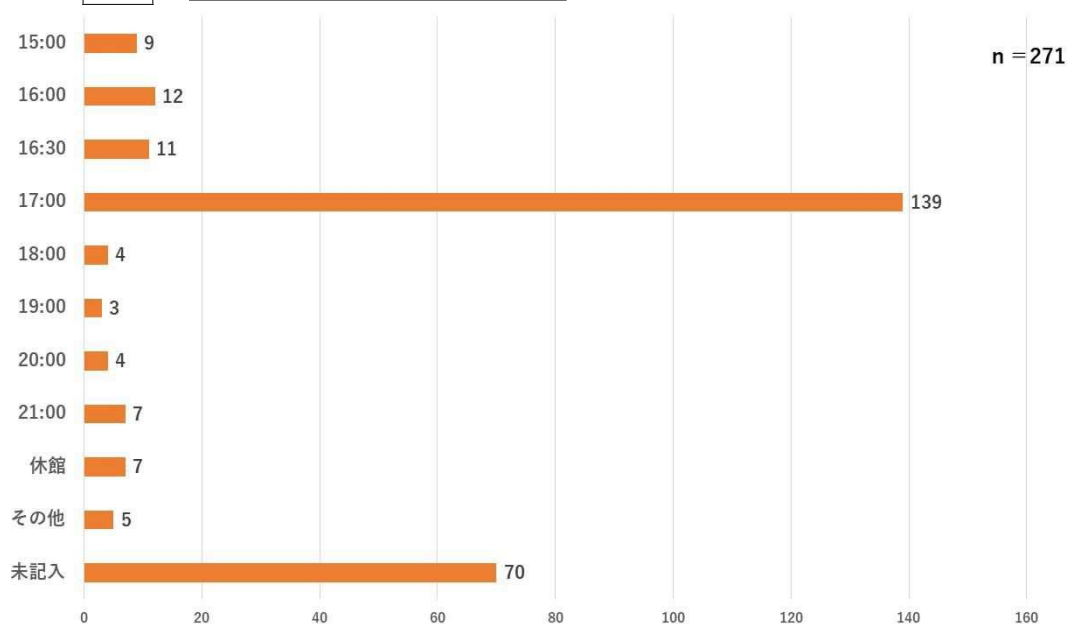


	件数	割合	全回答者数に占める割合
17:00	10件	3.7%	1.9%
18:00	7件	2.6%	1.3%
19:00	12件	4.4%	2.6%
20:00	47件	17.3%	8.9%
20:30	10件	3.7%	1.9%
21:00	120件	44.3%	22.6%
21:30	15件	5.5%	2.8%
その他	6件	2.2%	1.1%
未記入	44件	16.2%	8.3%

「その他」の内訳(全6件)

- ・ 16時
- ・ 12時
- ・ 19時（事前予約の場合は21時）
- ・ 20:20
- ・ 地域にとって重要な利用案件は柔軟なシステムで対応することを考える
- ・ 基本はすべて17時でいいと思います。地域の会合・活動とかある場合のみ、予約を取って開けてもらうのがよい

④-2 「③で『ウ』か『エ』に回答の方、日曜日の閉館時間は何時がよいですか」



	件数	割合
15:00	9件	3.7%
16:00	12件	2.6%
16:30	11件	4.4%
17:00	139件	17.3%
18:00	4件	3.7%
19:00	3件	44.3%
20:00	4件	5.5%
21:00	7件	2.2%
休館	7件	16.2%
その他	5件	1.8%
未記入	70件	25.8%

「その他」の内訳(全5件)

- ・ 12:00 (2件)
- ・ 16:45
- ・ 17:30
- ・ いつでも

⑤ 「その他、休館日や閉館時間についてお考えがあれば記入してください」(102件)

〈現状のままとするもの〉(11件)

- ・ 仕事をしている利用者は夜がメインなので 利用時間は現状のまま維持して欲しい
- ・ その時間しか活動できないサークルが活動の場を失い解散の可能性もあるので、生涯学習としての意義が成立しない
- ・ 小学生、中学生の運動などの活動でいつも使わせていただいています。公民館の経営面などのことはよくわかります。しかし、こちらは学校の働き方改革などにより子どもの活動が制限され始め、それを地域の活動で補わざるを得ない状況になっているために、公の施設を使っているのです。それなのにまた制限されることは、税金を払っている方としても納得できません。学校含め公の施設も子どもの活動を奪って、未来をどう考えているのか、逆に聞きたいです
- ・ 経費の節減は必要と思うけど、休館日や閉館時刻の繰り上げという公民館運営の根幹部分の削減は違うと考える。経費を削減するのであれば今まで無料なところを有料化したり、消耗品の寄付や修繕ボランティアを募るなど色々な工夫を検討・実施すべき

- ・いつも開いている公民館は安心出来る。活動だけでなくブラッと立ち寄れる。土日しか活動出来ない方は、今後増えると思います。増えるような公民館が良い
- ・唯一の運動ができ、仲間と会える場です。暑い季節にこの年齢になると外では活動できません。体力維持、健康のため現状のまま続けてほしいです
- ・健康な市民を支援するため、行政がサポートして健康の街づくりをするのであれば、税金の無駄遣いではない。君津市の特徴でもある
- ・公民館は昔のお寺の様に人が集まり、文化的や健康的な活動を行い、地域を活性化させる場所だと考えています。また、近年は夏の異常な暑さからクーリングシェルターも身近に必要であると考えます。子どもが安全に遊べる場所も必要です。常に利用をしていけば、いざという時も避難所等として活用できます。公民館は市民のそういった場所であるはずですが。また、開館時間が短くなるということは、パートタイムで雇用されている人の収入も減ることになります。結局は市民や地域が損を被ることになります
- ・働いている人の利用を考えれば夜間や土日しか選択肢がないわけで、既存の利用者層だけでなく新規利用者を拡大していくためにも間口は広い方が良いのではないのでしょうか
- ・子どもと「こっこる一む」で遊んだり、イベントを楽しんだりしています。ここで知り合った木更津在住のママが「君津市は子育て支援が充実しているいいね。」と言っていました。少子化の今だからこそ、親子が安心して安全に遊ぶことができる環境を大事にしてくれる君津市であり続けてほしいです
- ・活動を維持するには受け入れ体制は現状を維持した方が望ましい。しかしながら、財政が逼迫している環境下においては、利用者に応分の負担を求めるべき

#### 〈休館日の新設を可とするもの〉(19件)

##### (月曜日 4件)

- ・月曜日休館は図書館と同じにしてはとの考えから
- ・月曜日は、丸一日ぜったい休みがいい
- ・月曜休館として、職員は、通常出勤にすると共に、この日を館の施設、備品等点検整備日や、職員会議等に使用する
- ・月曜日を休館にしたらと思うのは、同じ公共施設である図書館が休館日であることから、同じ曜日であれば覚えやすいのではと

##### (火曜日 3件)

- ・月曜日の休日が増えているので、月曜日は開館し、火曜日を閉館する
- ・火曜日を休館にしても良いと考えます。(利用率が低いので!!)
- ・月曜日の休日が増えています。月曜日は開館し、翌日の火曜を閉館とする

##### (曜日についてその他 5件)

- ・月曜日が休館の施設が多いので、月曜日以外の曜日を休館日にしてほしいです。日曜日が良いのかな…
- ・図書館の休館日とは重ならない方がいいと思う
- ・日曜日の閉館でなくても、稼働率が少ない日に思い切って閉館してもよいと思う(木更津市はずいぶん前からそうなっている)
- ・日曜日開館するのであれば、月曜日を休館日にする。閉館時間は1時間早めにしたらどうでしょう
- ・休館日を日曜日、でも月1回

##### (休館日新設についてその他 7件)

- ・平日に週一回休む程度なら、スタッフの調整が必要な場合に良いのではないのでしょうか
- ・週1日は休館日が有っても良いと思う。各サークルも調整し協力していくべき
- ・週1の休館日があっても良い
- ・週1回、終日休館にする
- ・週1回終日休館にしても良い

- ・休館日についての曜日は利用者にて検討したらいいかと思う
- ・終日2日間休館とする

#### 〈休館日新設は反対とするもの〉(2件)

- ・新たに休館日を設けるとなると、現在活動している団体の中で活動を断念する事例が懸念される。私の所属するサークルは、講師が火曜日しか都合がつかないため、仮に火曜日が休館日になった場合、代替りの講師が見つからなければ解散することになると思われる
- ・休館日を増やさない方が多くのサークルが活動できる

#### 〈開館時間の短縮を可とするもの〉(26件)

- ・閉館時間は早くても良いのでは
- ・17時以降の会議は極力なくした方が良い
- ・月～土、21時閉館が良いのでは
- ・週1回、夜間を休館にする
- ・週1回、夜間を休館にする
- ・夜不要
- ・週1回、夜間を休館にする
- ・夜間の利用が少ないので、閉館時間を早めても良いのではないかと思う
- ・夜間は利用のないときは閉める。フレックス閉館時間にしては
- ・人件費や光熱費を考え、閉館時間は早めた方が良い
- ・閉館時間を早めて職員の負担を減らす。
- ・閉館時間を多少早めても良いのでは
- ・21時30分(閉館時間)にしてはどうでしょうか?
- ・閉館時間は早くても良いのでは
- ・利用時間を閉館30分前として、平日は30分短縮、日曜日はそのまま
- ・閉館時間を21時台に早めるのはどうでしょうか
- ・平日に何日か(例えば月火)、休館時間の早い日を設けてはいかがでしょうか
- ・遅い時間帯の利用が少ないのであれば、少し開館時間を短縮するのはよいかもかもしれません。しかし、夜でなければ集まれない会議等もあるでしょうから、短縮も最小限にしたら良いと思う
- ・夜間利用の予定が無い日は閉館する
- ・閉館時間について、火、木曜日は早くするとか、一律同じではなく、可変にする案は如何でしょうか?
- ・夜間は週2回ぐらいでも良いのでは?
- ・週1回 木曜日の夜間を休館にする
- ・話し合いは疲れるので、早めに閉まっても良いと思います
- ・公民館が日祝日に開館するのは、地域等の行事のみで、閉館時間も遅くまで開けておく必要があるのでしょうか?利用のない日は、早く閉館する
- ・閉館時間20時30分
- ・働く人も利用する人も夜は家族と過ごす時間を増やしてほしい

#### 〈開館時間短縮は反対するもの〉(3件)

- ・陶芸の本焼きは12時間かかるので、閉館時間が早まると対応できない
- ・人口を少ない山間部ではいろいろな役がやっている人が仕事から帰宅して会議に参加する際、時間的に早く閉館してしまうと厳しいと思う
- ・陶芸の本焼きには約12時間要するため閉館時間が早くなると対応できない

#### 〈開館時間短縮、休館日新設ともに可とするもの〉(3件)

- ・開けている間は人員や光熱費、水道代がかかるので閉館時間は早めにして休館日を1日設けた方が良いと思います
- ・休館日を増やし、閉館時間を21時にしたらと思います
- ・定休日は定めた方がいいと思う。閉館時間、平日は早めて、土曜、日曜日は現状維持

#### 〈開館時間短縮は可だが、休館日新設は反対とするもの〉(6件)

- ・休館日を増やさないほうが多くのグループが活動できる。人件費、光熱水費を考えたら閉館時間は早めた方がよい
- ・休館曜日を決めてしまうと影響を受ける市民がいると思います。市民サービスの低下を最小限にしてほしい為、閉館時間を早めることを選択しました
- ・原則公民館は休館すべきではないが、経費や人材のため現状が望ましい。平日の閉館時間は早めることを検討してもよい
- ・休館日は増やさず、閉館時間は活動がある時だけ融通してあげ、ない時は早く閉めても大丈夫じゃないでしょうか？
- ・現在、働き方、生活様式も多様で、学習に充てられる時間も多様なので基本的に現状より休館日を減らすべきでは無いが、時間については21時までで良いと思う
- ・学生の勉強の場ということも踏まえると、休館日は増やさず、時間を短縮した方がよい

#### 〈開館時間短縮は反対だが、休館日新設は可とするもの〉(2件)

- ・休館日があってもいいが、学生が夜も勉強しているので、閉めてしまうと行き場がなくなるし、若者離れになりそう。難しいです
- ・職員の方の勤務状況を考えても、休館日は、必要な事だと思います。閉館時間も、21時位が理想のような感じもしますが、夕方から夜にかけてではないと動けない方も大勢いると思うので、そういうことを考えると、やはり22時閉館が妥当のような気がします

#### 〈その他の開館時間、休館日の考え方に関するもの〉(17件)

##### (閉館時間の配慮 4件)

- ・平日は学校終わりの学生等が電車を待つのに利用しているイメージがあるため、せめて19時頃までは必要だと思います。休日も17時までやっていると有難いです
- ・学生が夜勉強しているので、配慮して欲しい
- ・日中仕事のある人も多く、20時まででは必要である
- ・21:00以降利用しているサークルの意見を重視して欲しいです

##### (休館日と時間短縮についての意見 4件)

- ・22:00までの開館は長いと思う。平日早くなった分、日曜を延ばせば。あまり利用者もない様子だし。係員も仕事が減らずによいのでは
- ・現状を分析した上で、平日の閉館は少し早めて、日曜日は、逆に遅くまで開館したらどうでしょうか
- ・団体やサークル等が日常の活動で利用する。地域や団体等が会議や集会で利用する。など利用の性質が様々あり、開館時間が短縮されても調整ができるもの、関係者を集めるためには開催日や時間が限られるものなどもあることから、公民館が地域に立たす役割の重要性から柔軟に対応できるシステムを考えてもらいたい
- ・特例として22時までの活動もOKにしてほしい

##### (開館時間拡大、休館日縮小の意見 9件)

- ・市民サービスの観点から、減らすのではなく、祝日の開館、日曜日の使用時間延長もして欲しいくらいです
- ・9:00~17:00の間は 祭日も休館せずに利用出来る様にして欲しい。同じ曜日時間が重なっているサークルでは祭日が有ると月1回しか利用出来ない時が有る
- ・日曜日でも19時か20時くらいまで開いてくれるとありがたい
- ・祝日は利用希望者が多いと思うので、閉館日にしないほしい
- ・祝日に使えるようになると良い17時くらいまで
- ・休館日を減らしてほしい
- ・祝日が休みというのは不便ではないか
- ・館内整理日は極力少なくし、活動の少ない夜間に行えばいいと思う。休館日は極力少なくして欲しい

- ・君津で唯一、生涯学習センターだけでも「休館日無し」を維持してほしいです

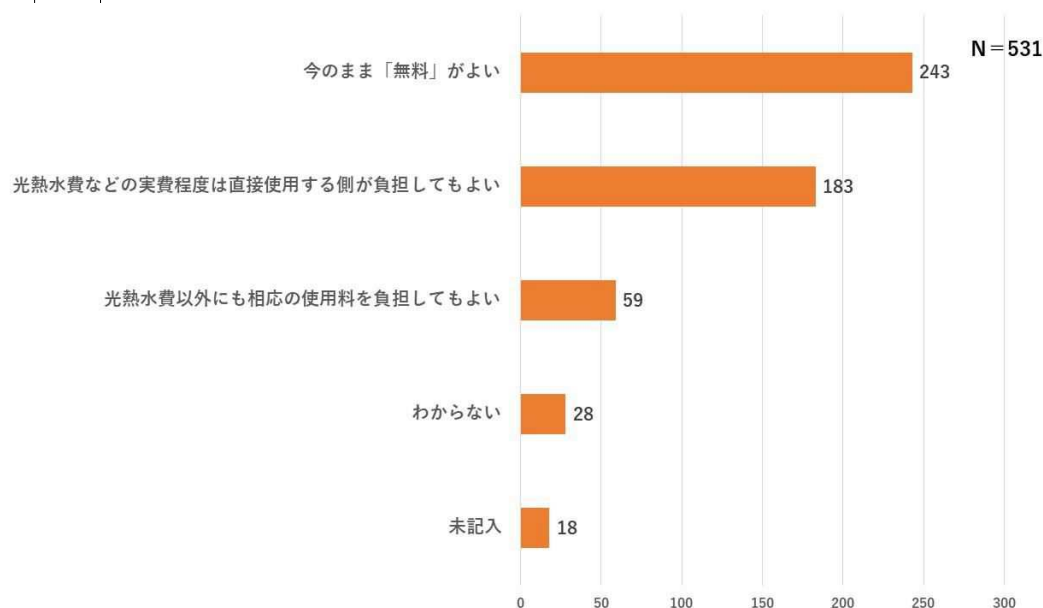
### 〈その他〉(13件)

- ・コストの削減を図る
- ・経費節減は大事
- ・現状にあわせた検討が必要
- ・人権費削減効果が期待できる。その分、施設設備の適正な維持管理や、サービスの充実が図れる
- ・税金を支払う世代が使いやすいようにしてほしいです
- ・仕事を持つ方の公民館活動時間が制限され、さらに減少するのではと心配します。しかし、活動の方法を各団体が見直す良い機会でもあります
- ・日曜を休みにすると現役世代が公民館を使えない。現役世代への宣伝等がもっと必要ではないか
- ・選挙等で閉館時間を早めるのは反対。あくまで通常使用のみ
- ・地域活動の頻度と公民館で働く職員の仕事量が見合っていない。職員さんは人手不足で夜でも地域の為と色々な活動に参加してくれている姿をみている。一般企業ならかなりブラックな人の使い方をしているように感じられる。地方公務員も働くひとりの人であり、労働者として尊重される立場にあると思うので、処遇改善を希望します。その上で地域とのふれあいを考えてほしいと考えます
- ・夜間遅くまで、対応するのはスタッフさんも大変でしょう
- ・公民館の人達に負担をかけたくありません
- ・公民館の人達に負担をかけたくありません
- ・館員各位、関係者の負担過剰の無いようにしたい

## 3 使用料金について

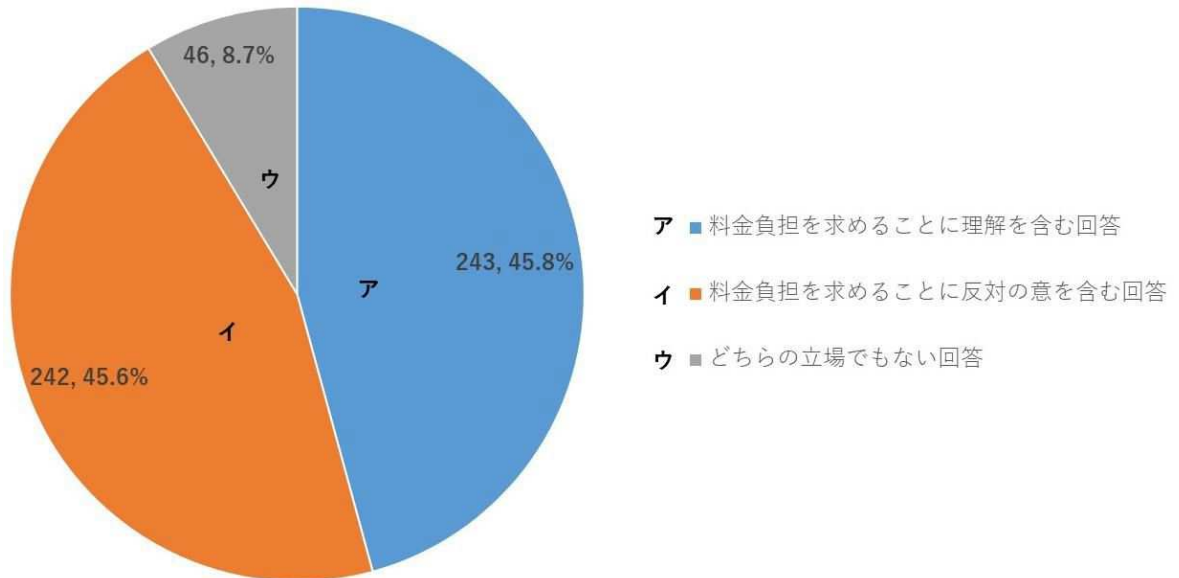
⑥ 「現在、公民館は、サークル・グループ活動など市民の社会教育活動や地域活動は使用料無料ですが、光熱水費、施設維持等に相応の費用がかかっており、使用される方に一部ご負担いただく必要があると考えております。そこで、施設の使用料へのお考えと、理由を教えてください」(※現在、企業の使用などは別途有料となっていますので、この質問には含めません)

### ⑥-1 考え(単一回答)



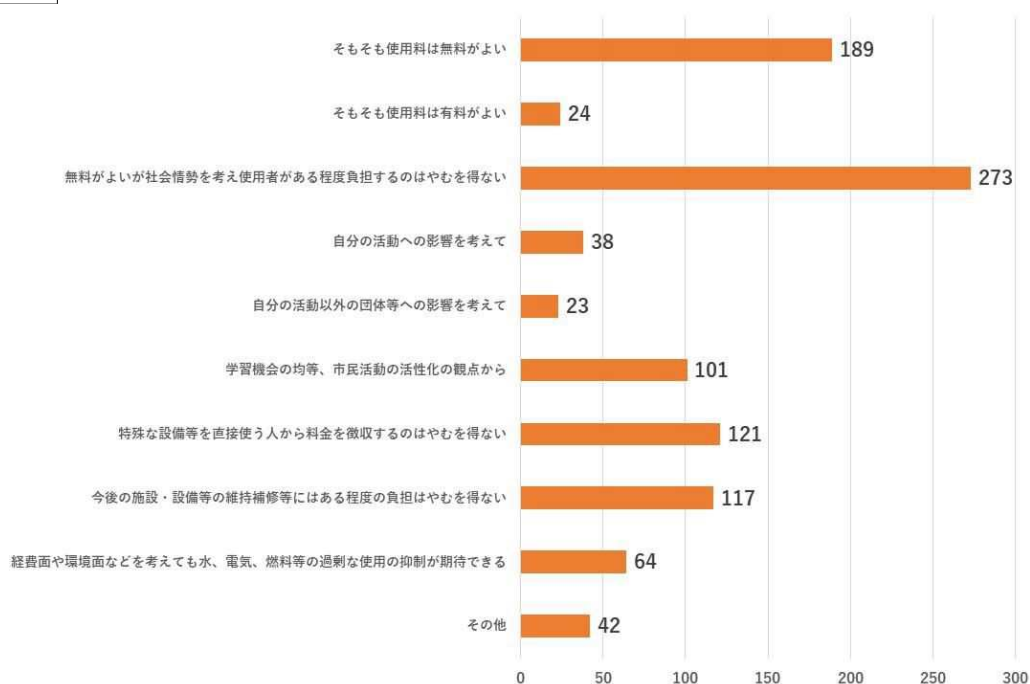
	件数	割合
今のまま「無料」がよい	243件	45.8%
光熱水費などの実費負担は直接使用する側が負担してもよい	183件	34.5%
光熱水費以外にも相応の使用料を負担してもよい	59件	11.1%
わからない	28件	5.3%
未記入	18件	3.4%

【上記回答から】



	件数	割合
料金負担を求めることに理解を含む回答	243件	45.8%
料金負担を求めることに反対の意を含む回答	242件	45.6%
どちらの立場でもない回答	46件	8.7%

⑥-2 理由(複数回答)



	件数	割合
そもそも使用料は無料がよい	189	19.1%
そもそも使用料は有料がよい	24	2.4%
無料がよいが社会情勢を考え使用者がある程度負担するのはやむを得ない	273	27.5%
自分の活動への影響を考えて	38	3.8%
自分の活動以外の団体等への影響を考えて	23	2.3%
学習機会の均等、市民活動の活性化の観点から	101	10.2%
特殊な設備等を直接使う人から料金を徴収するのはやむを得ない	121	12.2%
今後の施設・設備等の維持補修等にはある程度の負担はやむを得ない	117	11.8%
経費面や環境面などを考えても水、電気、燃料等の過剰な使用の抑制が期待できる	64	6.5%
その他	42	4.2%

## 使用料金について「その他」に記入されたもの(32件)

### 〈現状維持を求める・有料化反対の意見〉(11件)

- ・誰もが気兼ねなく行ける場所として身近にある公民館は必要不可欠な場所だと思います。今の状態で続けていただければと思います
- ・今のままで楽しい
- ・市の努力が足りない。十分な努力や工夫をしないまま、安易に市民にさらなる負担を強いるのはいかなものか
- ・誰もが気がねなく行ける場所として、身近にある公民館は必要不可欠な場所だと思います。今の状態（無料）で続けていただければと願っています
- ・公共の場なので無料にしてほしい
- ・税金を納めているのだから、公共施設を利用するのに使用料を負担する必要はないと思います。
- ・無料だから利用しやすい。有料になったら利用者減るのでは
- ・公民館使用者の価値は有料以上に有意義であり、無料は当然です
- ・君津市民は相応の税金を納めているのだから、公共の施設を利用するのに使用料を負担する必要はないと思います
- ・市民の文化的活動、心身の健康のための活動を応援するのが市の役割なのではないか。そのための公民館なのではないか。他の自治体が利用料を取っているからといった考えでの安易な導入はどうかと思う。本来応援されるべき活動が縮小され、活発な雰囲気自治体ではなくなると考える
- ・税金でまかなうべき（企業の支援、国からの補助を含む）

### 〈料金の在り方への意見〉(9件)

- ・市の予算を何に使うのがベストか？社会教育の充実をどう考えているのか？君津市をどんな市にしたいのか？市民利用者が納得する有料化を
- ・負担が大きいと活動より撤退する人も出て、全体的に個人の人生を阻害するので、税の無駄使いがないかをまず点検することが必要ですね。その上で、利用者負担を検討することを考えます
- ・高校生以下は無料で
- ・1h150円で貸している施設が同じ館内に有るのに一方では無料というのはおかしい。同じ料金で一部屋単位で貸すのが良い。館に登録して有り、草取りとか清掃等に参加している団体の利用は無料にしても良い
- ・18歳高校生までは無料で
- ・ロビーで本を読むだけの利用や例えば味噌作りなどのように、いろいろな（水や火力、電気等）ものを使う利用も一律というのも如何とは思いますが…
- ・使用内容により水・ガス・電気等多いサークルには別に多く使用料を負担してもらえば良いのでは
- ・子どもから、一人暮らしの方からは使用料は取れない
- ・サークル活動で公民館を利用しているが、メンバー内でもさまざまな考えの方がいると思われるため、グループ内で議論することから始めないといけないので、今のところではどうすべきかは、分からない

#### 〈料金を払うことを可とする意見〉(6件)

- ・市の税金で運営されている施設ですから無料はとてありがたいのですが、公民館施設を市民が平等に使用しているとは言えません。私のように市外者も使わせていただいています。使う側が応分の負担は当たり前だと思います
- ・受益者負担は当然だと思う
- ・税金が使われていると思うと、全く使用しない人との公平化を図るため、多少の負担はやむを得ない
- ・年間使用料 千円/人 を考えてもよいと思う
- ・今後の施設・設備等の維持補修等にはある程度の負担はやむを得ない
- ・経費の負担が必要であるなら、ボランティア活動以外のサークル団体等に対して相応の費用負担をお願いするのは当然と思う

#### 〈その他〉(6件)

- ・維持費は大変だと思いますが地域交流センターなので
- ・有料化すると徴収する人件費が負担になる
- ・光熱水費の内訳が欲しい
- ・過剰な使用があるのか？
- ・日中、天候の良い日は廊下の電気は消した方がいいのかなあとと思います
- ・いずれにせよ、長く安定的に活動できるよう配慮が望まれる

#### ⑦ 「その他ご意見など」(全 120 件)

#### 〈料金・開館時間現状維持を求める意見〉(6 件)

- ・利用者の立場としては現状を続けて欲しいです。しかし、今の社会状況を考えると、検討する時期なのかもしれません。市には頑張って欲しいです
- ・税金は本来住民のためにこそ遣うものです。その原点を忘れないようにしたい。利用条件を狭めることは民主主義に反します
- ・今のままで楽しいので変えないで欲しいです
- ・社会福祉や寝たきり老人、孤独な老人を作らないためにも現状を維持することを強く願います。
- ・こういった形で市民からお金を取るのはどうかと思います。私はサークルを運営している代表ですが、健康増進や市内で友達を作る環境づくりのために、頑張ってやっています。応援されるならまだわかりますが、こういう考え方は本当に酷いです。アンケートの中身も開館時間短縮や「やむを得ない」や「有料」等、お金を取ることを正当化させる言葉の方が選択肢に多いことに驚いています。税金を支払っている現役世代の市民（子どもなし）としては、もっと目に見えた身近なサービス（祝日の公民館開館など）を増やして欲しいくらいなのに。割り当てる予算の不足をお金を取ることで解決しようとししないでください。公民館は市民にとって身近な施設なので、予算は配分の優先度を上げて良いくらいです。また、利用料を取るとなると、それはどのように管理されるんですか？スタッフの皆様の仕事が増えるのでしょうか？人を増やしてその作業をさせるのでしょうか？システムを導入して毎年利用料を支払うのでしょうか？利用料を取ろうとすると、労力やお金がかかりますね…。かかるお金は利用料として集めたお金から差し引かれるのでしょうか？その残ったお金で一体どのくらいのことのできるのでしょうか？諸々の課題があると思います。なお、開館時間短縮は論外です。地域の活動の停滞、雇用喪失に繋がる恐れがあります。そうなると、公民館自体が不要になってきます。公民館は市役所の出先機関としての役割もあるのではないのでしょうか？公民館の利用者（市民）からお金を取るのではなく、予算案を見直すなり、市民以外の収入源の確保を検討して頂きたいです。取りやすいところから取らないでください
- ・利用者の立場としては、現状を続けて欲しいです。しかし、今の社会情勢を考えると検討する時期かも知れません。それでも公共利用施設の立場としては、市に頑張って欲しいと思います

### 〈何らかの費用負担は可・やむを得ないという意見〉(14件)

- ・月に5週あっても3回しか利用できない。4回利用できないか。使用料は払って当然です
- ・定額が良いのでは。有料になったら個人利用も可能にして欲しい
- ・一人500円程度であれば集めてもよいのではと思います
- ・始めは抵抗あるかもしれませんが、慣れていくと考えます。使用料は利用してない市民を思うと実費程度は必要。維持管理費は市が負担すべきだと思います
- ・すべての物が値上がりしている現状、トイレの水だけでも大変なことである。ある程度の使用料は取るべきである
- ・いつもありがとうございます。修繕費、少しくらいでしたら負担しますので、お申しつけ下さい
- ・光熱水費は1回100円程度、払っても良いのではないかと思う
- ・1人500円位までであれば集めてもよいのではと思います
- ・経費負担は少額でいいと思います。利用者離れにならない程度の少額で
- ・公民館の利用者負担は、他の市町はとっくに始められているのに、何故君津だけ無料か疑問に思っていました。もっと早くやるべきではなかったか。それほど君津は財政に余裕があるのか、不思議だった
- ・使い易い施設なので、多少の制限や負担はやむを得ないので長く使えるよう配慮して欲しい
- ・公民館のように皆が集まれる場所が必要なので、ある程度の負担は必要だと思います
- ・月に5週あっても3回しか利用できないが、月5週ある時は4回利用できないか？使用料は払って当然です
- ・無料を望むが、有料化もやむを得ないとは考えます

### 〈負担、料金のあり方についての意見〉(37件)

- ・使用料を取ることは賛成ですが、館(周南公民館)は老朽化が著しく、バリアフリーにも対応していないので、使用料が必要なら利用を控えようとする人もいて、利用者減になるのでは？と懸念されます。新しい建物なら使用料を払っても納得して利用するのではないかと思います。早期の建て替えを強く希望します
- ・相応の負担を使用者が負担することはやむなしと考えますが、卓球台など傷みのひどい設備の更新をお願いしたい
- ・一週間前迄の必ず予約を辞めて欲しい。以前、市民を集めて他所の方に来て頂いた町おこし計画の時にその旨を伝えたら「そんな事をしているのですか？」「はい、空いていても『一週間前迄なんですよね。とりあえず今回はいいですけどちゃんと守ってください』と嫌味を言われます。」との事に、「いや、確認してそのような対処はしないようにしていきます。」と当時の公民館の長だか市役所の方かは忘れましたが、その場で宣言していましたがそれから一向に変わっていません。あれはどういう事だったのでしょか？空いているならば、使用させるべきだし今はwebでも予約が出来るので、もう前日でも可能ではないのでしょうか？何故一週間前にこだわっているのか、わかりません。利用金額については、現状でいいと思いますが、調理室の使用については通常の部屋と違い、水道やガス等を多く使用する為、水道光熱費は徴収していいと思います。これを他の部屋と同じだと逆に不公平に思います
- ・市外の方が利用するには有料。もし有料にするなら美化活動などの協力は出来ない
- ・実費となるといくら？となるので、定額が良いのではないのでしょうか？有料とした場合は、個人利用も可能となるのでしょうか？可能にしてほしいです
- ・参加人数の多少により個人負担に差が大きく出るので、個人負担を一律にする方向が活動を阻害しないと考える。1人1hあたり10円程度が妥当と考える
- ・利用料金について、〇円/hとされると長期利用者の負担が多くなるので、年間利用料金が高くないようにして欲しい
- ・調理をする場合はある程度負担があっても良いと思います
- ・毎週利用しているサークルの会場使用料は、出来れば毎回利用時負担ではなく月1回の負担にして頂くと有り難いです
- ・冷暖房費として金額により考慮したい(月500円位、負担できます))
- ・有料化は良いが、活動できなくなる団体が出ないか？その点を考えてからにしてください
- ・使用料は社会教育活動、地域活動、公共性の利用は無料で、サークル・グループ活動などはある

程度負担するのも良いかと思う。市外の方の利用は有料でも良いと思う

- ・子ども達の遊び場や学生の自習スペースなどは、無料で提供してあげたい
- ・有料にする場合の金額によっては利用を考える
- ・君津市は、公民館等が多く、維持管理が大変だと察するので、ある程度は仕方ないと思うが、市民(特に高齢者)の社会教育活動の意欲が削がれたらなんにもならないと思う
- ・昨今の状況を考えると有料もやむなしと考える。ただ有料になると、利用者で作り上げる文化祭などの開催に影響が出るかも。「使わせてもらっている」から「使ってやっている」と利用意義に変化が出ると、非協力的になる可能性がある
- ・一律に有料化してしまうと、既存団体の継続的な活動ができなくなる恐れがある。仮に有料にするにしても、用途によって判断する形をとって欲しい
- ・誰もが自由に学習できる場所は必要。ただ、有料の日や有料の場所など差別化して設けることは良いと思う
- ・特別な施設を使ったりした場合に料金を取っても良いのでは
- ・ロビーは無料にして空調も入れていこいの場にはすべき
- ・学生さんなどは無料でよいと思う
- ・子どもたちが集まって遊ぶ時等、有料だと出来なくなる事もある。せめて、子どものみの使用時は現状のまま無料がよい
- ・陶芸は大量の電気を使用しているので、チェックが必要では
- ・市の予算を何に使うのがベストか?・社会教育の充実をどう考えているのか?・君津市をどんな市にしたいのか?市民・活用者が納得する有料化を!!
- ・現役時代は、公民館など通えない状態でしたが、退職後は憩いと勉強にと使わせてもらっています。長く使用できる様に施設料を考えるとよいと思います
- ・個人の生涯学習の為の利用なら有料は当然。コストに喰われる徴収だとしたら意味なし。現状の公民館は対話不足、アンケートだけでなく、対話の時間を
- ・富津市、木更津市等は使用料(時間別)に取っています。参考にされては!
- ・公民館の維持費がいくら掛かっているか、紹介してはどうでしょうか?
- ・休館日や時間短縮などできることをやってみてから、有料か無料かの検討をして欲しい!2時間ほどの利用では、エアコンと照明は使いますがトイレは使いません!調理室などは有料にすることも考えないと!
- ・持続可能な運営方法が必要である。予算や職員の確保など地域差がでてはいけないと考える。
- ・地域ごとの条件が違うのでその点を考えてほしい
- ・もし使用料の一部負担が利用者になるようなら 使用団体は一律負担すべきで免除される団体があってはならないと思います
- ・いつでもどこでも誰でも学べる権利としての社会教育の環境醸成をするのが自治体の責務だと思う。開館時間や使用料金の見直しに当たっては、社会情勢の変化によって変えるべきところと変えてはいけないところをしっかりと見極め、市民の声を聴きながら、慎重に進めるべきである。「他自治体がやっているから」を理由に安易に話を進めてしまつては、自治体の責任放棄だと思う
- ・安易に木更津に倣わず、努力や工夫をして欲しい。ネーミングライツを募集しているようですが、公民館が対象に入っていないのはなぜですか?他の自治体で対象にしているところがありますが…。身近な公民館が募集したら、地域に根差した企業が申込む可能性もあるのではないのでしょうか。また、申込む様にPRするのが市の仕事なのではないのでしょうか?広報の方の動きを見ますと、SNSの活用などイマイチで、安易に市民に頼ろうとしている様に感じます。市担当者全体に言えることなのではないのでしょうか?安易な方法を選ぶのではなく、もう少し努力して欲しいです。
- ・有料となった場合の事務処理など職員の負担についてどう考えているのか
- ・君津市に住み、孤独に子育てをしていた時、公民館で人とつながり学ぶ機会に恵まれました。「君津市は魅力ある講座がたくさんあっていいね」と近隣市の方から言われたものです。親子共に世話になってきた君津市の公民館には感謝の思いでいっぱいです。今、社会教育指導員や家庭教育指導員も採用されなくなった上、公民館の運営問題にも対応しなければならない職員の方々の苦労は相当なものだと思います。社会教育に関わるサービスの縮小、利用者の負担もやむを得ないのかもしれないかもしれません。ただ最近、「君津市のお金の使い方」に疑問を感じている市民の声を耳にす

ることも多いです。「社会教育(生涯学習)」を大切にす君津市であって欲しいと切に願う市民がいることを、どうか市政に伝えてください

- ・仮に使用料を徴収することになった場合には、キャッシュレス決済でその場で入金できるようにしてもらいたい。わざわざ金融機関の窓口が開いている時間に休みをとって入金するのは利用する側にとって負担。公民館にも集金事務が負担とならないようにしてもらわないとお互いに気持ちよく使えないし、関係が崩れていくおそれがある

#### 〈原則無料の維持を求める意見〉(22件)

- ・公民館活動は自治体の運営が基本であり、自治体の責任で経費も負担してもらいたい。住民サービスの一環と思います
- ・木更津は有料ですが、君津では無料でありがたく利用しています。物価高で全てが値上がりし、公民館まで有料になるのは反対です。今こそ市民の負担を少なくすることが重要だと考えます。
- ・物価高のため、便乗値上げするような事は行政はすべきではないと思います
- ・公民館は、市民の皆様無料で使用させて下さったらいいいと思います。皆様の体調も良くなりますし、健康にもつながり通院に少なくなり、病院代がかかりませんので、よろしくお願い致します
- ・公民館は全ての人が集える場として存在しています。避難所としても利用されています。費用は公の施設として負担して欲しいものです
- ・市税を徴収しているので、無料で貸し出すことが市民サービスの向上に寄与すると考えている。
- ・市民が使える広い場所として、無料で使える場所は必要だと思う
- ・無料が原則、但し社会教育活動以外での使用は有料とする。きちんとした仕分けが必要
- ・社会教育活動は国民の権利なので無料であるべき。公民館職員は公民館の意識が希薄。市役所職員と同等ではダメです
- ・社会教育とは…そもそも、公民館が出来た理由など、社教主事の方から伺うまで知りませんでした。有料になることや利用しにくくなることで、利用者が減ることや足が遠のく方が多くなるとしたら…いろんな情報が飛び交う、この社会。何が本当なのか情報が多過ぎて分かりません。テレビ、新聞、ネットの情報…言っていることが違ったりして。市民が、自由に意見を述べ合い、学ぶ場所は、公共の場に残すことは大切だと思います。再び、私たちの国が間違わないように
- ・充実した地域生活を実現するために市民学習は必要で、公民館はそのための施設なので、公共インフラと同様にある程度公がそのための費用を支出するべきであるし、それが君津市の将来への投資となる。公民館利用者は市民のごく一部でしか無いという意見もあるが、市はその意義を明確にして、市民の学習活動がそこに関わる方々の生きがいや健康につながるだけでなく、実利的には医療費削減や子どもたちへの学習につながることで、長期的には地域づくり街づくりに役立っていくということを明確に位置付けるべきだと思う
- ・無料で使えれば、体調も良くなり、医療費もかからなくなる
- ・有料化になると、会の解散が増えると思います。より住み良い環境を目指しましょう
- ・税金払っていて、なぜ更に取りられなければいけないのですか。何のための公の施設なのですか
- ・施設・設備の維持補修に係る経費は、市が責任をもって負担すべき
- ・人口減少に伴い、有料化では利用者の減少も見込まれる。ひいては公民館の必要性も怪しくなるのでは？
- ・公民館は、気軽に利用できる身近な、生涯学習施設です。有料にしてしまうなら、他の民間施設に移ってしまう懸念があります。経費削減のため、まず人件費の削減をするべきです。会計年度職員、委託職員の勤務時間数を減らして、短時間で効率的に勤務していただくことを期待します
- ・社会教育施設をより多くの方々にとって利用しやすいものとするためには、無料の原則が大事だと考えます。ただ一部の方だけが利用していると言う認識があると、受益者負担で、と言う話になると思いますので、利用者の方々の学習成果を、いかに地域社会に還元していくのかも併せて考えていかなければならないと思います
- ・管理費増で何もかも負担増は困ります。取りやすいところから取ろうとしているのでは？と疑いたくなります
- ・公民館利用料無料は君津に住んでいて良かった。そう考えていてくれ、市政で誇らしく思っています

- ・これまで無料で利用できているのは、高齢者団体としては、非常に有り難い。健康維持増進するために活動しているので、そういった面も考慮していただき、利用料の有料化等を検討していただけると有り難い
- ・税金が有効に使われていると1番身近に感じられるのが各サークル活動が無料で場所を借りられる事にあると思います。各サークル活動がそれにより活発な活動をし、市民の健康や芸術性が高まれば君津市は住みやすいと思い、移住される方も増えるのではないのでしょうか？

#### 〈料金、開館時間、休館日についての意見〉(3件)

- ・活動している方が年配者が多いので、無料にしてほしいです。もっと若い人が活動できるように、土・日曜日に活動できる日があったらいいと思います
- ・平日夜間や休日に開いていないと、現役世代の利用がますます減ると思います。私自身、育児に専念していた子どもの乳幼児期に、公民館事業に救われた時期がありました。経費節減も大事かもしれませんが、「金にならないから」と真っ先に削られてしまう文化関連こそ、公共のため守ってほしいと思っています。経費節減も大事かもしれませんが、「金にならないから」と真っ先に削られてしまう文化関連こそ、公共のため守ってほしいと思っています
- ・有料にするなら 休祭日の開館を合わせて考慮して欲しい 毎月同じ周期で同じ回数のサークル活動を行いたいから

#### 〈開館時間短縮、休館日の新設を可とする意見〉(2件)

- ・月曜日は、丸一日休みはどうですか？休憩もいいと思います
- ・2階は22時まで受け付け（留守番）がいるみたいですが、夜遅くに来訪する人は少ないと思います。その点見直したらいかがでしょうか

#### 〈開館時間短縮、休館日の新設に反対とする意見〉(1件)

- ・休館日が増えたから、閉館時間が繰り上がったからという物理的な理由で、今まで行われていたと取り組みが出来なくなるような変更は絶対に行うべきではない

#### 〈開館時間、休館日についてその他意見〉(1件)

- ・こんなに遅くまで使用できると知らなかった。使っている人がどれだけいるのか？その必要性によると思う

#### 〈その他の意見〉(34件)

- ・このアンケートは一部負担はやむを得ない方向に持っていつている、誘導しているように見えます
- ・このような場所があることに心から感謝しております
- ・いつもありがとうございます
- ・有料化に伴う職員の事務負担は？
- ・ゴミ箱がほしいです
- ・不必要な電気、水道はこまめに消す
- ・小糸公、周南公、古くなった建て替えの話しをききますが、サークル・グループ活動も少なくなっているのでは、公民館もまとめても良いと思います
- ・このアンケートの取り方は、「一部負担はやむを得ない」という方向（アンケート結果）に持って行こうと誘導しているように見えます
- ・小学生が遊べる時間、卓球ができる時間を増やして欲しい
- ・トイレ等の補修など必要とするものはできるだけ早く補修して欲しい
- ・人々のつながりが希薄になる現代、市行政としても、多くの人々が楽しく暮らしができるよう最大限努力していただきたい
- ・特になし。公民館職員の運営に信頼を置いている
- ・必要のない電気は消す
- ・全戸アンケートがフェアではないかと考えます
- ・夏休みなど、学校が休みの時に、気軽に使えるように、空き状況が分かりやすかったり、案内が

あると良いと思う。若い方が、公民館の認知度が低い

- ・公民館は市民サービス、教育の一環、公共事業として今後も取り組んで欲しい
- ・若い方々への宣伝が必要。部屋を貸すだけの施設にならないよう、お願いします
- ・このような市民アンケートをやる場合は、用紙を毎戸に届けるべきです
- ・早目に新しい公民館を作って頂きたいです
- ・地域の公民館は自習スペースが少なく狭い、図書室など一人座ると肩がぶつかる、管轄が違うと思いますがいつ行っても同じ本が置いてある、本館と入れ替えを定期的にやって欲しい。差のないように願いたい。上総交流センターの場合です
- ・現在足を運んでおりませんが、有効に利用したいとへ常々思っています。管理職員の方の負担を軽減出来る様にと 생각합니다
- ・公民館の建て替えは市長公約を守ることが非常に大切であり前提条件でこのアンケートに回答した
- ・子どもがバスを使ってスムーズに利用出来る体制を整えて欲しい。親が送迎する事が前提になっている事がおかしい
- ・地域交流の拠点としての役割として、学校施設などでも分担を図りながら活用していければよいのではないかと
- ・館で働く人の負担が大きい
- ・時代に沿った形にしていくべき
- ・昔と違って子ども会などが無くなり、サークル活動や青少年の育成活動がますます大事になってくると思います。地域活動が魅力的だと、若者の君津市への定着率も上がると思います。皆が自分の市に愛情を持てるように、これからもいろいろな活動が行なわれることを望みます
- ・団体だけでなく個人でも借りられると利用しやすい
- ・君津市民は行政依存型が多すぎる。近隣市や財政状況が当市と同レベルの他市との比較をもって啓蒙活動をして頂きたい
- ・公民館は市民の税金で運営されている社会施設なので、使っていない部屋があるのなら当日の申し込みでも利用できるようにするべきではないでしょうか。また、サークルの運営にはなるべく制限をかける事なく、その会のやり方を認めるべきだと考えます
- ・こわれているおもちゃを直す。新しいのにして欲しい
- ・こわれている貸し出し用おもちゃなどを治して欲しい
- ・これからも、グループが気持ち良く使用できる環境保全をお願いします
- ・公民館職員の方々の負担軽減は、公民館の質の高いサービス提供につながると考えます。公民館運営で可能な範囲で地域の方々のボランティアを幅広く活用したり、思いきった行事削減が必要と考えます